オフライン環境の構築と展開
～バージョン8をご利用の場合～

第5版

2022年4月18日

Canon
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

はじめに

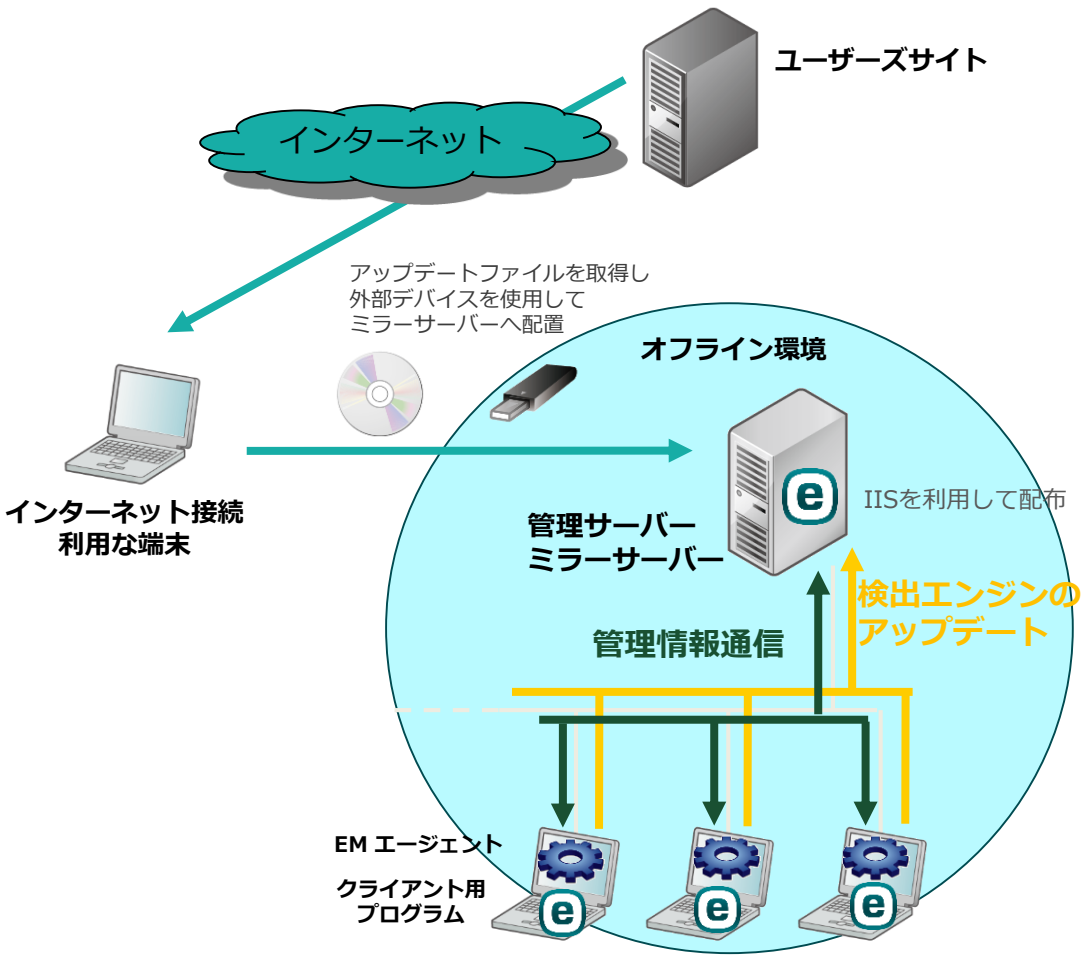
- 本資料は管理サーバーと管理する端末がインターネット接続ができないオフライン環境でのバージョン8の環境構築手順をまとめた資料となっております。
- ESET、LiveGrid、ESET Endpoint Protection、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET Server Security、ESET PROTECTは ESET,spol.s r.o の商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、米国 Microsoft Corporation の米国、日本及びその他の国における登録商標または商標です。Mac、Mac OS、OS X は米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- 本資料はミラーサーバーとなるサーバーにIISをインストールしていることを前提に手順を記載しております。IISがインストールされていない場合は以下のWebページを参考にIISのインストールを行ってください。
  <IISを利用して検出エンジン(ウイルス定義データベース)を公開する手順>
  URL：https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/9499?site_domain=business
  ※「2. IIS環境の構築 ＜ Webサーバーでの作業 ＞」の「Step.1 IISのインストール」を行ってください。
- 本資料で使用している、各プログラム名の略称は以下の通りです。
  - EES＝ ESET Endpoint Security
  - EEA＝ ESET Endpoint アンチウイルス
  - ESSW＝ ESET Server Security for Microsoft Windows Server
  - EP＝ ESET PROTECT
  - EM エージェント＝ ESET Management エージェント

目次

1. 構成
2. 構築
   - フロー
   - 事前準備
   - ミラーサーバーの構築
   - 管理サーバーの構築
   - サーバーのセットアップ
3. 展開
   - フロー
   - 事前準備
   - インストーラーの準備
   - インストーラーの実行
   - 確認作業

1. 構成

本資料は以下の構成を前提としております。



構成	•1台のサーバー機で管理サーバーとミラーサーバーを運用 •サーバーとクライアントは全てオフライン環境 •ミラーサーバーで使用するファイルは定期的に外部デバイスなどを利用して、ミラーフォルダに配置する •管理台数は5000クライアントまで
サーバーの利用プログラム	•ウイルス対策：：ESSW V8.0 •管理機能：EP V8.1 •データベース：MS SQL Express •ミラー機能：ユーザーズサイトから取得したファイルをIISで公開
クライアントの利用プログラム	•ウイルス対策：EES V8.1 または　EEA V8.1 •管理機能：EM エージェント V8.1

2. 構築（フロー）

管理サーバー兼ミラーサーバーを構築するフローは以下となります。

事前準備

① 検出エンジンとインストーラーのダウンロード

② 管理サーバー用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

ミラーサーバーの構築

③ ミラーフォルダの作成

④ IISの設定

管理サーバーの構築

⑤ ESSWのインストール

⑥ EP のインストール

サーバーのセットアップ

⑦ ライセンスの登録

⑧ EPのアップデート先変更

⑨ EMエージェントのアップデート先変更のポリシー作成

⑩ クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

2. 構築（事前準備）

① 検出エンジンとインストーラーのダウンロード

ユーザーズサイトより、検出エンジンとインストーラーを取得し、外部デバイスなどを利用して、サーバーにコピーしてください。【ユーザーズサイト】 https://canon-its.jp/product/eset/users/index.html

- 検出エンジン
  - クライアント用プログラムの検出エンジン

    「検出エンジン(ウイルス定義データベース)」

    -「検出エンジンダウンロードページ」

    -「クライアント用プログラムの検出エンジンダウンロード」

    -「Windows「バージョン7～8」 / Mac / Linux / Android向けクライアント用プログラムの場合」

    ※「最新」と記載がある検出エンジンをダウンロードしてください。
  - オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン

    「検出エンジン(ウイルス定義データベース)」

    -「検出エンジンダウンロードページ」

    -「セキュリティ管理ツールの検出エンジン ダウンロード」

- インストーラー
  - ESSWのインストーラー

    「プログラム/マニュアル」

    -「クライアント用プログラム」

    -「Windows Server向け」

    -「ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0」

    -「プログラム」
  - EPのオールインワンインストーラー

    「プログラム/マニュアル」

    -「オンプレミス型セキュリティ管理ツール（ ESET PROTECT）」

    -「ESET PROTECT」

    -「※4 旧バージョンプログラムについて」

    -「プログラム（オンプレミス型セキュリティ管理ツール）」

    -「ESET PROTECT V8.1」

    -「オールインワンインストーラー」

2. 構築（事前準備）

② 管理サーバー用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

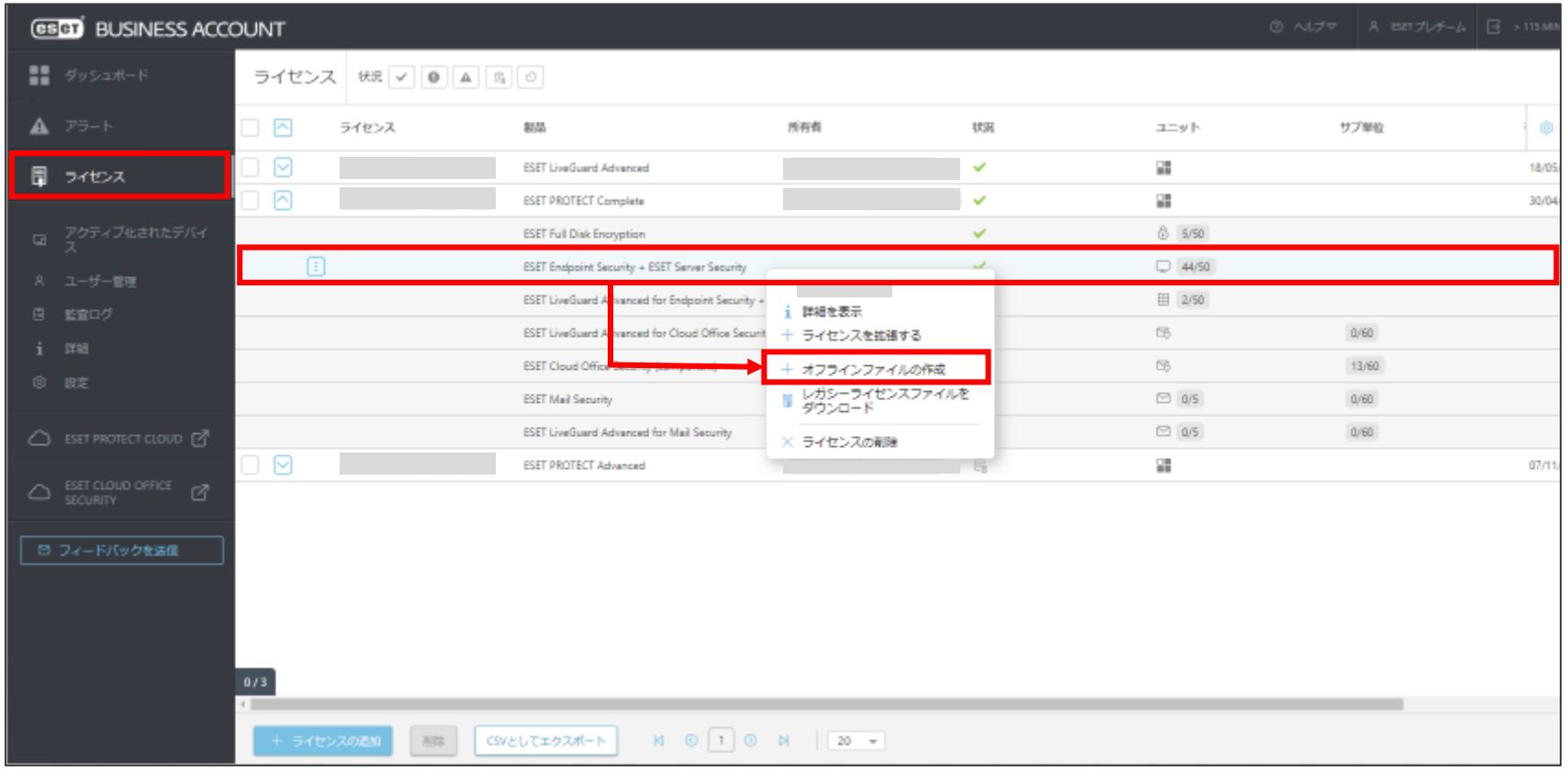
(1) ESET Business Account（ https://eba.eset.com ）へログインし、オフラインライセンスファイルのダウンロードを行います。

※EBAへログインする際は、アカウント作成時に登録された電子メールアドレスとパスワードが必要です。
※EBAを開設されていない場合は下記サポートサイトをご確認ください。
ESET Business Accountについて ＜https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/19554?site_domain=business ＞

2. 構築（事前準備）

② 管理サーバー用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

(2)画面左側のメインメニューより「ライセンス」画面をクリックします。使用するライセンスを選択し、「オフラインライセンスファイルの作成」をクリックします。

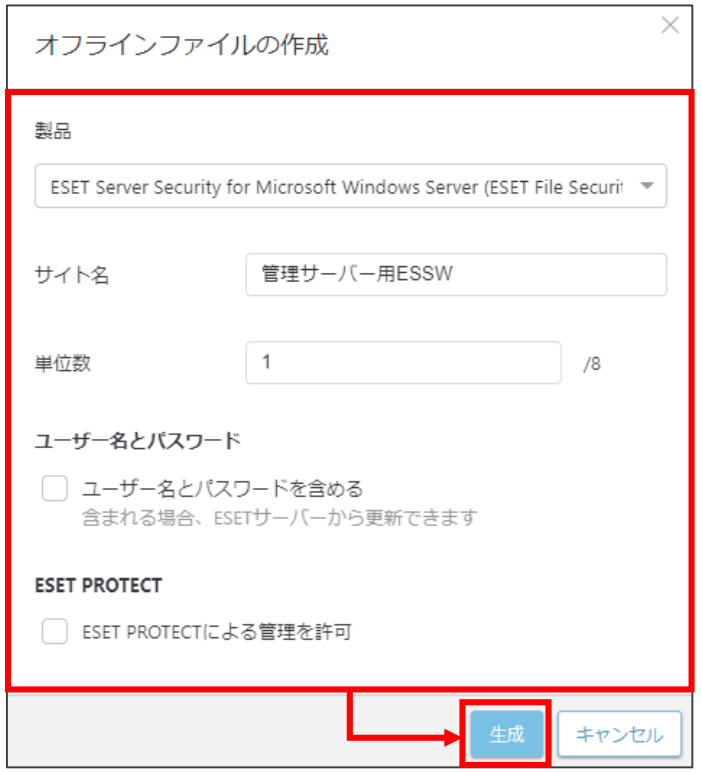


2. 構築（事前準備）

② 管理サーバー用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

(3)以下を参考に設定を入力し、「生成」をクリックします。

項目	設定内容
製品	ESET Server Security for Microsoft Windows Server
サイト名	任意 (例：管理サーバー用ESSW)
単位数	1
ユーザー名とパスワードを含める	チェックなし
ESET PROTECTによる管理を許可する	チェックなし



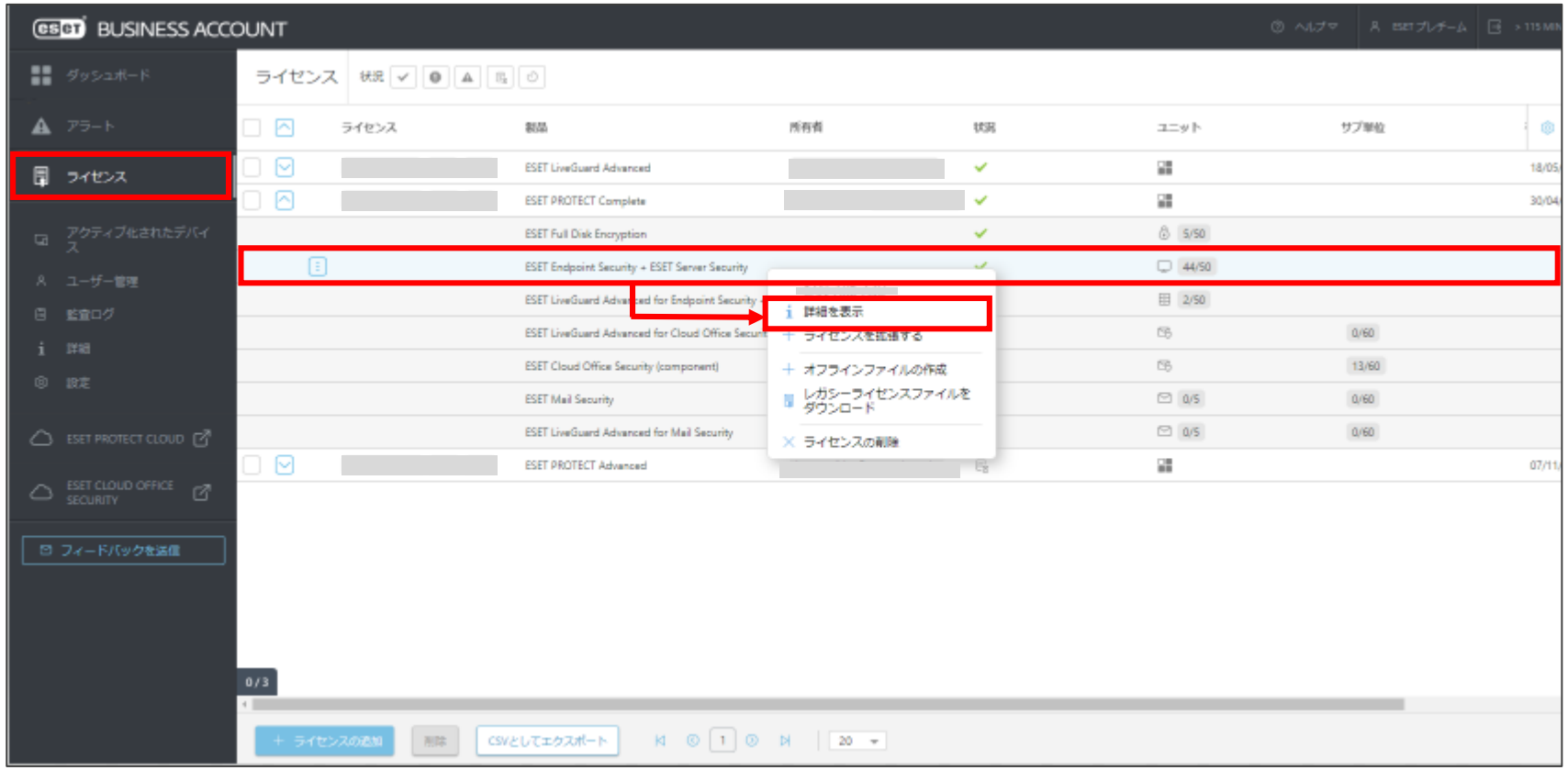
※本手順では、管理サーバー用のESSW1台分のオフラインライセンスファイルを作成しておりますが、設定内容を変更することにより、
他のセキュリティ製品のオフラインライセンスファイルを作成することが可能です。手順については以下のサポートサイトをご参照ください。

<オフラインライセンスファイルのダウンロード方法>
URL：https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4327?site_domain=business

2. 構築（事前準備）

② 管理サーバー用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

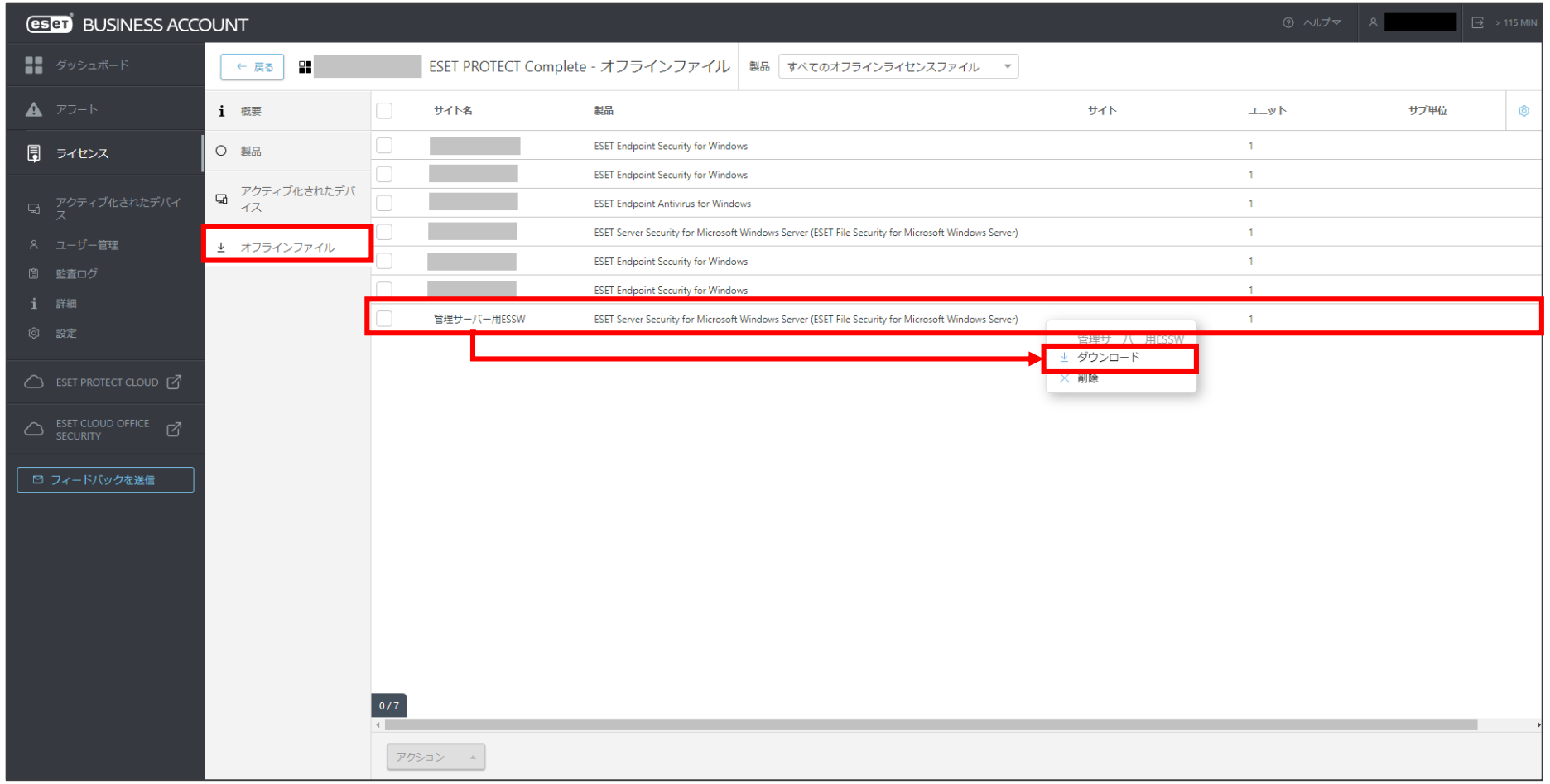
(4)画面左メニューの「ライセンス」へ移動し、「オフラインライセンスファイル」を発行したライセンスをクリックし、詳細を表示を選択します。



2. 構築（事前準備）

② 管理サーバー用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

(5)「オフラインファイル」をクリックし、発行したオフラインライセンスファイル選択しダウンロードします。



2. 構築（事前準備）

② 管理サーバー用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード

(6)任意の場所(例：デスクトップ)にファイルを保存し、オフラインライセンスファイルがダウンロードされていることをご確認ください。

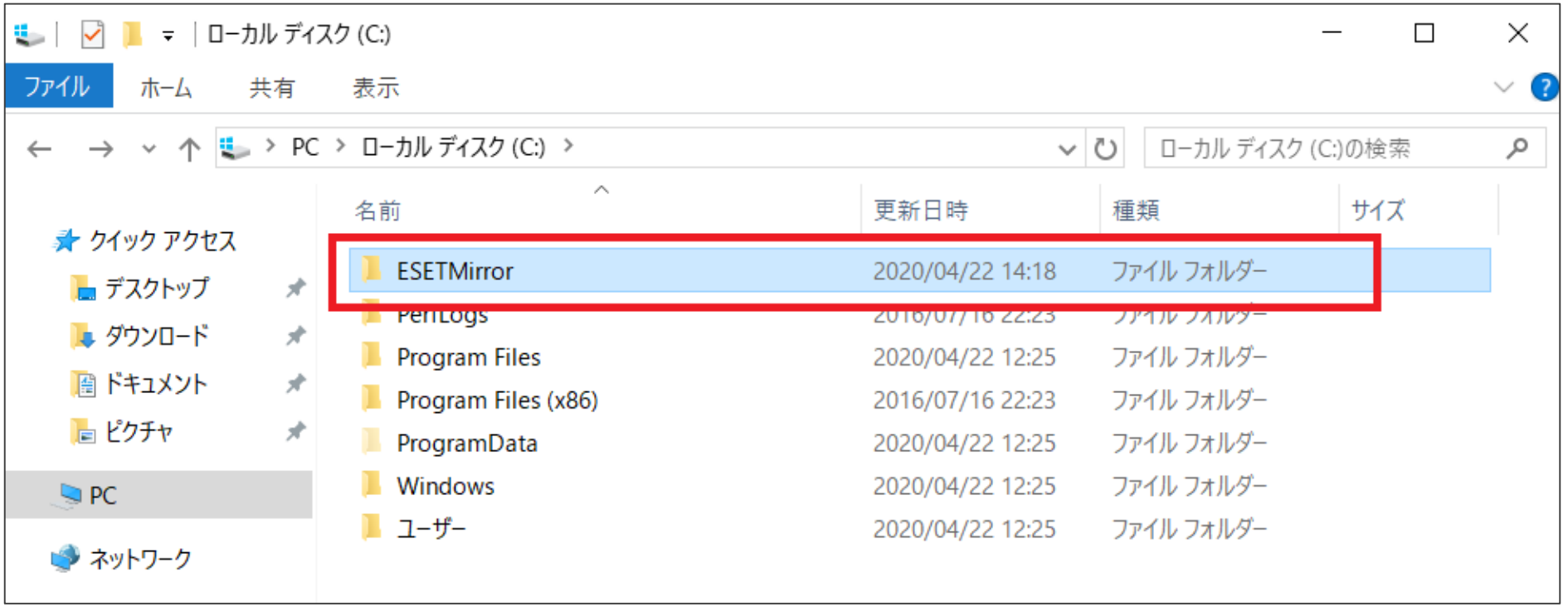
※ダウンロードされたオフラインライセンスファイルは外部デバイスなどを利用して、サーバーにコピーしてください。

以上で、事前準備は終了となります。

2. 構築（ミラーサーバーの構築）

③ ミラーフォルダの作成

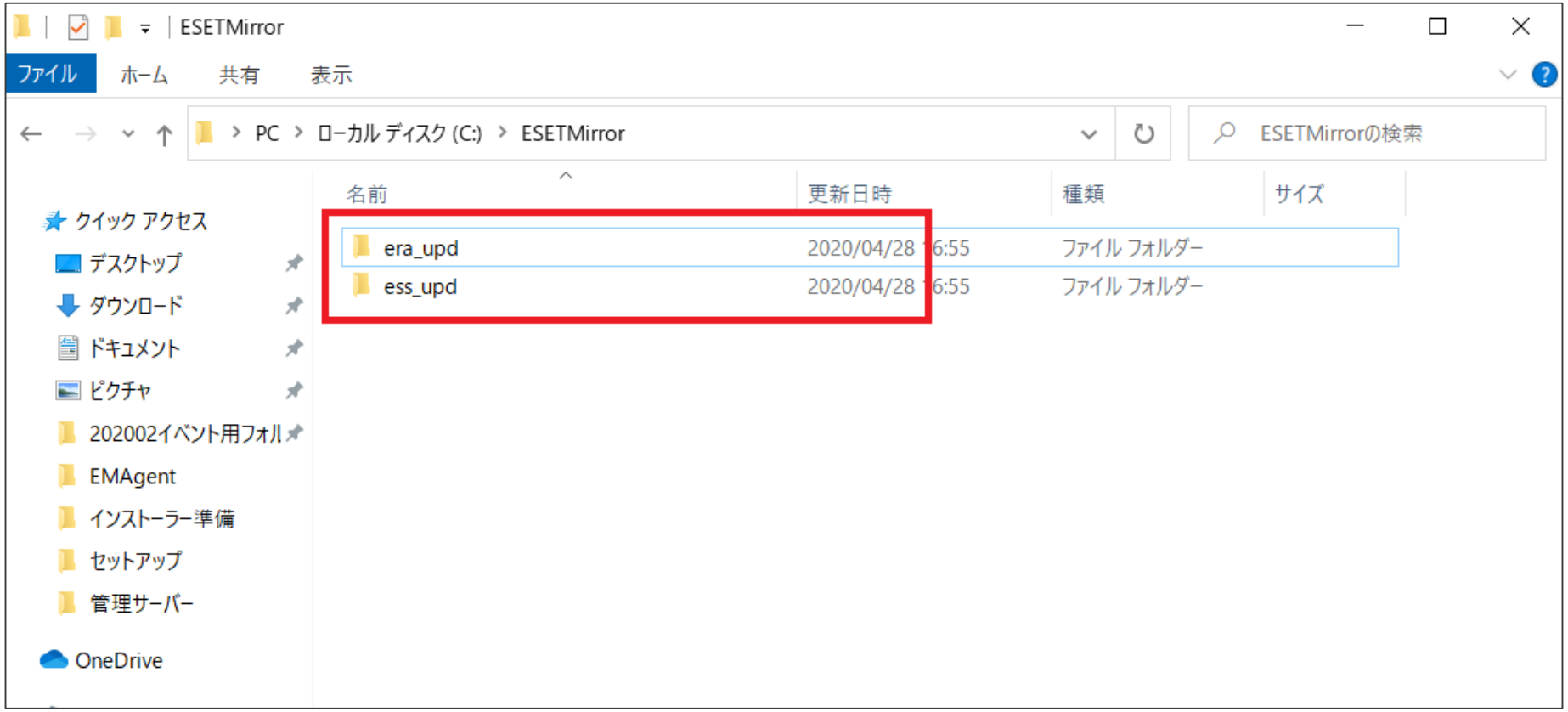
(1) Cドライブ直下に「ESETMirror」フォルダを作成します。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

③ ミラーフォルダの作成

(2)作成した「ESETMirror」フォルダ配下に「ess_upd」と「era_upd」の2つのフォルダを作成します。

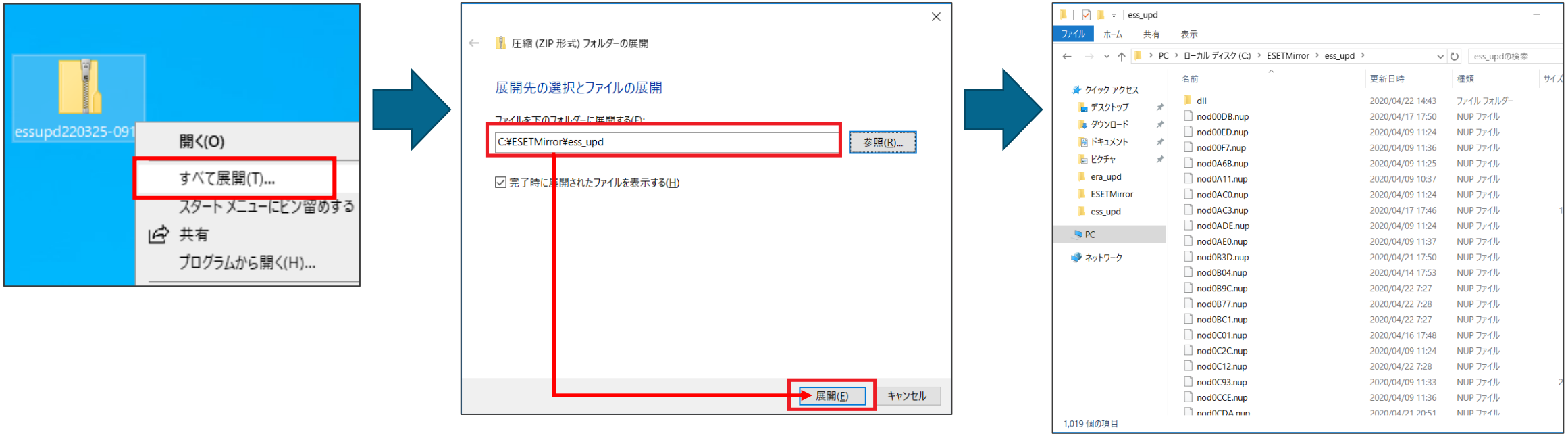


2. 構築（ミラーサーバーの構築）

③ ミラーフォルダの作成

(3)事前準備で用意した「クライアント用プログラムの検出エンジン」を手順2で作成した「ess_upd」フォルダに展開します。

※「era_upd」に展開しないように注意してください。
※クライアント用プログラムの検出エンジンのファイル名は「**essupd**」という名前から始まります。

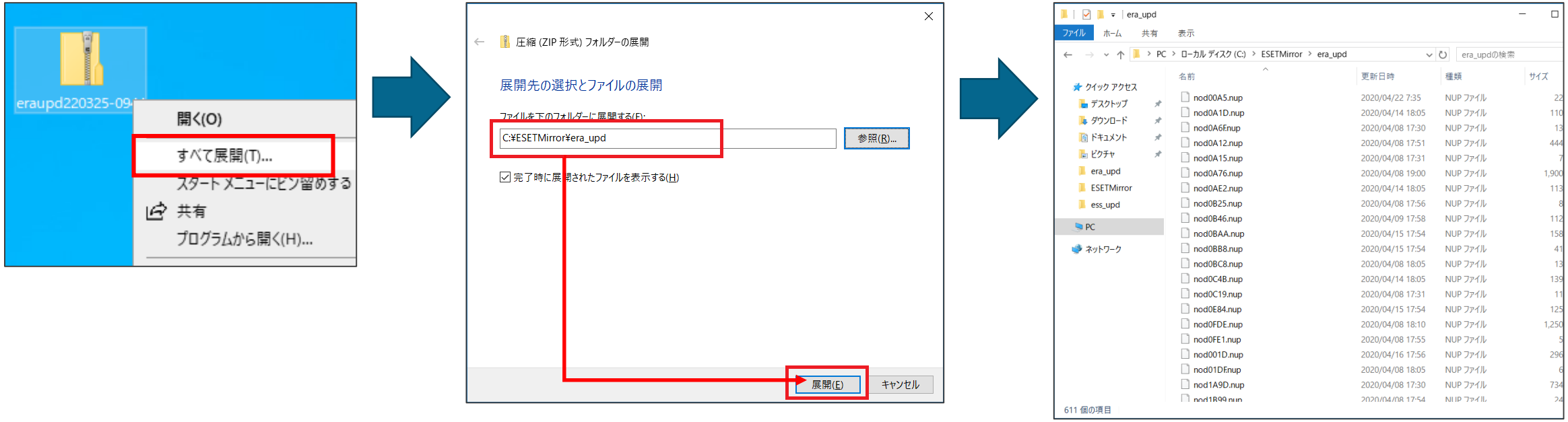


2. 構築（ミラーサーバーの構築）

③ ミラーフォルダの作成

(4)事前準備で用意した「オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン」を手順2で作成した「era_upd」フォルダに展開します。

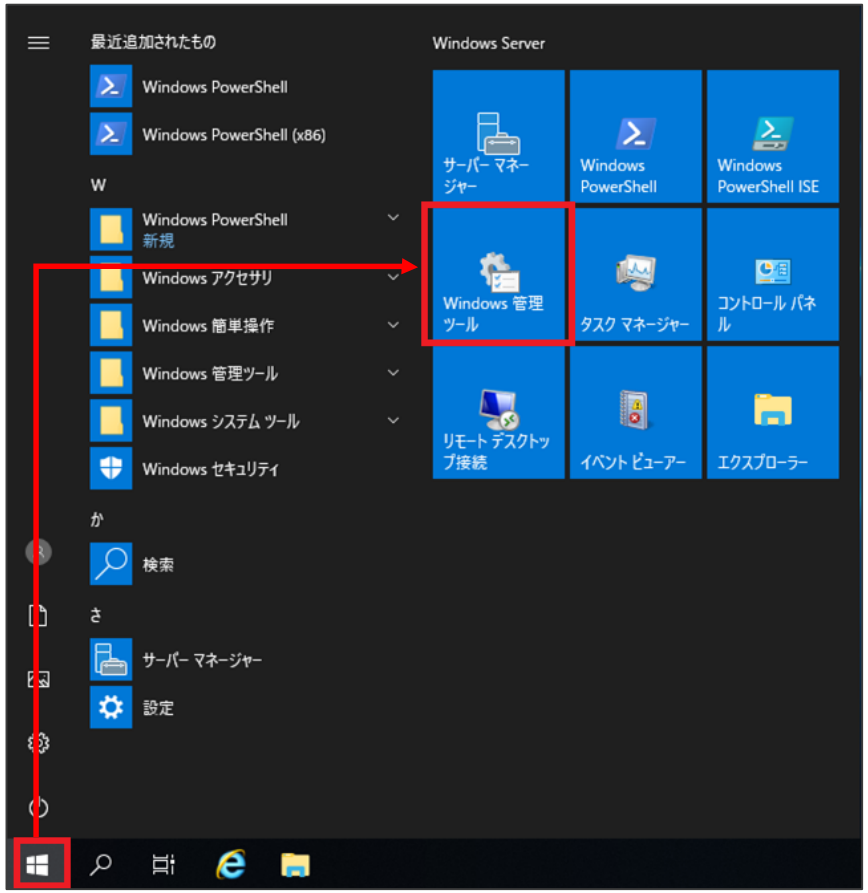
※「ess_upd」に展開しないように注意してください。
※オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジンのファイル名は「**eraupd**」という名前から始まります。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④　IISの設定

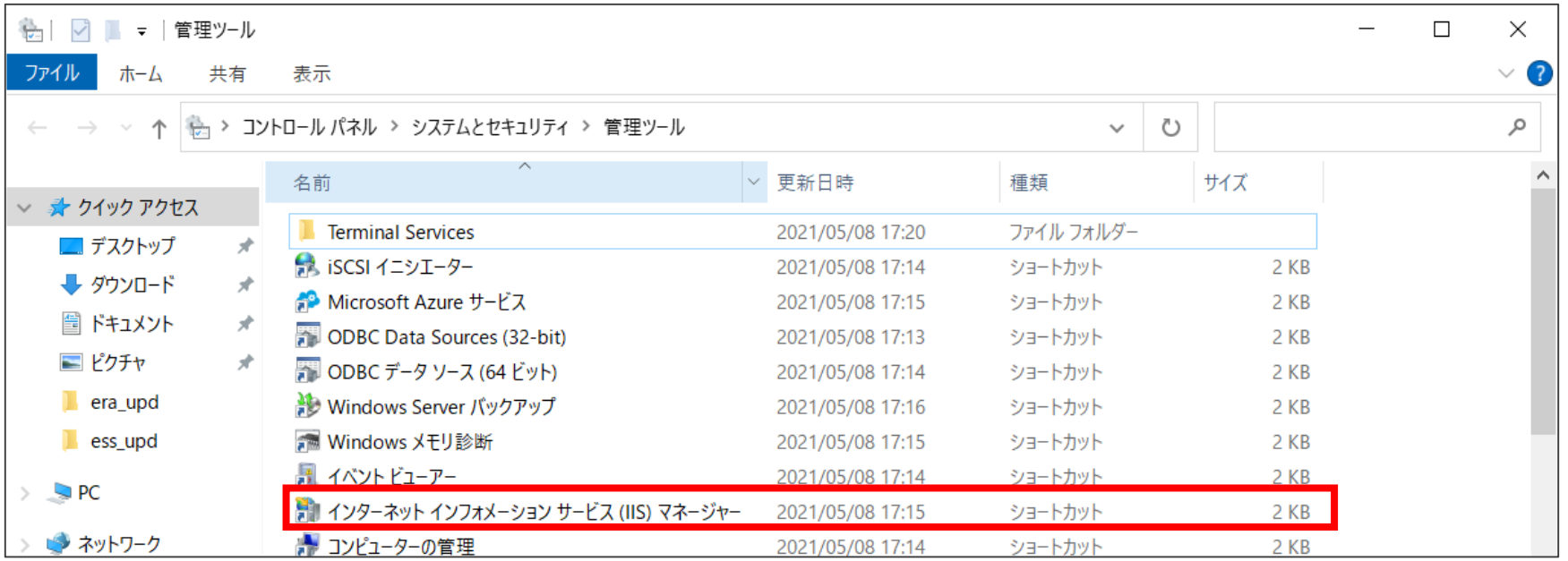
(1)「スタート」→「Windows 管理ツール」をクリックします。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④ IISの設定

(2)「インターネットインフォーメーションサービス(IIS)マネージャー」を開きます。



※IISがインストールされていない場合、IISマネージャーは表示されません。そのため、以下のWebページを参考にIISをインストールしてください。

<IISを利用して検出エンジン(ウイルス定義データベース)を公開する手順>

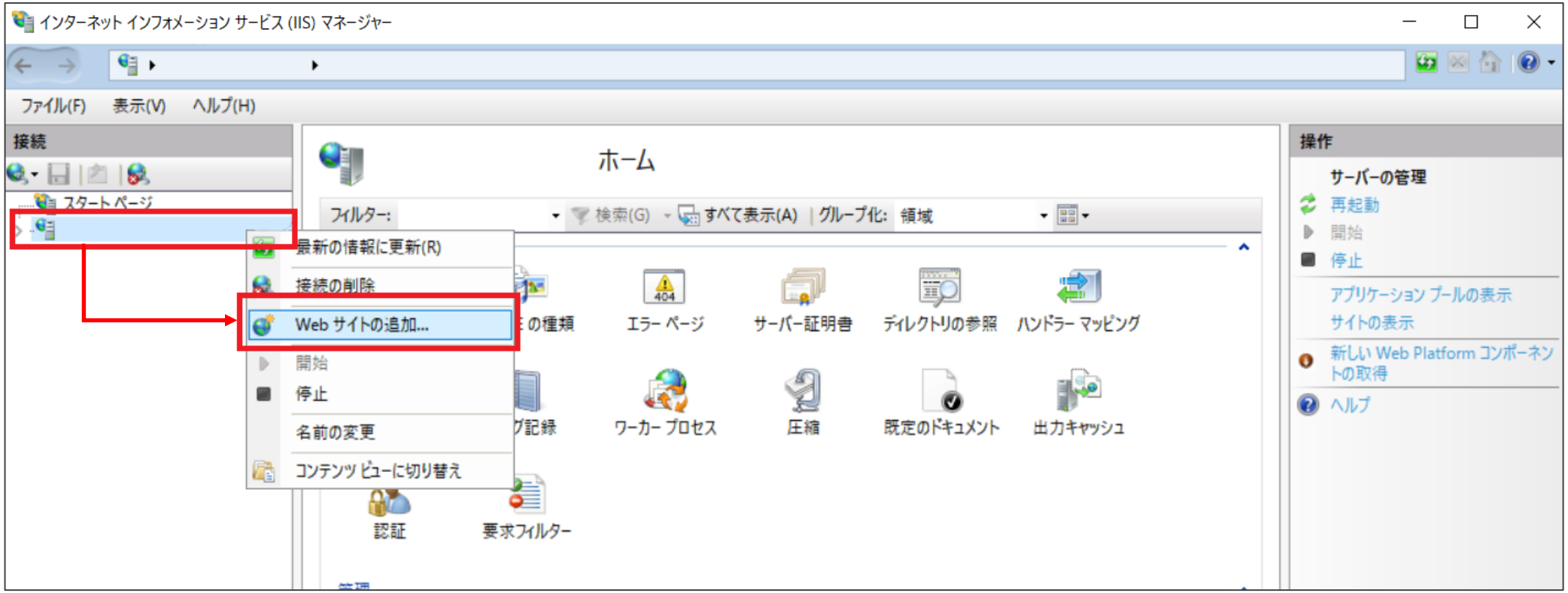
URL：https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/9499?site_domain=business

※「2. IIS環境の構築 ＜ Webサーバーでの作業 ＞」の「Step.1 IISのインストール」を行ってください。

2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④　IISの設定

(3)画面左側からサーバー名を右クリックし、「Webサイトの追加…」をクリックします。

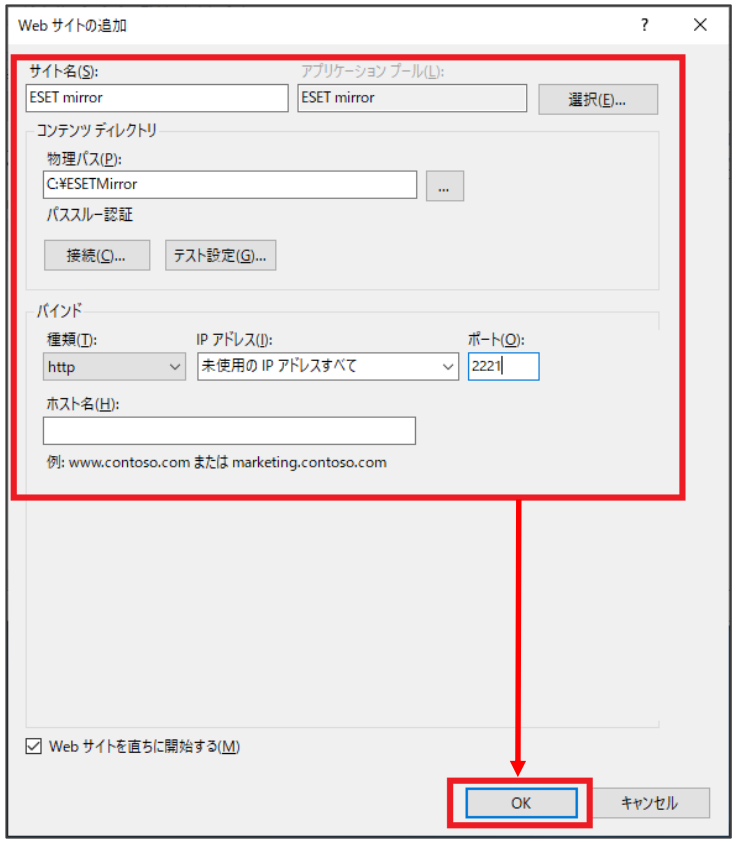


2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④　IISの設定

(4)以下の項目を設定し、「OK」ボタンをクリックします。

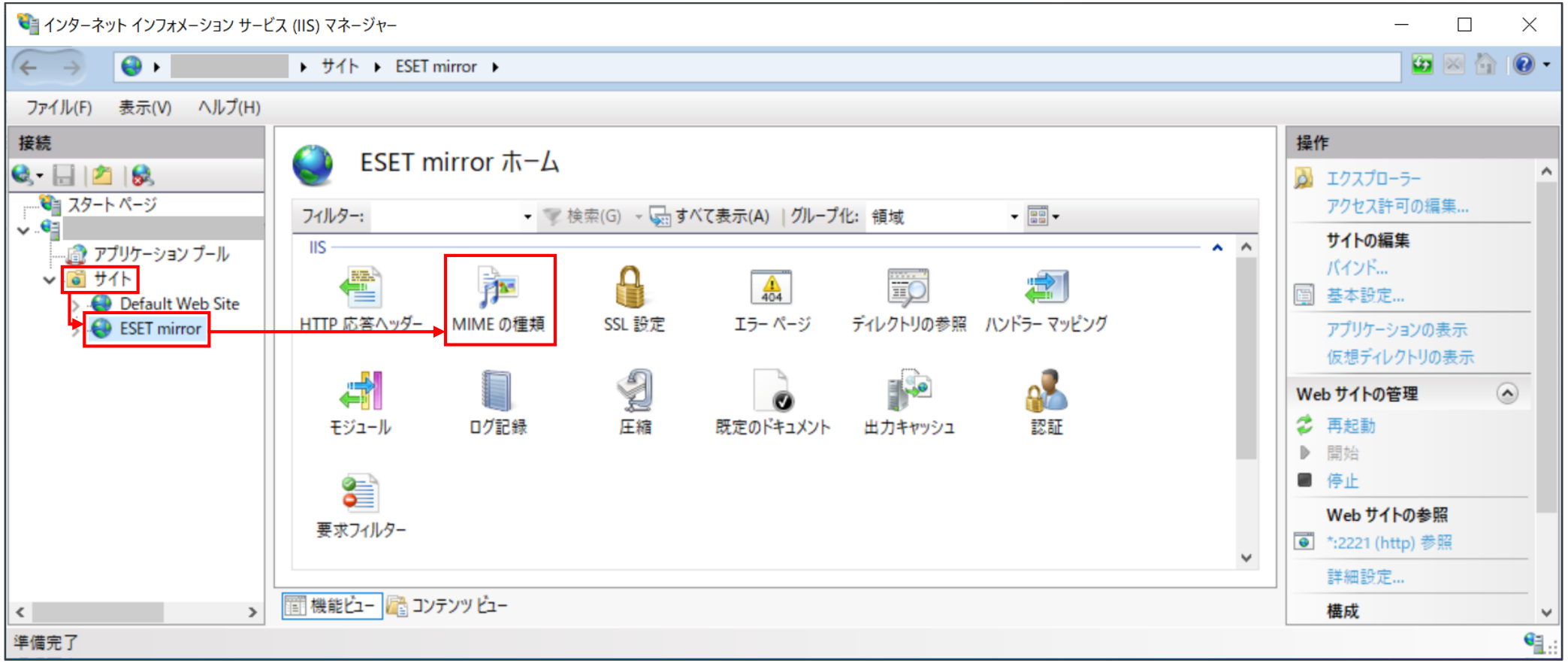
項目	設定内容
サイト名	ESET mirror
物理パス	C:¥ESETMirror
種類	http
IPアドレス	未使用のIPアドレスすべて
ポート	Webサーバーの動作ポート(例：2221)
ホスト名	空欄



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④　IISの設定

(5)画面左側から「サイト」→「ESET mirror」をクリックし、「MIMEの種類」をダブルクリックします。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④　IISの設定

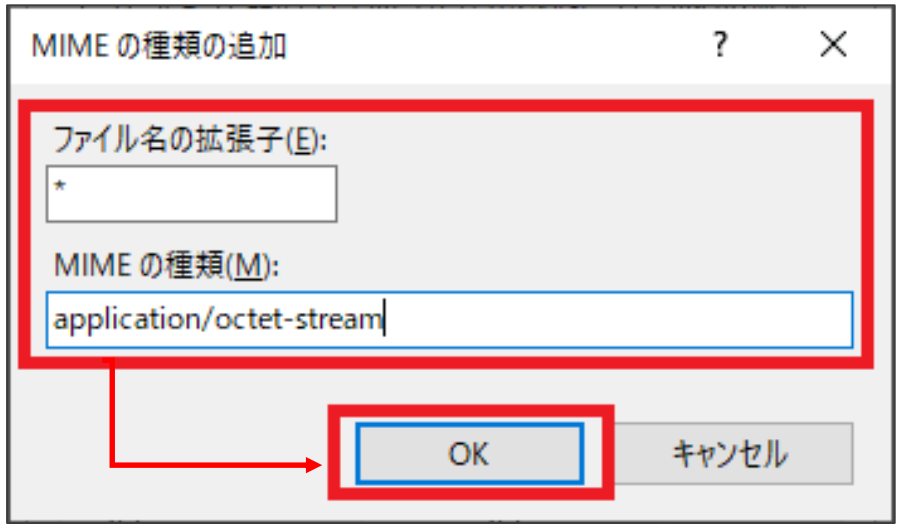
(6)画面右側の「操作」から「追加…」をクリックします。

2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④　IISの設定

(7)以下の項目を設定し、「OK」ボタンをクリックします。

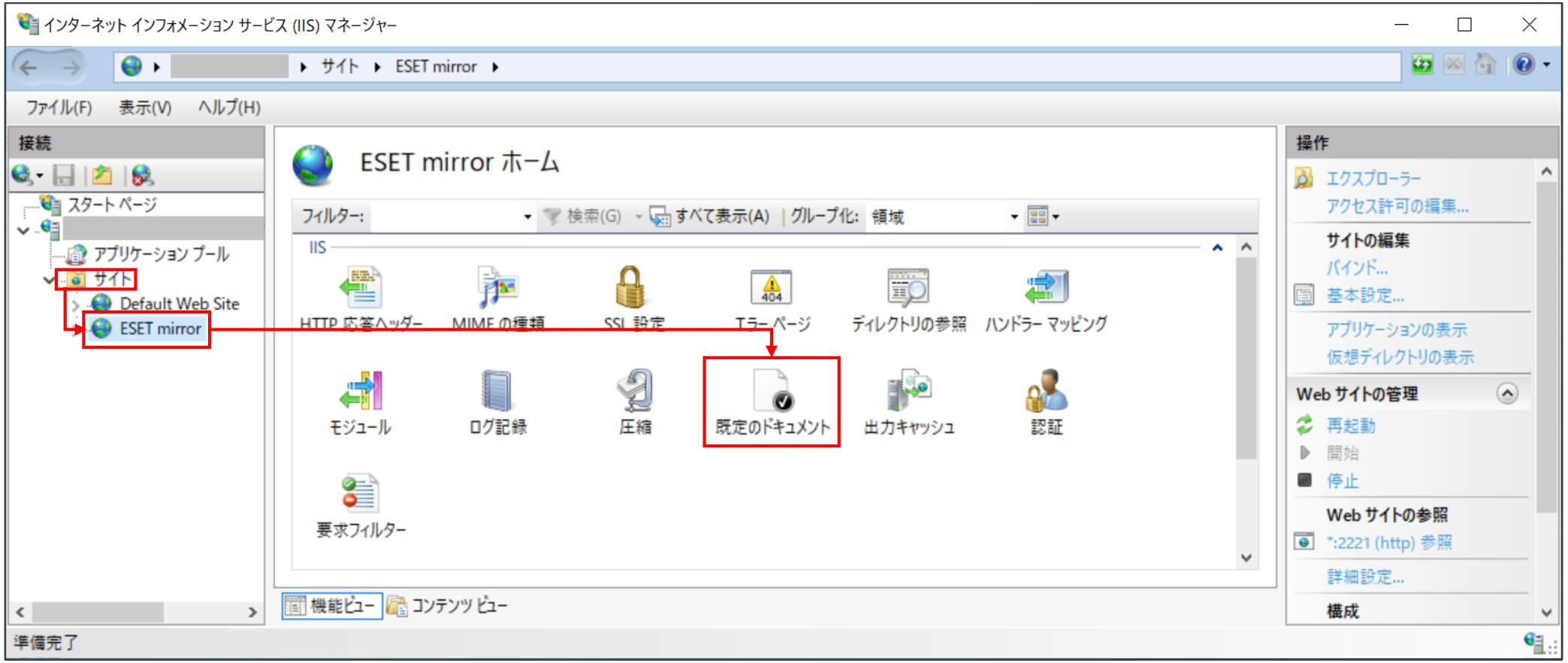
項目	設定内容
ファイル名の拡張子	*
MIMEの種類	application/octet-stream



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④　IISの設定

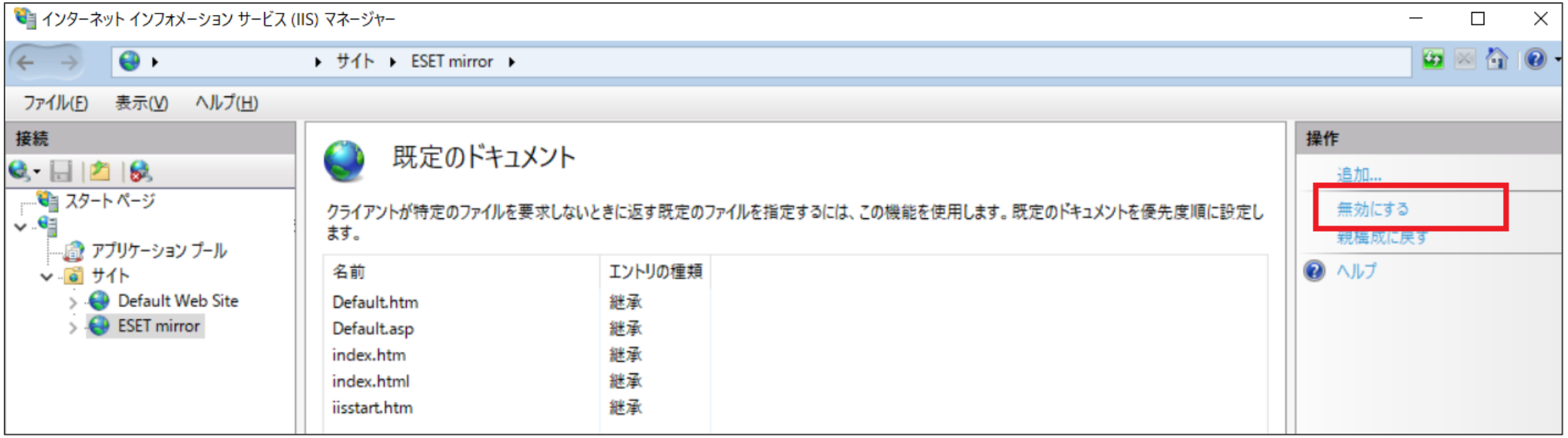
(8)画面左側の「サイト」→「ESET mirror」をクリックし、「既定のドキュメント」をダブルクリックします。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④　IISの設定

(9)画面右側の「操作」から「無効にする」をクリックします。



2. 構築（ミラーサーバーの構築）

④ IISの設定

(10) Webブラウザを起動し、URLに以下を入力して、「クライアント用プログラムの検出エンジン」と「オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン」のそれぞれの「update.ver」の内容が確認できること(またはダウンロードできること)を確かめます。

クライアント用プログラムの検出エンジン

http://”ミラーサーバーのIPアドレス”:“ミラーサーバーの動作ポート”/ess_upd/update.ver

オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン

http://”ミラーサーバーのIPアドレス”:“ミラーサーバーの動作ポート”/era_upd/update.ver

※確認できない場合は、サーバーのファイアウォールの設定や手順4の設定を見直してください。

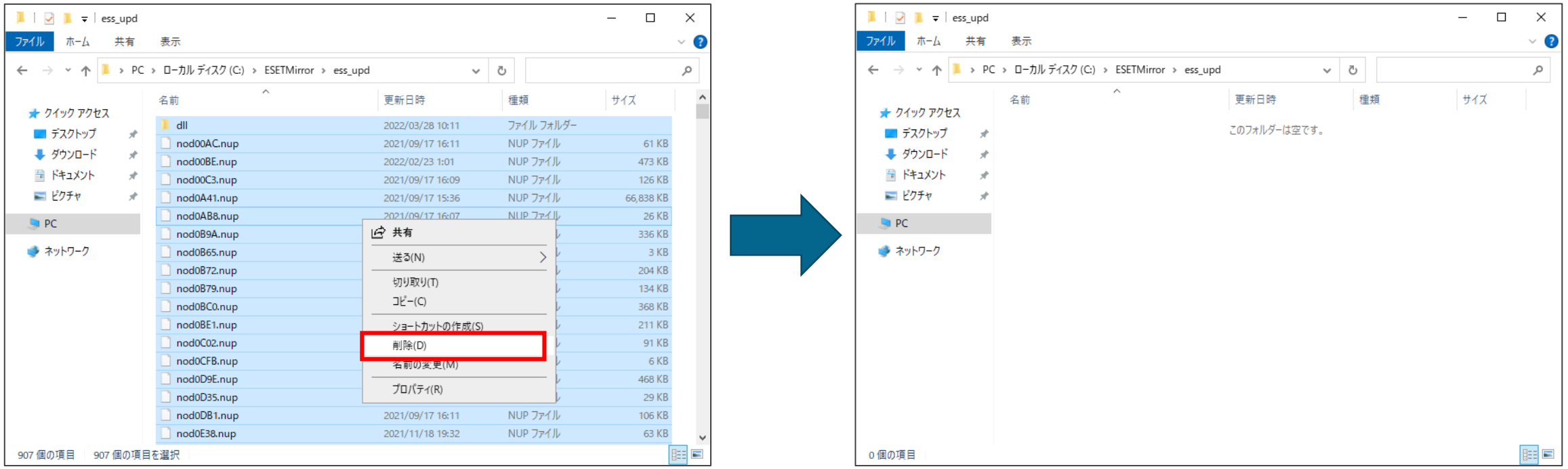
以上で、ミラーサーバーの構築は終了となります。

2. 参考（ミラーサーバーの構築）

ミラーサーバーの検出エンジンの更新

- ミラーサーバーに保存された検出エンジンは手動での更新が必要となります。お客様の運用に合わせて、検出エンジンの更新頻度(例：月に1回)を決めていただき、定期的に更新を行ってください。
- なお、更新時には、以下の画像のように「ess_upd」と「era_upd」に**保存されていた検出エンジンのファイルを必ず削除してから**、「ミラーフォルダの作成」の手順3、4を参考に新しく取得した検出エンジンを展開するようにしてください。

※上書きでの展開はしないでください。



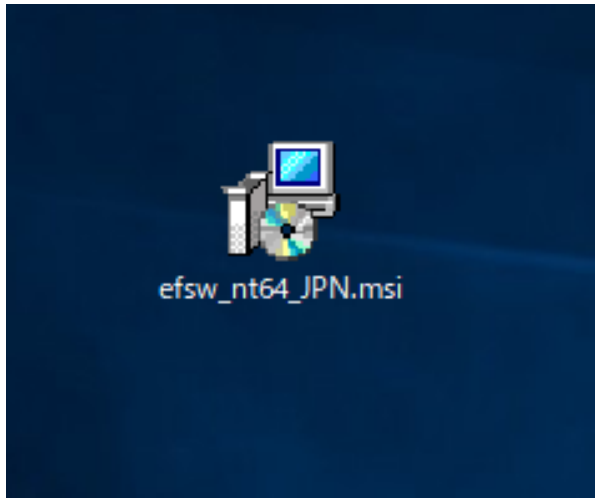
2. 構築（管理サーバーの構築）

⑤ ESSWのインストール

(1)事前準備で用意したESSWのインストーラーをダブルクリックします。

(2)ESET Server Security セットアップウィザードが表示されましたら、「次へ」をクリックします。

画像1



画像2

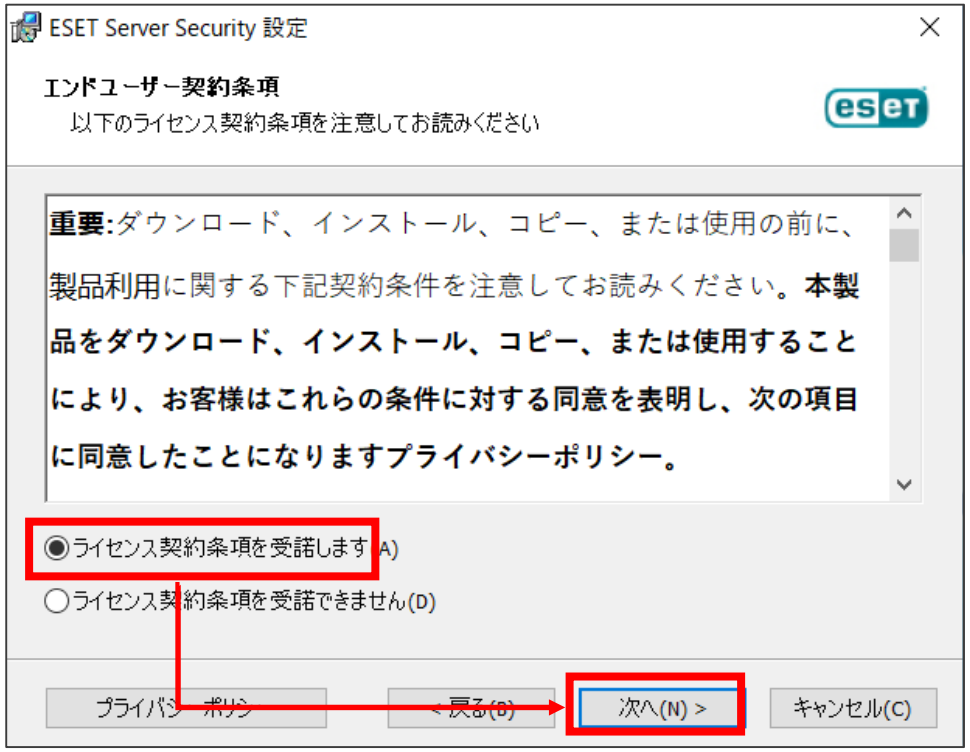
2. 構築（管理サーバーの構築）

⑤ ESSWのインストール

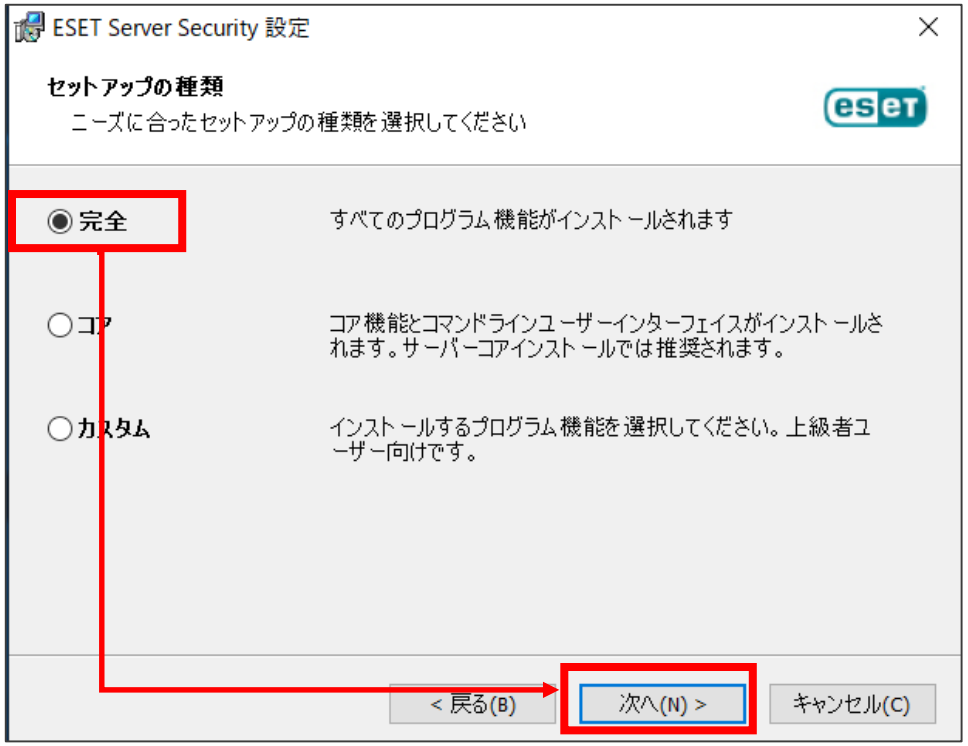
(3)エンドユーザー契約条項を受諾し、「次へ」をクリックします。

(4)「完全」を選択し、「次へ」をクリックします。

画像3



画像4



2. 構築（管理サーバーの構築）

⑤ ESSWのインストール

(5)インストールするフォルダーを選択し、「インストール」をクリックします。※既定では、赤枠のフォルダーにそれぞれインストールされます。

(6)「ESET Server Security セットアップウィザードを管理用しています」と表示されましたら、「完了」をクリックします。

画像5

画像6

2. 構築（管理サーバーの構築）

⑤ ESSWのインストール

(7)以下の画面が表示されましたら、「オフラインライセンス」をクリックします。

画像7

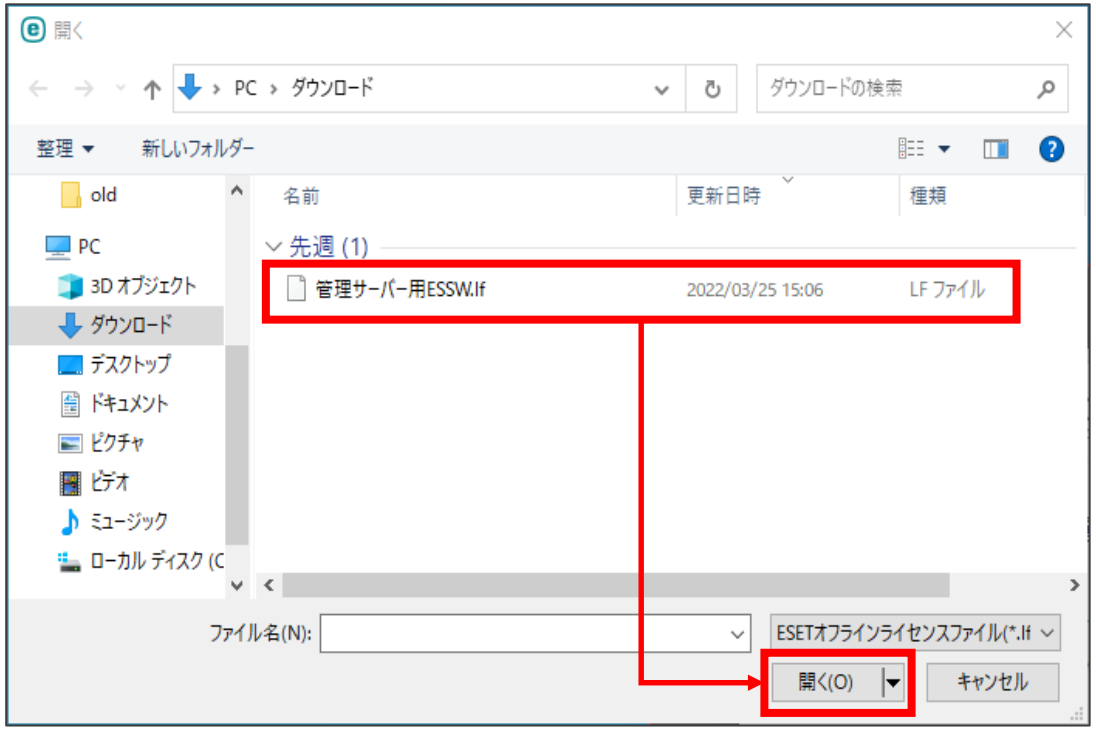
2. 構築（管理サーバーの構築）

⑤ ESSWのインストール

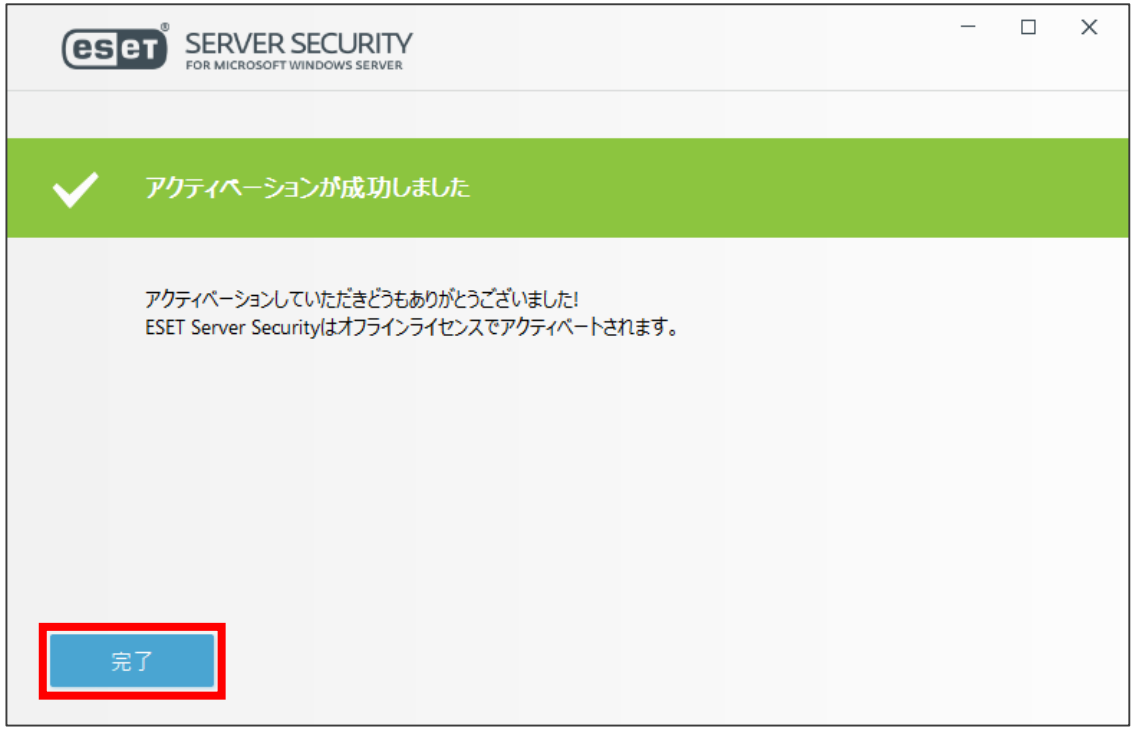
(8)事前準備で用意したESSWのオフラインライセンスファイルを選択します。

(9)「アクティベーションが成功しました」と表示されましたら、「完了」をクリックします。

画像8



画像9



2. 構築（管理サーバーの構築）

⑤ ESSWのインストール

(10)以下のような画面が表示されましたら、お客様のご利用条件に合わせて不審なアプリケーションの検出有無の設定をし、「OK」をクリックします。

(11)「ESET LiveGridフィードバックシステムを有効にする」のチェックを外し、「OK」をクリックします。

画像10

画像11

2. 構築（管理サーバーの構築）

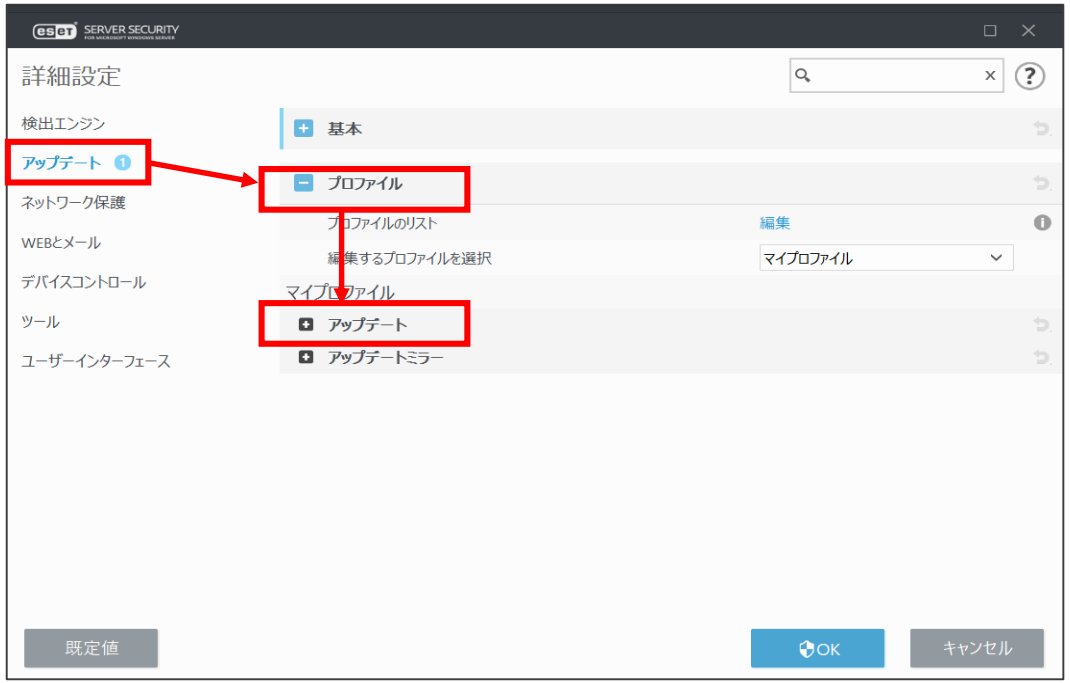
⑤ ESSWのインストール

(12) ESETのメイン画面より、「設定」→「詳細設定」をクリックします。

(13)「アップデート」→「プロファイル」→「アップデート」をクリックします。

画像12

画像13



2. 構築（管理サーバーの構築）

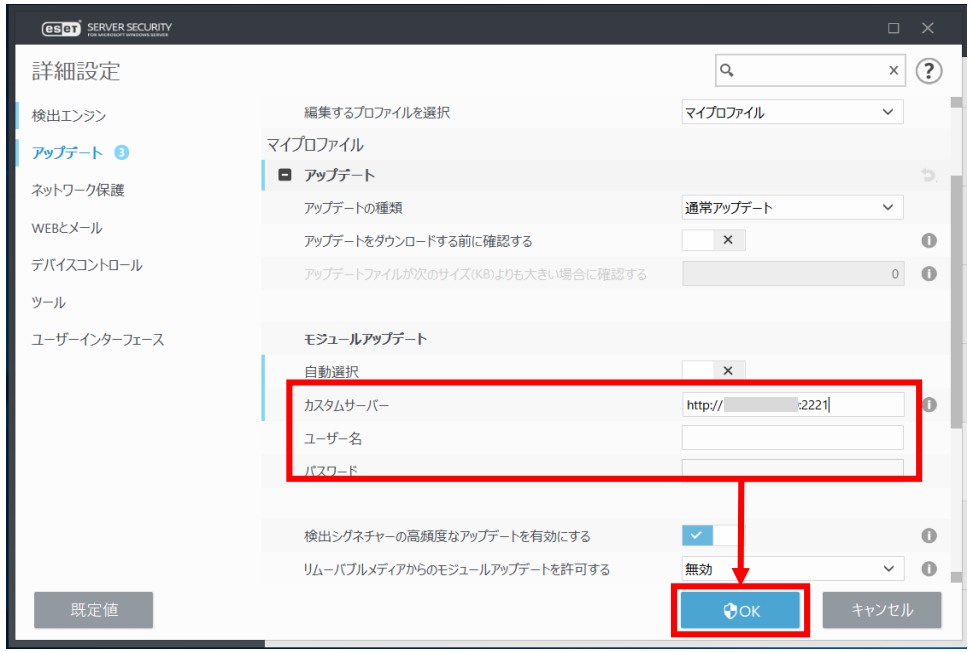
⑤ ESSWのインストール

(14)「モジュールアップデート」下の「自動選択」の項目を無効にし、カスタムサーバーに「クライアント用プログラムの検出エンジン」を公開しているURLを入力して、「OK」をクリックします。

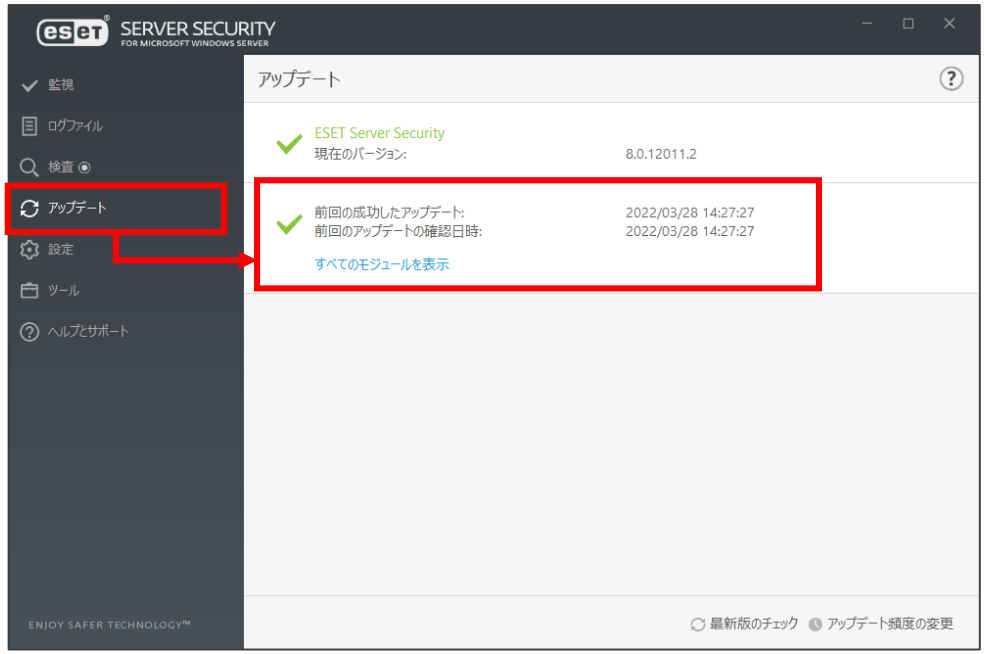
※入力するURL：http://”ミラーサーバーのIPアドレス”:“ミラーサーバーの動作ポート”/ess_upd

(15)自動的にアップデートが開始されますので、ESETのメイン画面の「アップデート」に移動し、アップデートが完了していることを確認します。

画像14



画像15



2. 構築（管理サーバーの構築）

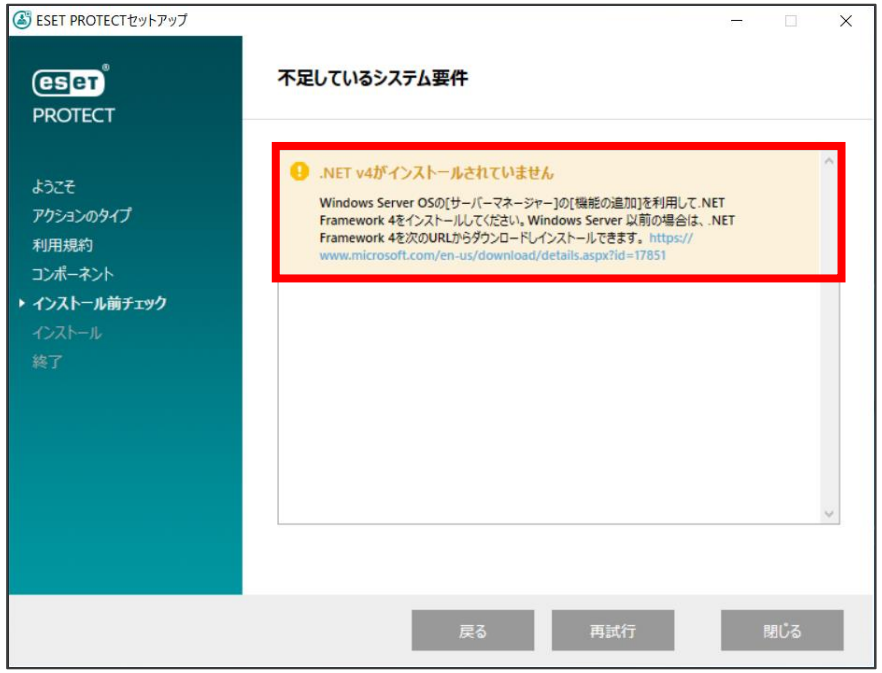
⑥ EPのインストール

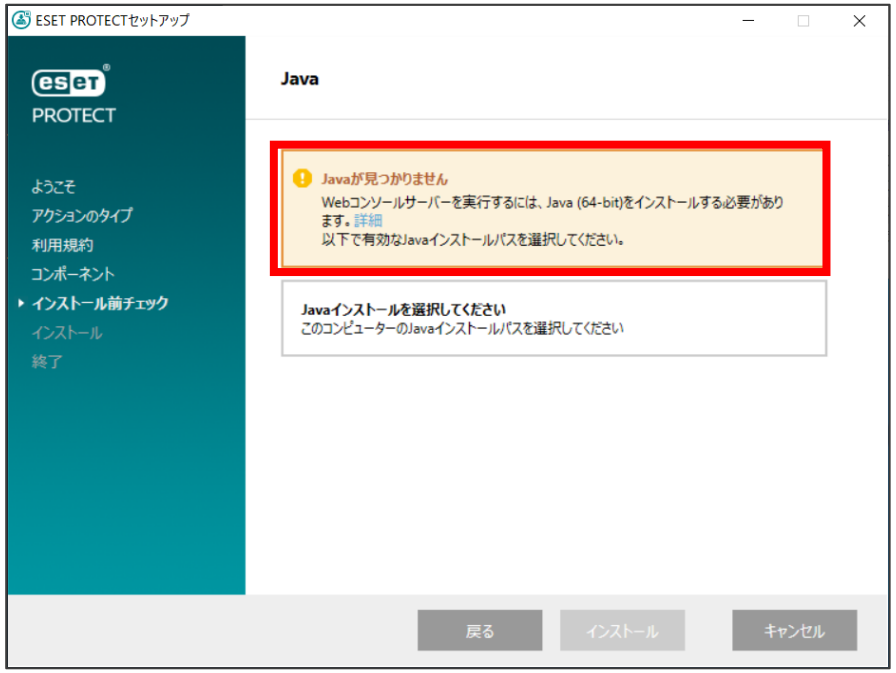
- EPのインストール作業を行う前に、事前に「64bit版のJava」および「.NET Framework 4」のインストールをしてください。

  ※有償版JREまたは無償版JDKである「AmazonCorretto8」の使用を推奨しております。AmazonCorretto8のインストールについては以下のサポートページをご参照ください。

  ＜Windows Server環境で、オープンソースJDKを利用してセキュリティ管理ツールをインストールするには？＞

  URL：https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site_domain=business

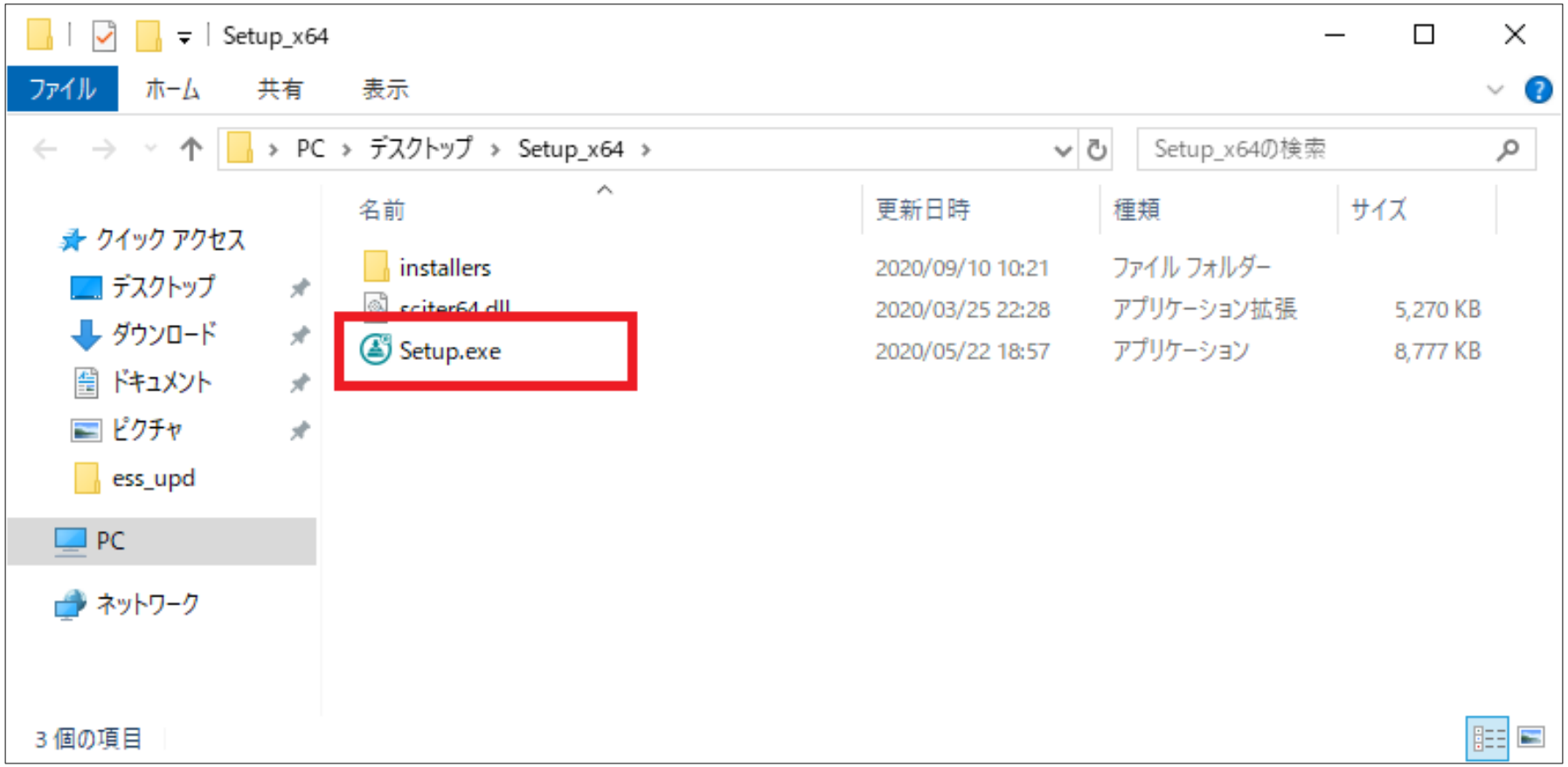




2. 構築（管理サーバーの構築）

⑥ EPのインストール

(1)事前準備で用意したEPのオールインワンインストーラー「Setup_x64.zip」を展開し、展開後に表示されるフォルダ内の「Setup.exe」をダブルクリックします。



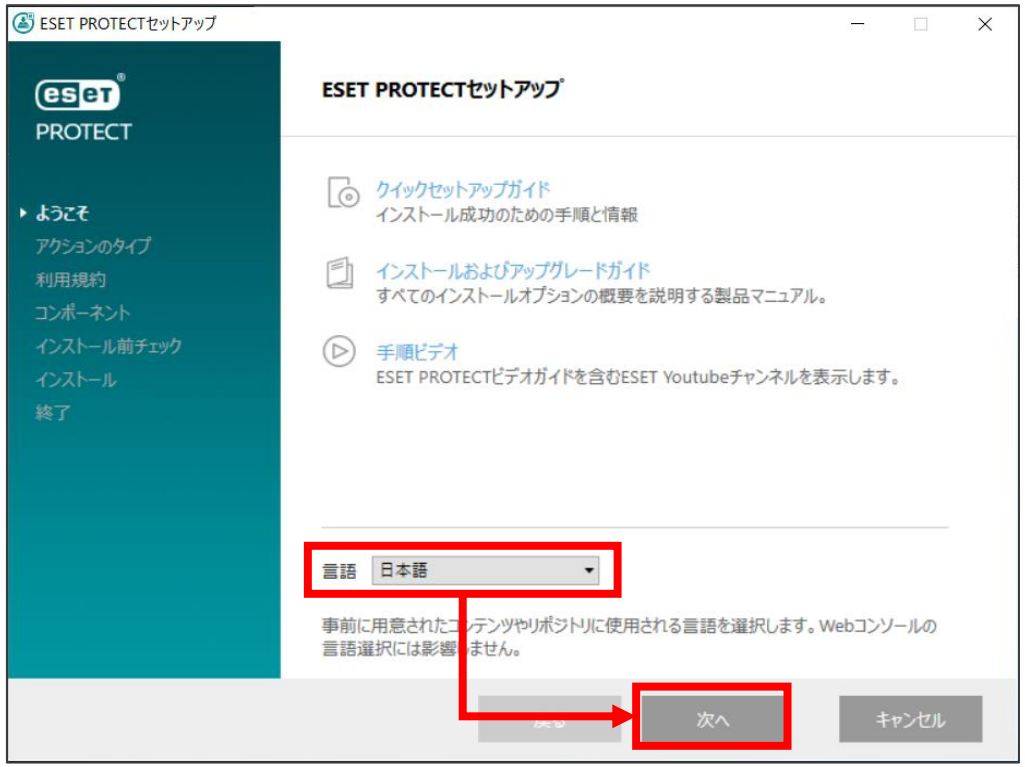
2. 構築（管理サーバーの構築）

⑥ EPのインストール

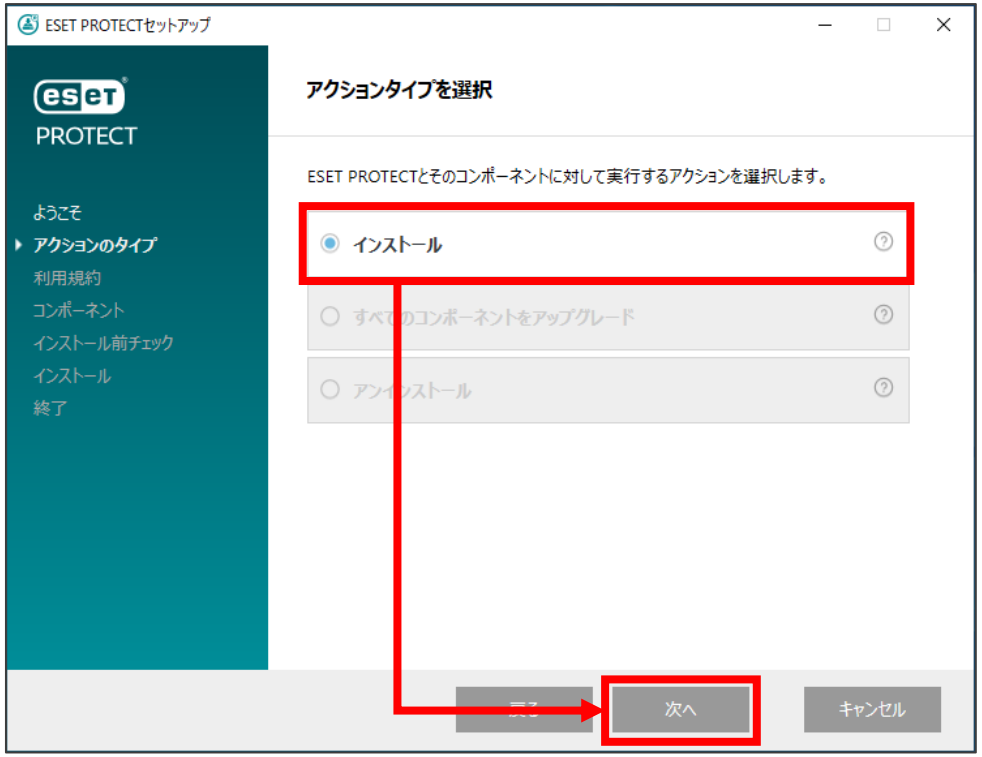
(2)言語は日本語を選択し、「次へ」をクリックします。

(3)「インストール」を選択し、「次へ」をクリックします。

画像2



画像3



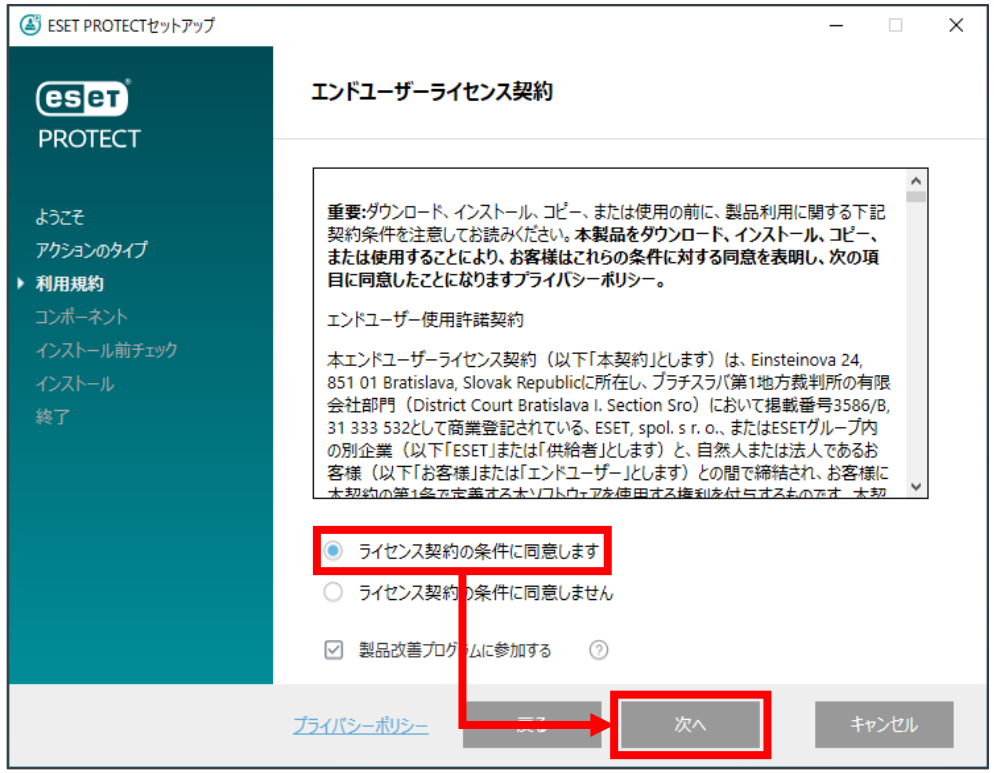
2. 構築（管理サーバーの構築）

⑥ EPのインストール

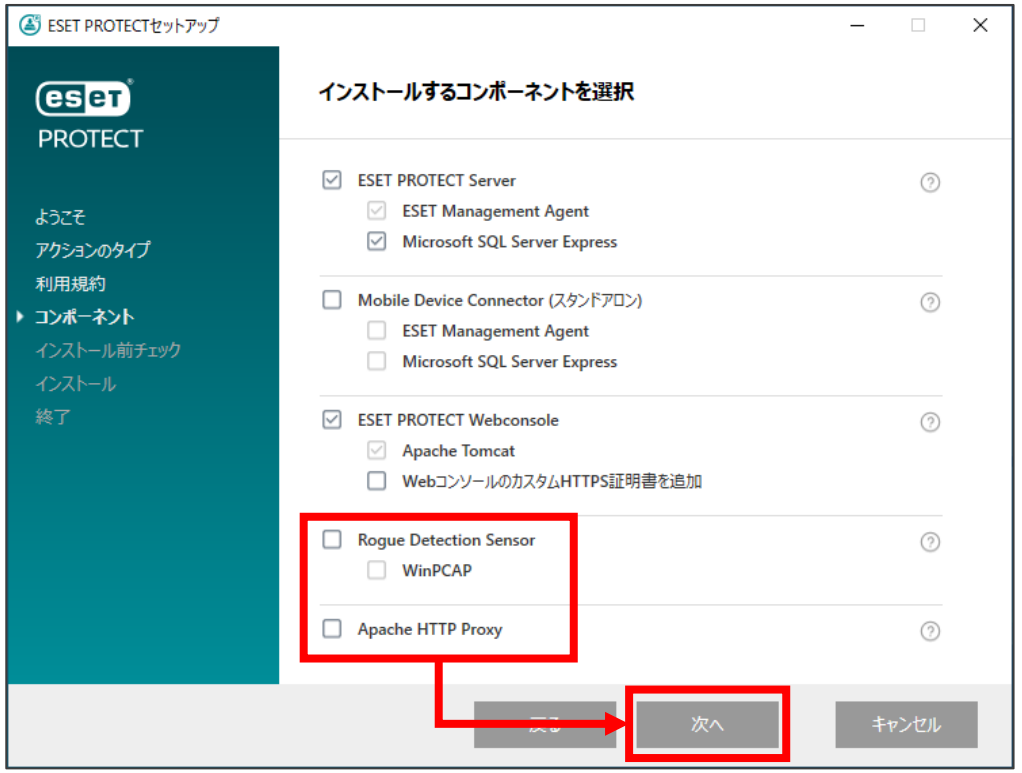
(4)エンドユーザーライセンス契約に同意して、「次へ」をクリックします。

(5)「Rogue Detection Sensor」と「Apache HTTP Proxy」から**チェックを外して**、「次へ」をクリックします。

画像4



画像5



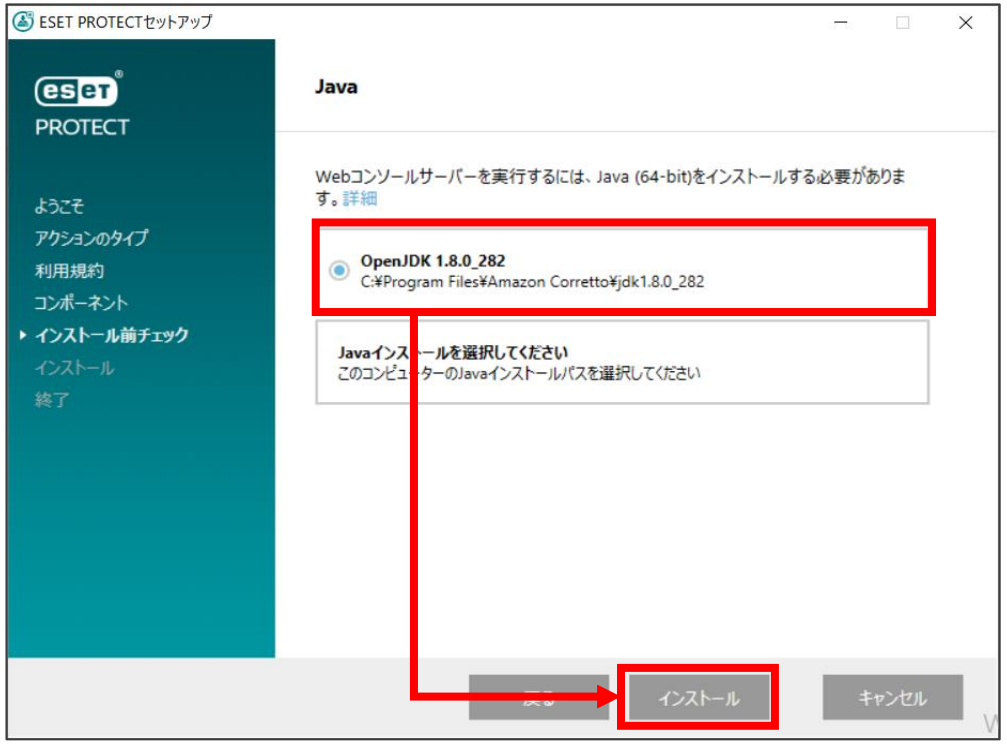
2. 構築（管理サーバーの構築）

⑥ EPのインストール

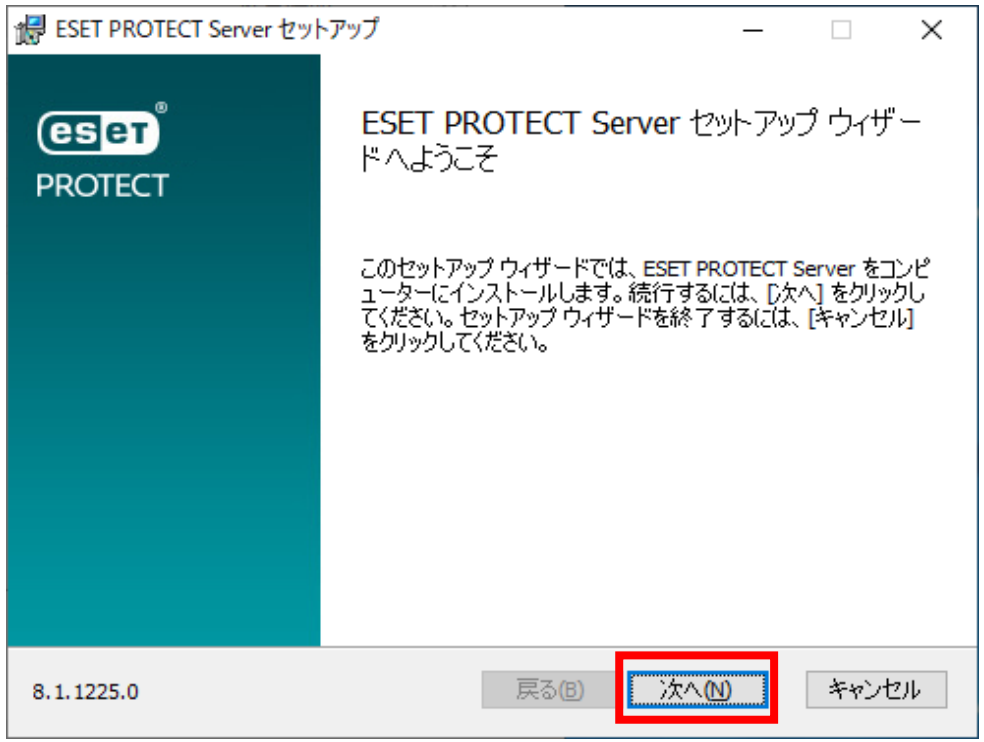
(6)Webコンソールで使用する64bit版のJavaを選択し、「インストール」をクリックします。
※本資料ではAmazonCorretto8を利用します。

(7)ESET PROTECT Server セットアップウィザードが表示されましたら、「次へ」をクリックします。

画像6



画像7



2. 構築（管理サーバーの構築）

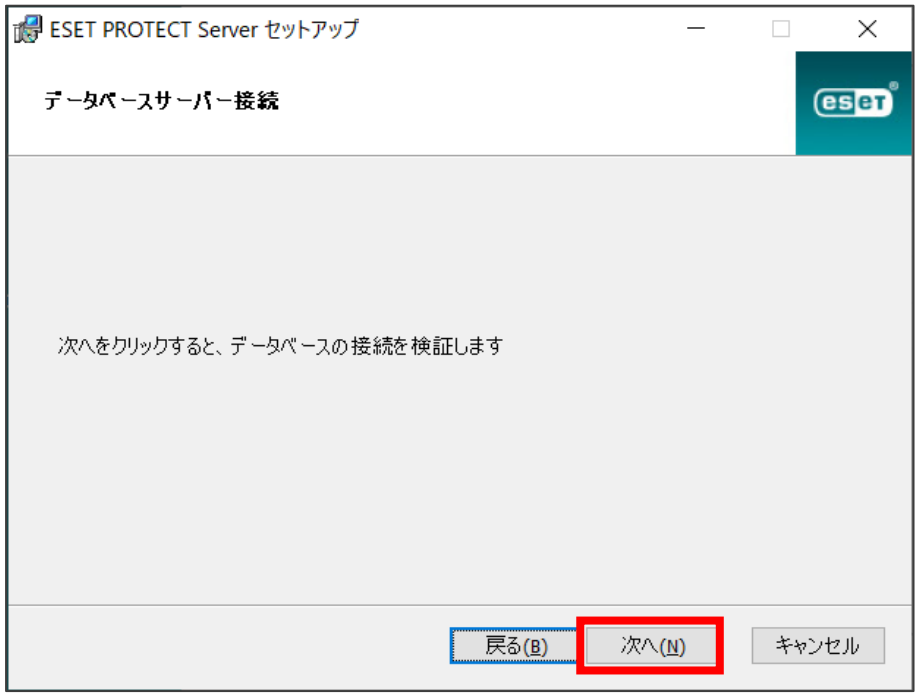
⑥ EPのインストール

(8)データベースサーバー接続画面が表示されましたら、「次へ」をクリックします。

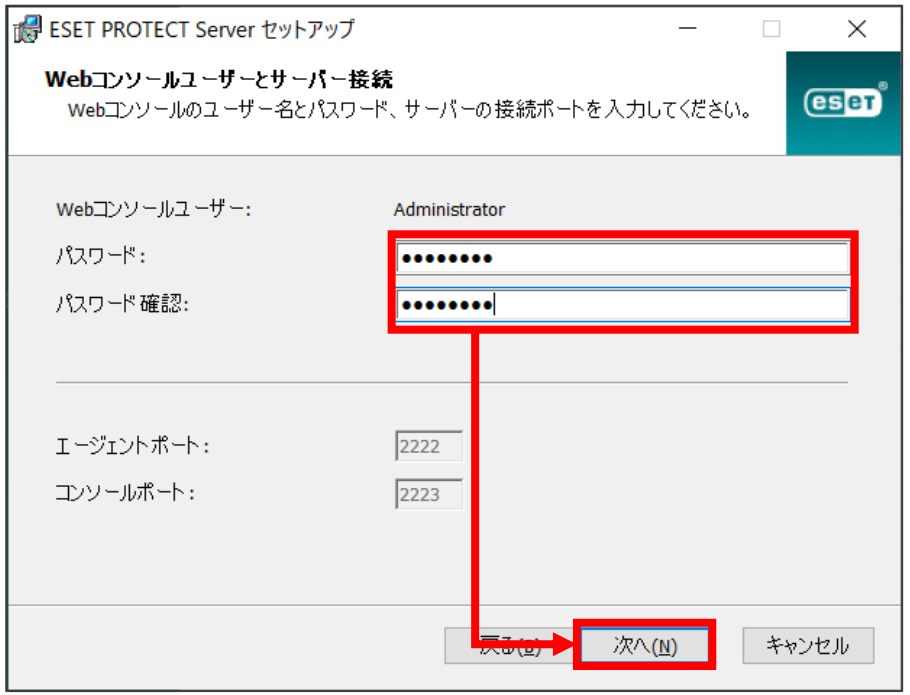
(9)Webコンソールユーザーとサーバー接続画面が表示されましたら、任意のパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

※ESET PROTECT のログインに利用します。

画像8



画像9



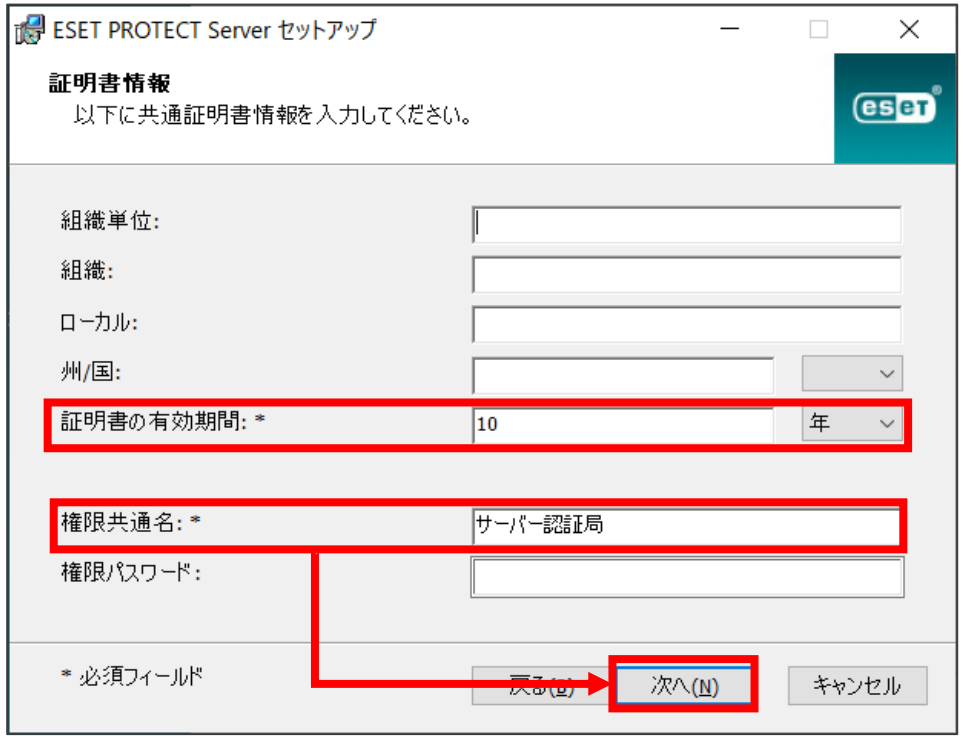
2. 構築（管理サーバーの構築）

⑥ EPのインストール

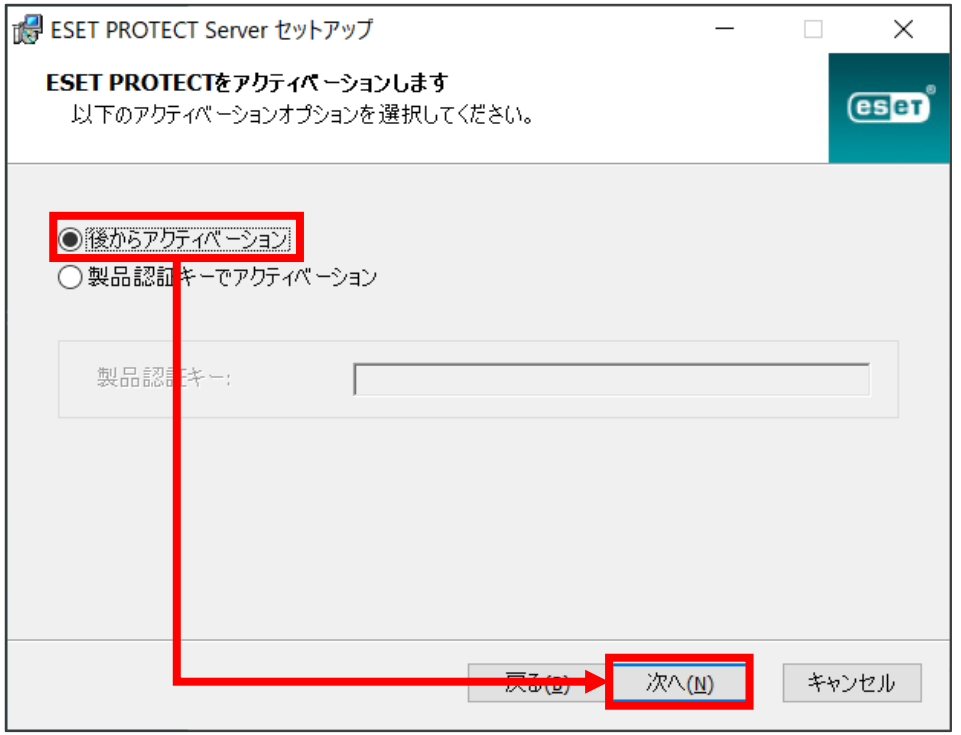
(10)証明書情報画面が表示されましたら、必須フィールドが入力されていることを確認し「次へ」をクリックします。

(11)ESET PROTECTをアクティベーションします画面が表示されましたら、「後からアクティベーション」を選択して、「次へ」をクリックします。

画像10



画像11



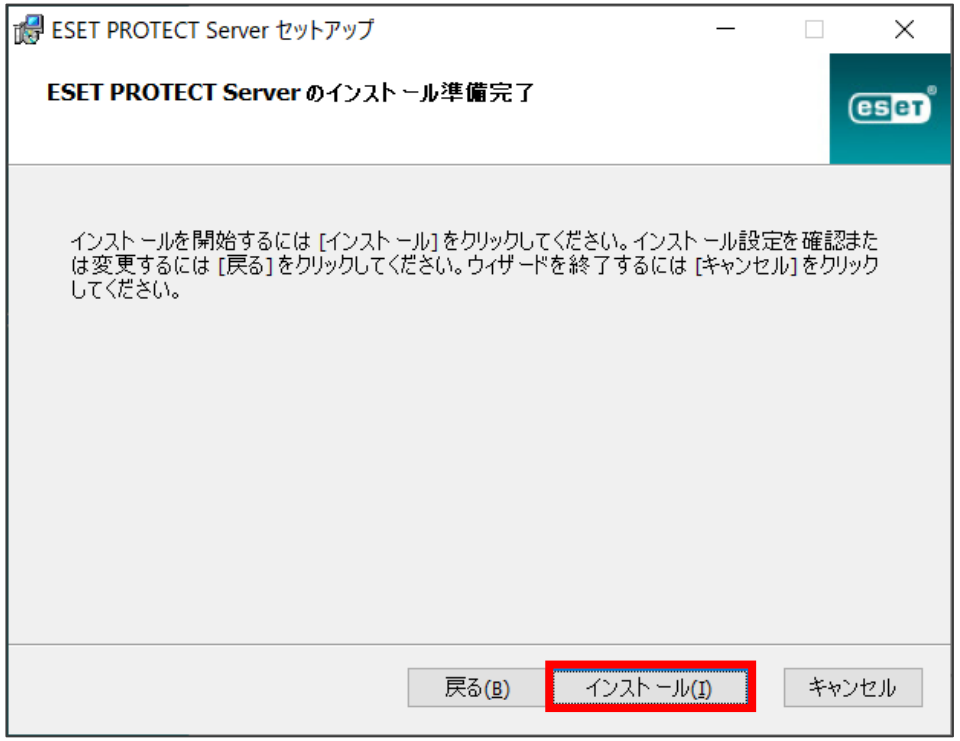
2. 構築（管理サーバーの構築）

⑥ EPのインストール

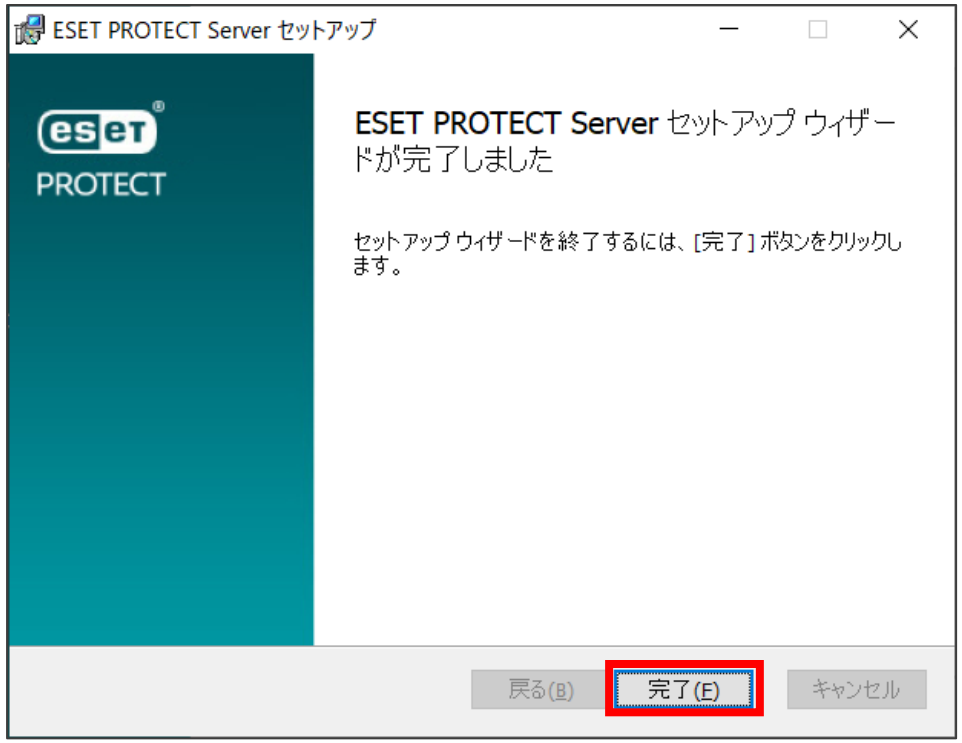
(12)「インストール」をクリックし、インストールを開始します。

(13)「ESET PROTECT Server セットアップウィザードが完了しました」と表示されましたら、「完了」をクリックします。

画像12



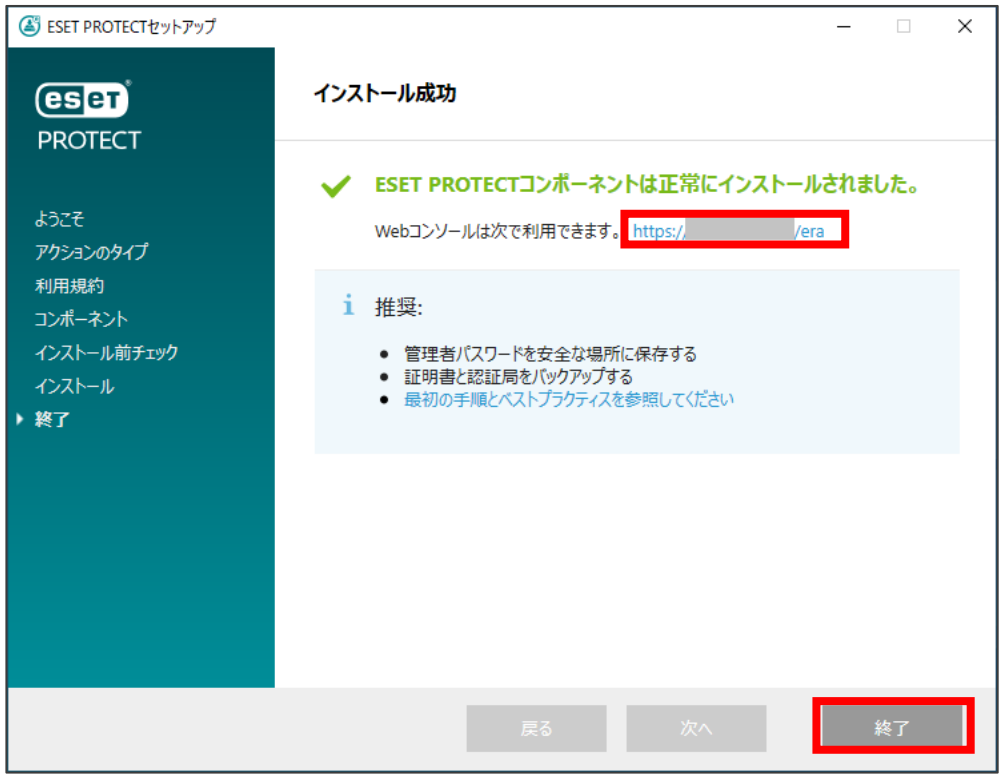
画像13



2. 構築（管理サーバーの構築）

⑥ EPのインストール

(14)全てのコンポーネントがインストールされると、以下の画面が表示されます。Webコンソールのアドレスが表示されているのを確認し、「終了」をクリックします。



以上で、管理サーバーの構築は終了となります。

2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

(1)Webブラウザ(Google Chromeなど)を起動し、「⑥ EPのインストール」の手順14で確認したアドレスを入力して Webコンソールにアクセスします。

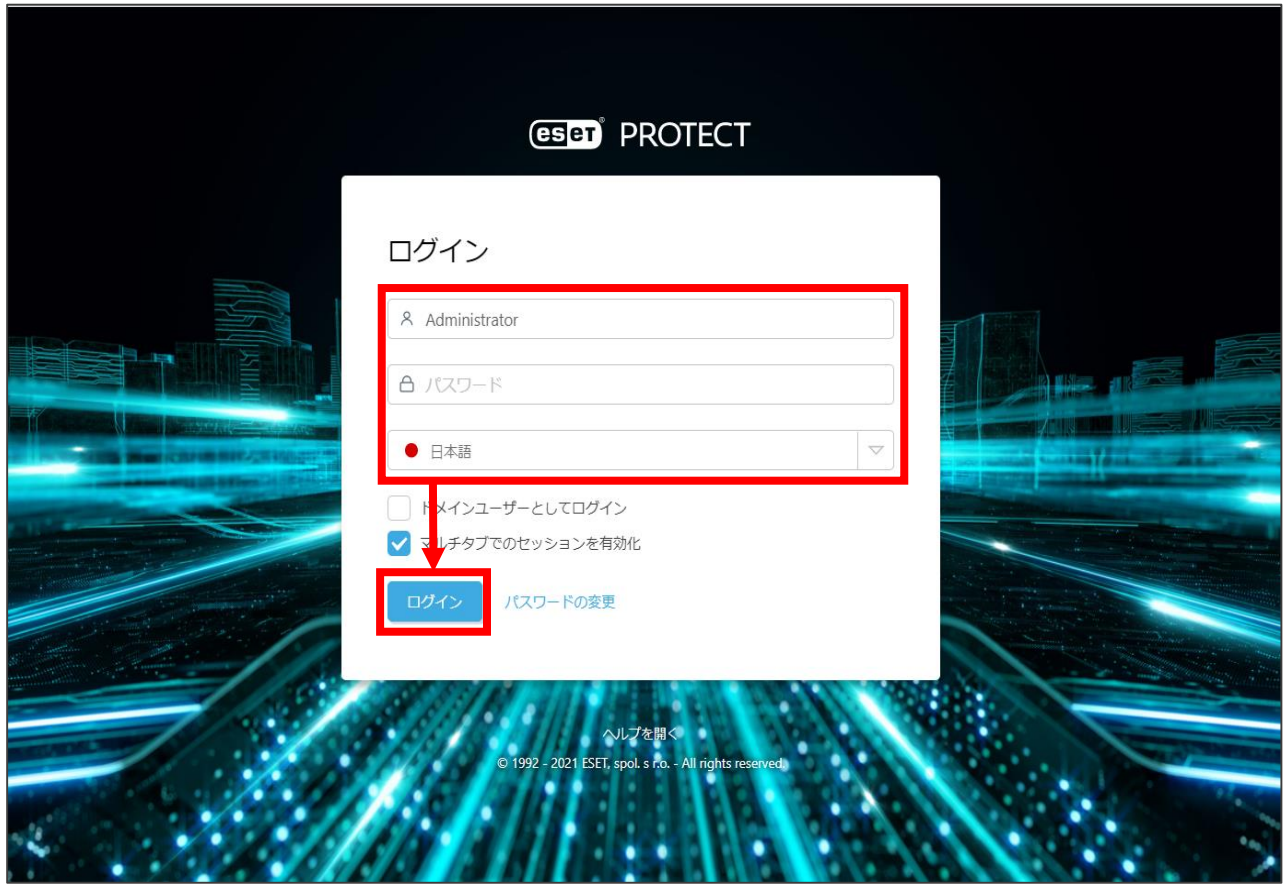
※ここでは、EPのインストール時に独自に作成されたセキュリティ証明書を利用しているため、管理画面にアクセス時に以下のような注意画面が表示されます。

※お使いのブラウザにより表示内容が異なります。

2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

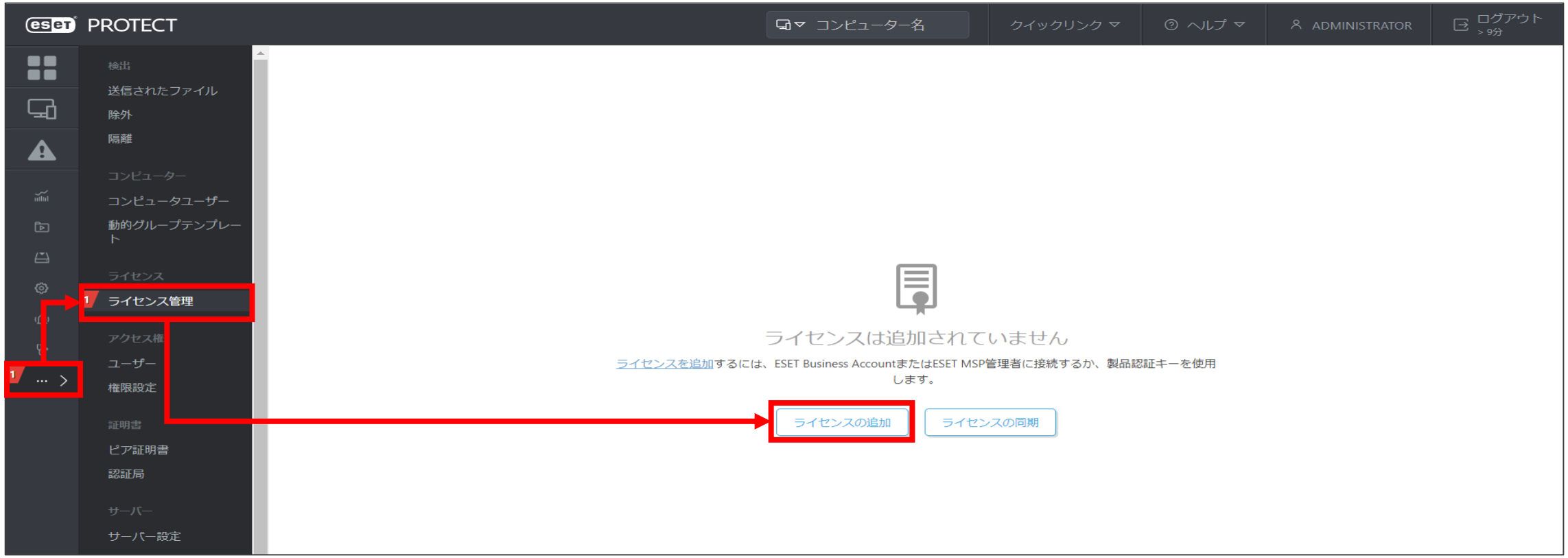
(2)言語を「日本語」に設定し、「⑥ EPのインストール」の手順9で設定したパスワードを入力し、ログインします。



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

(3)画面左側の「詳細」→「ライセンス追加」と進み、「ライセンスの追加」をクリックします。

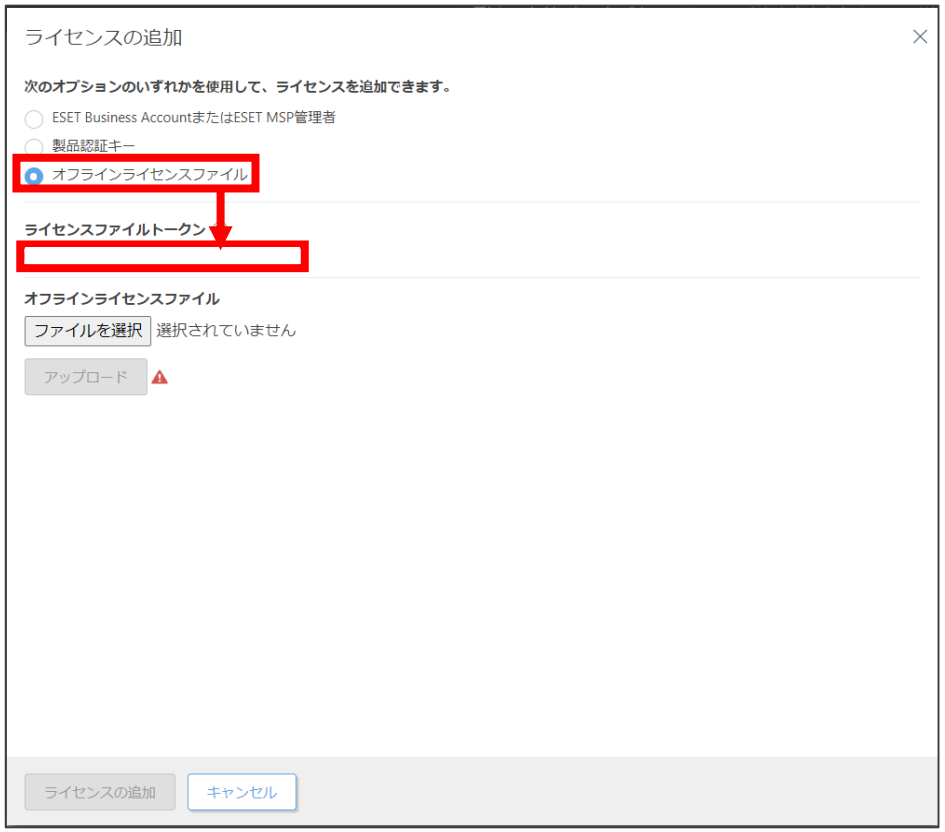


2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

(4)「オフラインライセンスファイル」にチェックをいれ、「ライセンスファイルトークン」をメモします。

※ライセンスファイルトークンはオフラインライセンスファイルを作成する際に使用します。



2. 構築（サーバーのセットアップ）

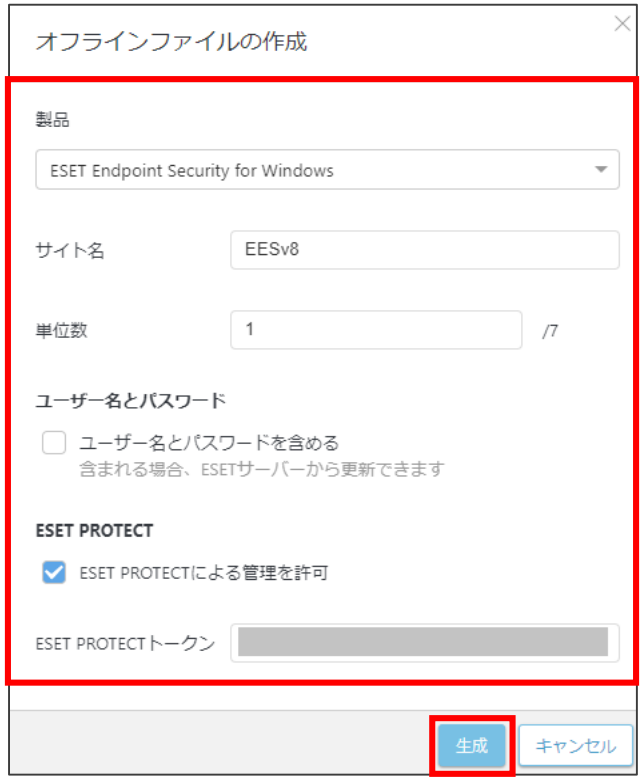
⑦ ライセンスの登録

(5)インターネット接続可能な端末を使用し、事前準備の「② 管理サーバー用のESSWのオフラインライセンスファイルのダウンロード」の手順を参考に、管理する端末用のオフラインライセンスファイルをダウンロードします。

※入力情報については、以下の表を参考にしてください。

※管理するクライアント用プログラムの種類が複数ある場合は、プログラムごとにオフラインライセンスファイルを作成してください。

項目	設定内容
製品	**<ESET Endpoint Security の場合>** ESET Endpoint Security for Windows **<ESET Endpoint アンチウイルス の場合>** ESET Endpoint Antivirus for Windows **<ESET Endpoint Security for OS X の場合>** ESET Endpoint Security for Mac OS X **<ESET Endpoint アンチウイルス for OS X の場合>** ESET Endpoint Antivirus for Mac OS X **<ESET Server Security for Microsoft Windows Server の場合>** ESET Server Security for Microsoft Windows Server (ESET File Security for Microsoft Windows Server) **< ESET Server Security for Linux の場合 >** ESET Server Security for Linux (ESET File Security for Linux) **<ESET Endpoint アンチウイルス for Linux の場合>** ESET Endpoint Antivirus for Linux
サイト名	任意(例：ESSv8)
単位数	オフラインライセンスファイルを使用する台数
ユーザー名とパスワードを含める	チェックなし
ESET PROTECTによる管理を許可	チェックを入れ、［ESET PROTECTトークン］に手順4で確認した内容を入力

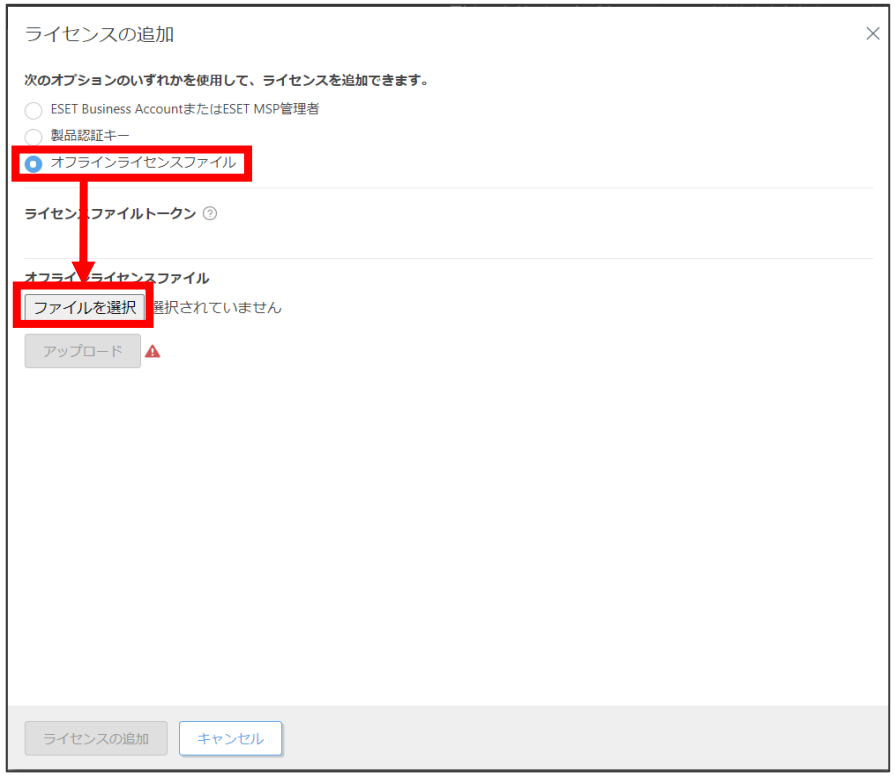


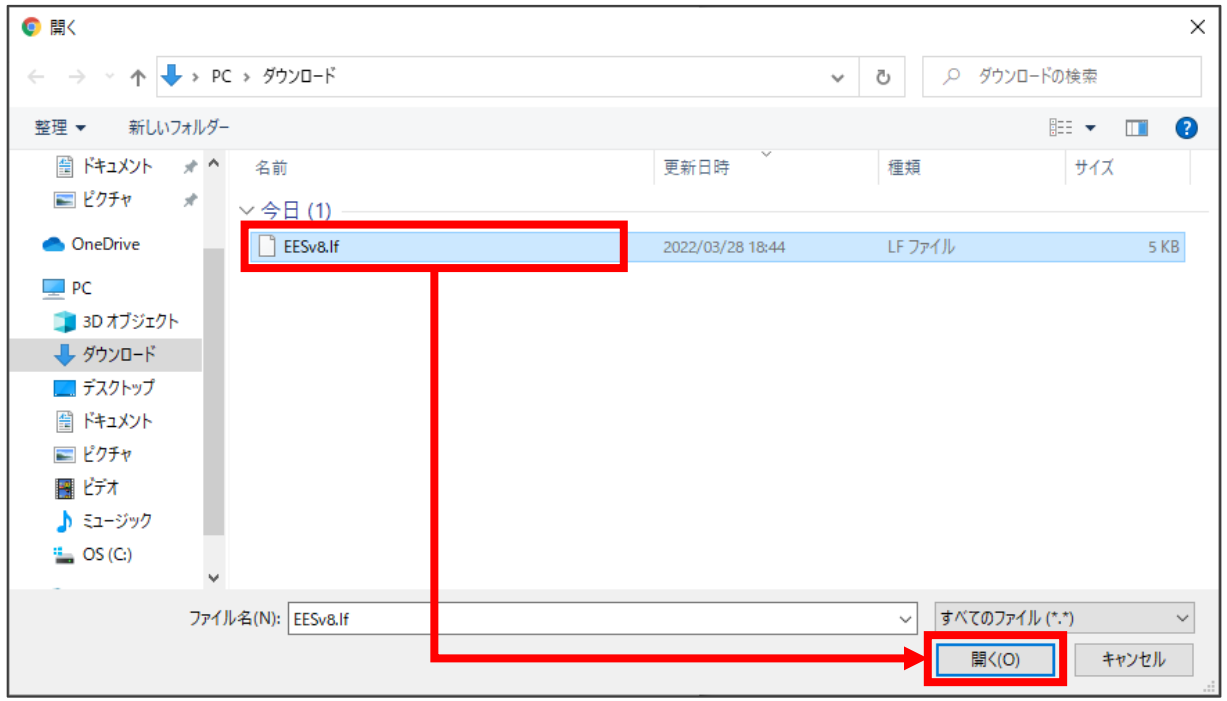
2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

(6)再びEPのWebコンソール画面に移動し、「ファイルを選択」から、手順5で作成したオフラインライセンスファイルを選択します。

※EPからログアウトしている場合は、再びログインし、ライセンス管理に移動してください。

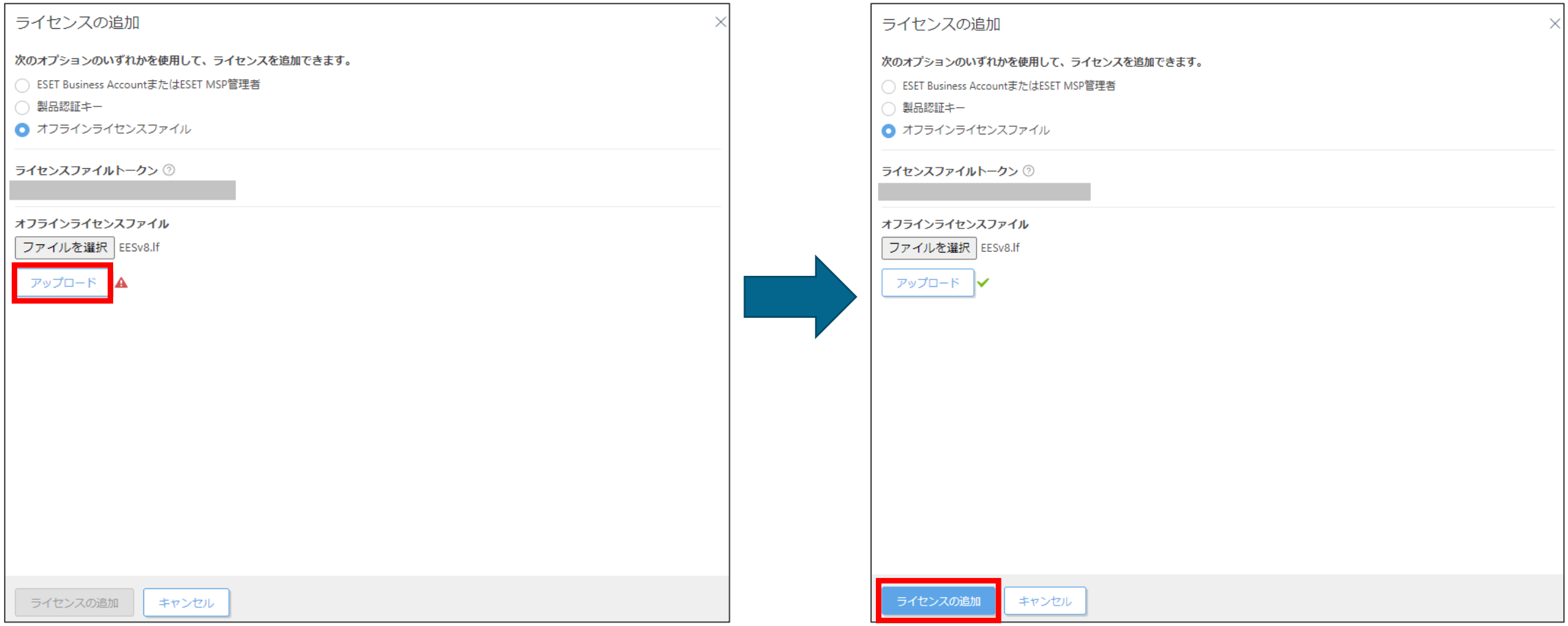




2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

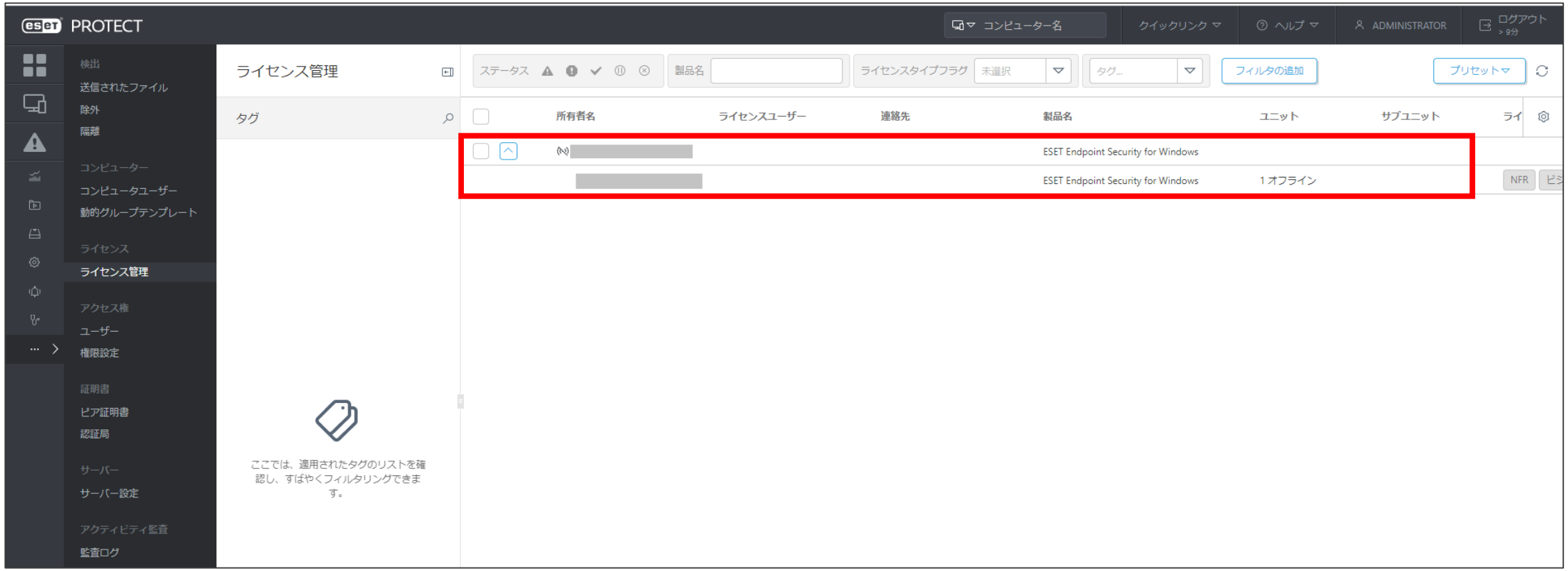
(7)「アップロード」をクリックし、その後、「ライセンスの追加」をクリックします。



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑦ ライセンスの登録

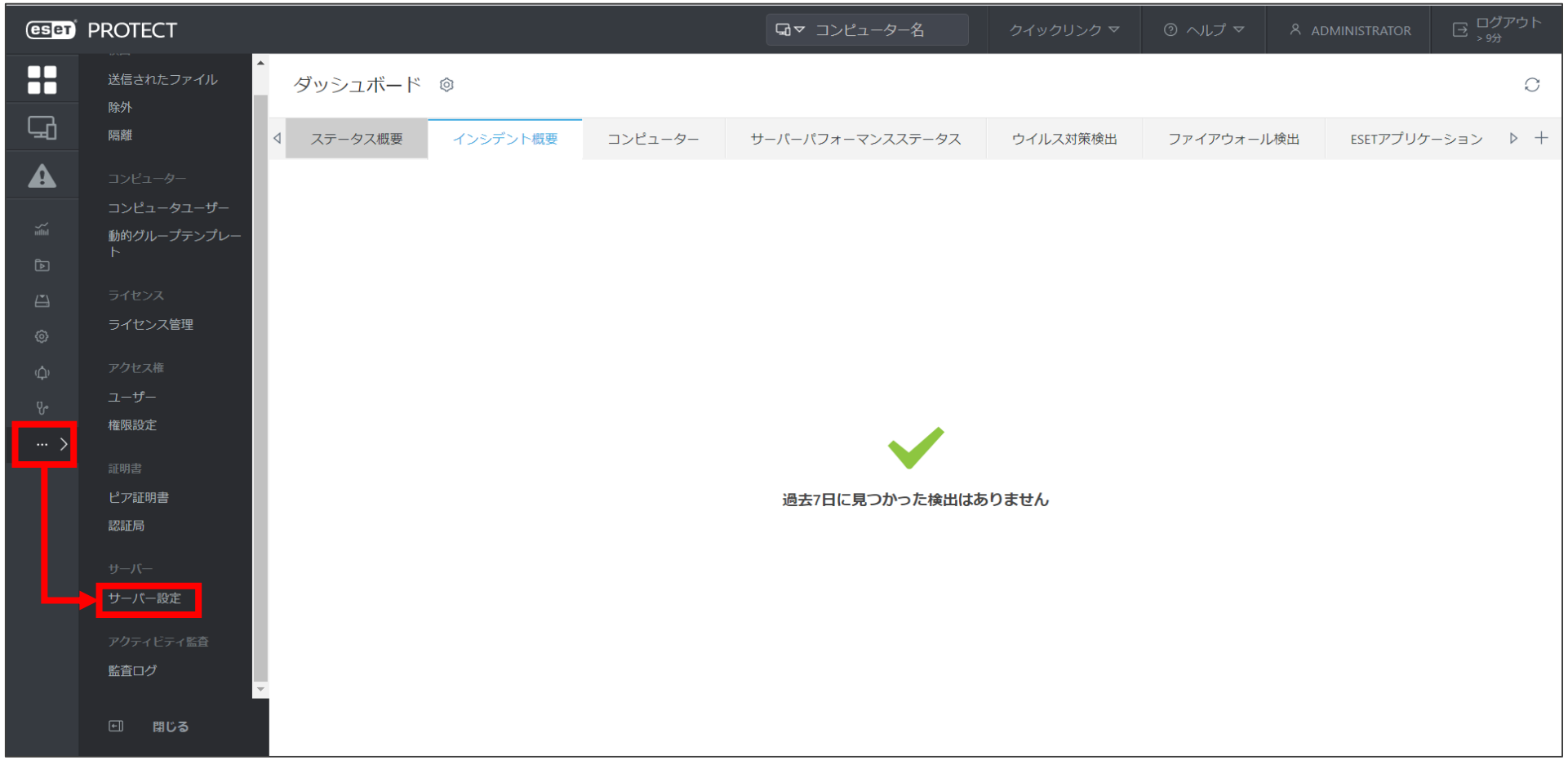
(8)ライセンスが追加されていることを確認します。



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑧ EPのアップデート先変更

(1)画面左側の「詳細」→「サーバーの設定」をクリックします。

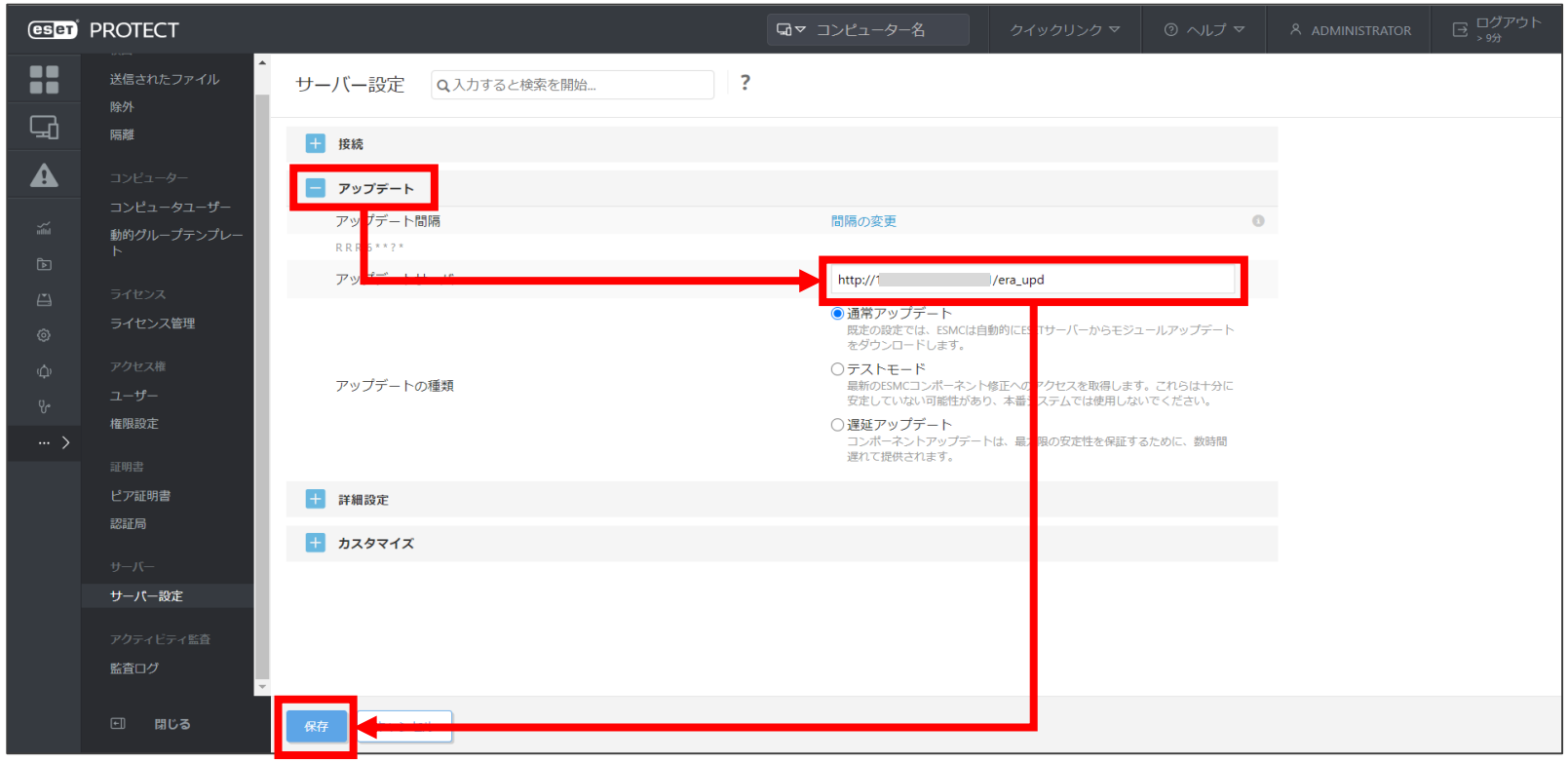


2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑧ EPのアップデート先変更

(2)「アップデート」→「アップデートサーバー」に「オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン」を公開しているURLを入力して、「保存」をクリックします。

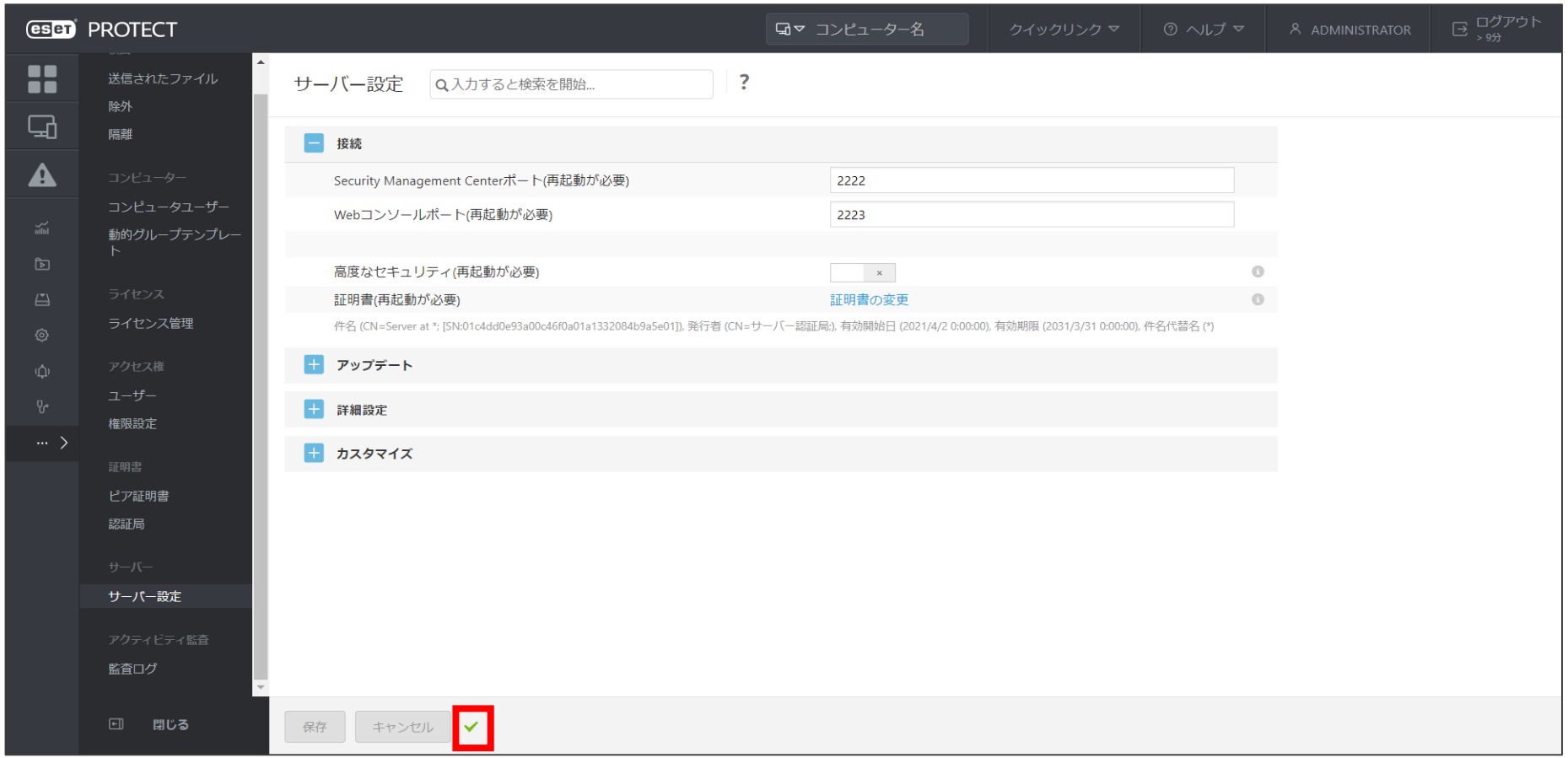
※入力するURL：http://”ミラーサーバーのIPアドレス”:“ミラーサーバーの動作ポート”/era_upd



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑧ EPのアップデート先変更

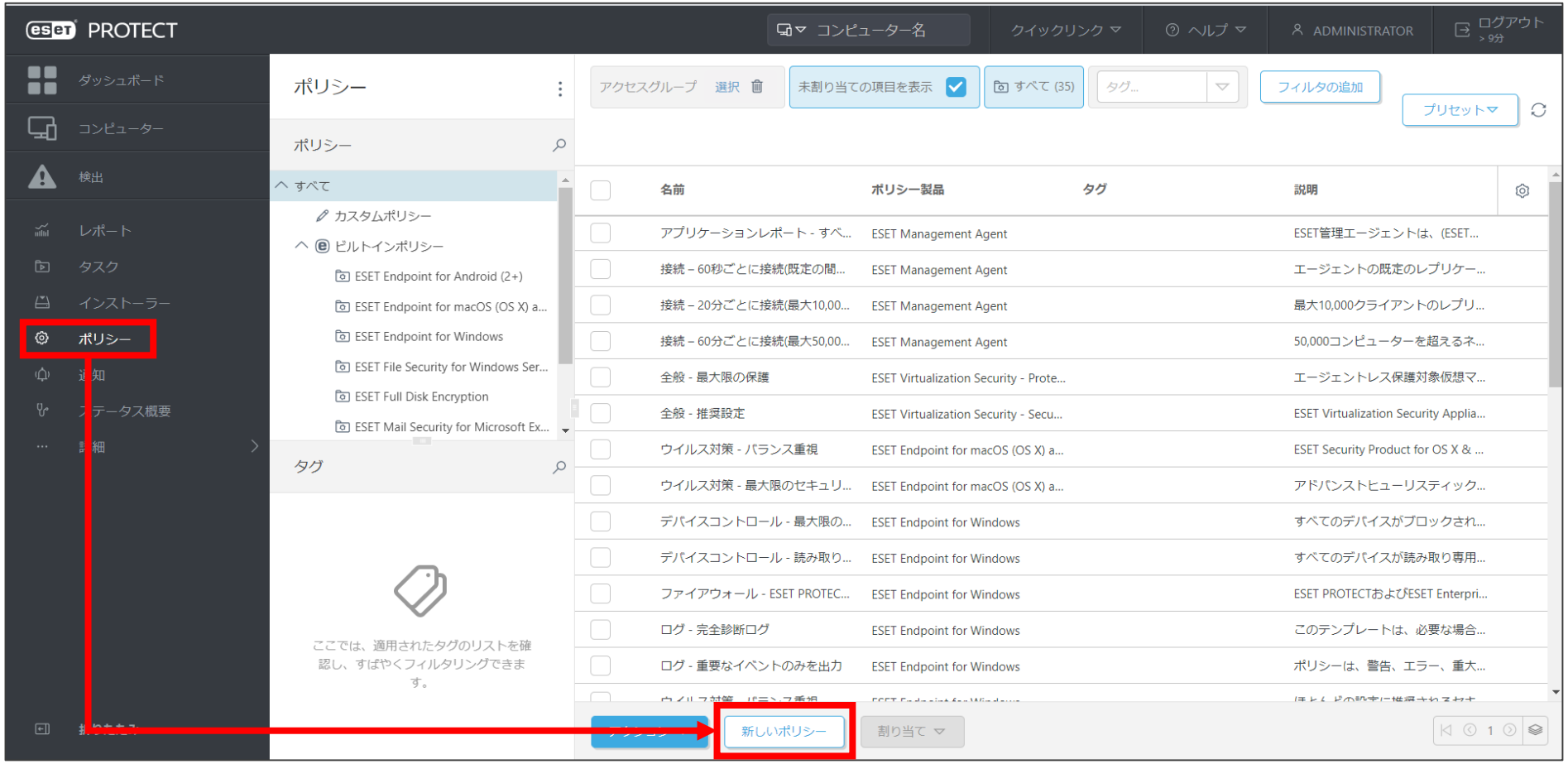
(3)チェックが付き、設定が保存されていることを確認します。



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑨ EMエージェントのアップデート先変更のポリシー作成

(1)画面左側の「ポリシー」をクリックし、「新しいポリシー」をクリックします。

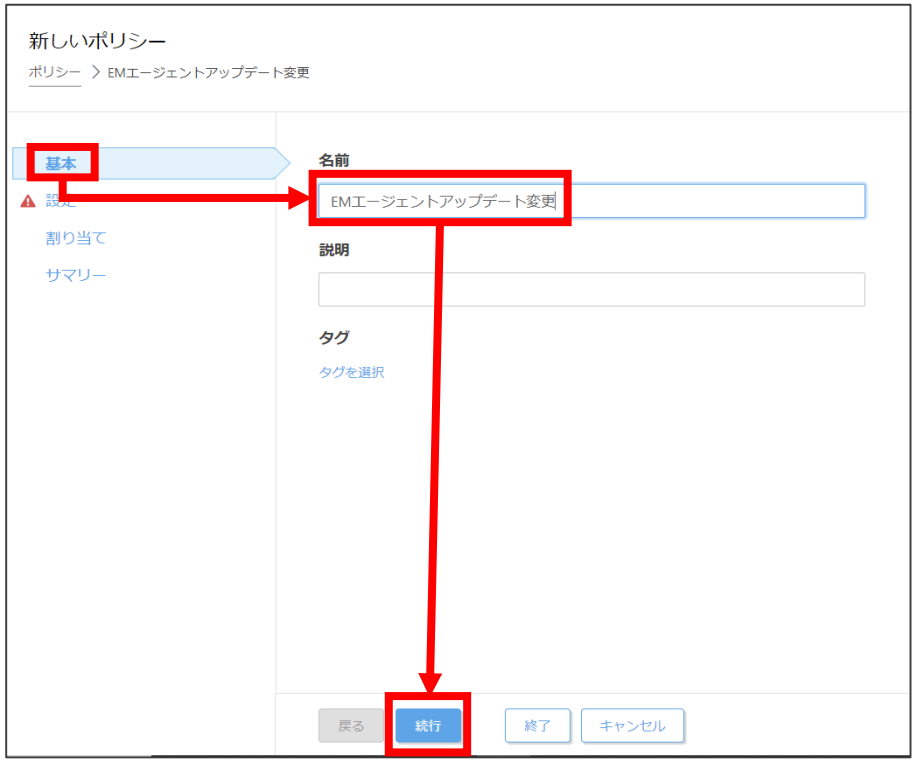


2. 構築（サーバーのセットアップ）

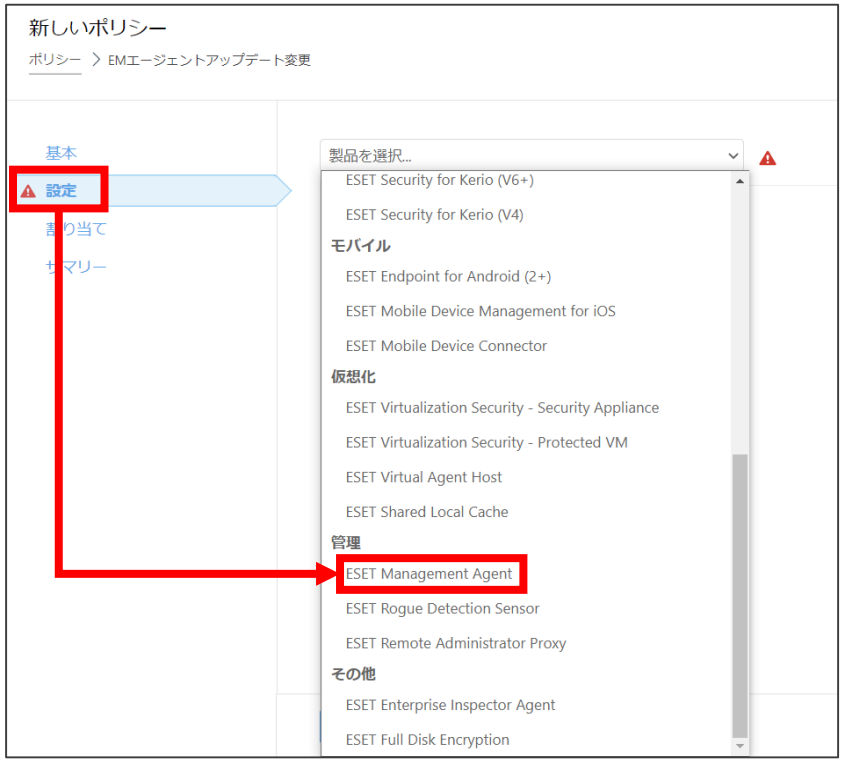
⑨ EMエージェントのアップデート先変更のポリシー作成

(2)「基本」ではポリシーの名前を任意に入力し、「続行」をクリックします。
※「説明」と「タグ」の設定は任意です。
(3)「設定」の「製品を選択...」欄にて[ESET Management Agent]を選択します。

画像2



画像3



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑨ EMエージェントのアップデート先変更のポリシー作成

(4)「アップデート」→「アップデートサーバー」に「オンプレミス型セキュリティ管理ツールの検出エンジン」を公開しているURLを入力して、「続行」をクリックします。

※入力するURL：http://”ミラーサーバーのIPアドレス”:“ミラーサーバーの動作ポート”/era_upd

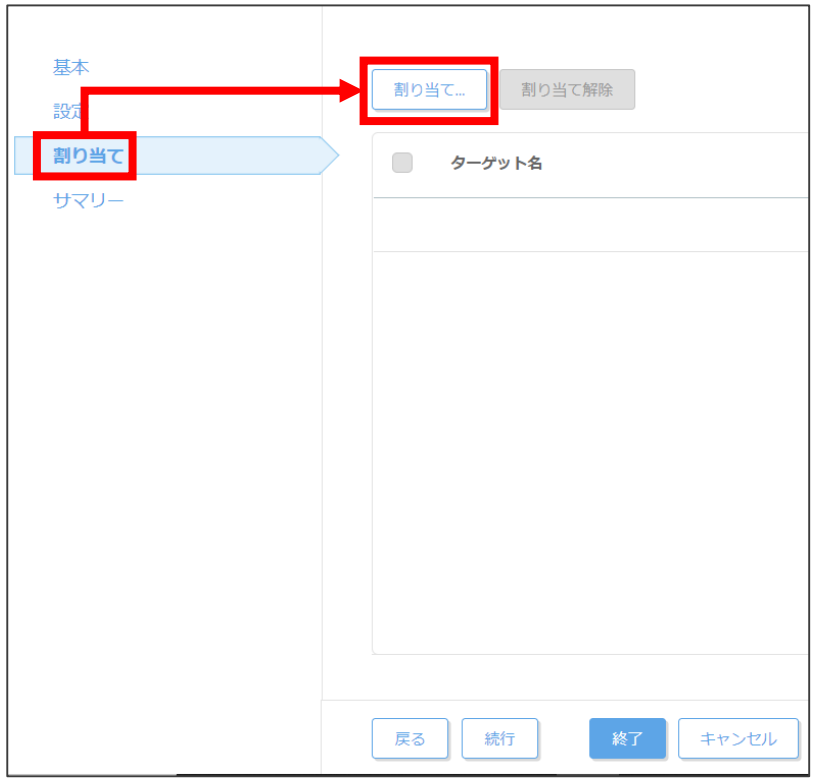
2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑨ EMエージェントのアップデート先変更のポリシー作成

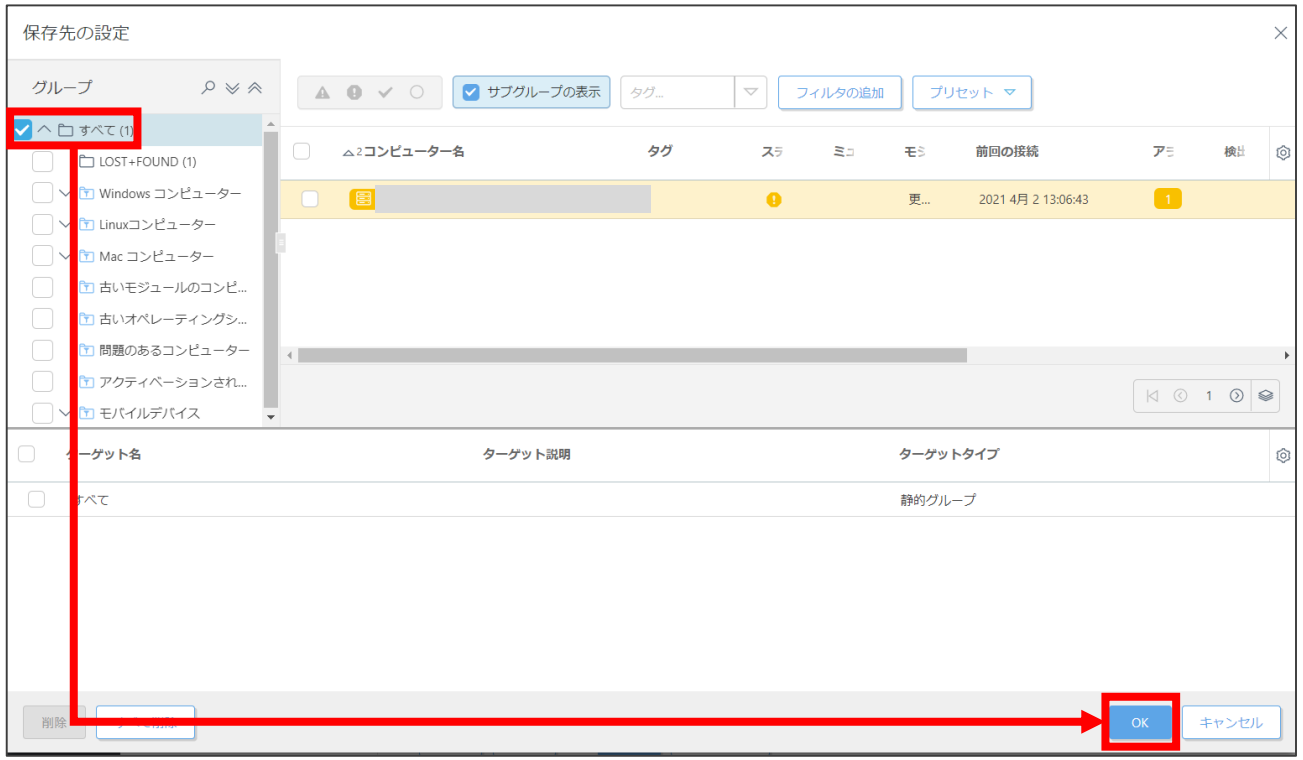
(5)「割り当て」で、「割り当て...」をクリックします。

(6)「すべて」のグループにチェックを入れ、「OK」をクリックします。

画像5



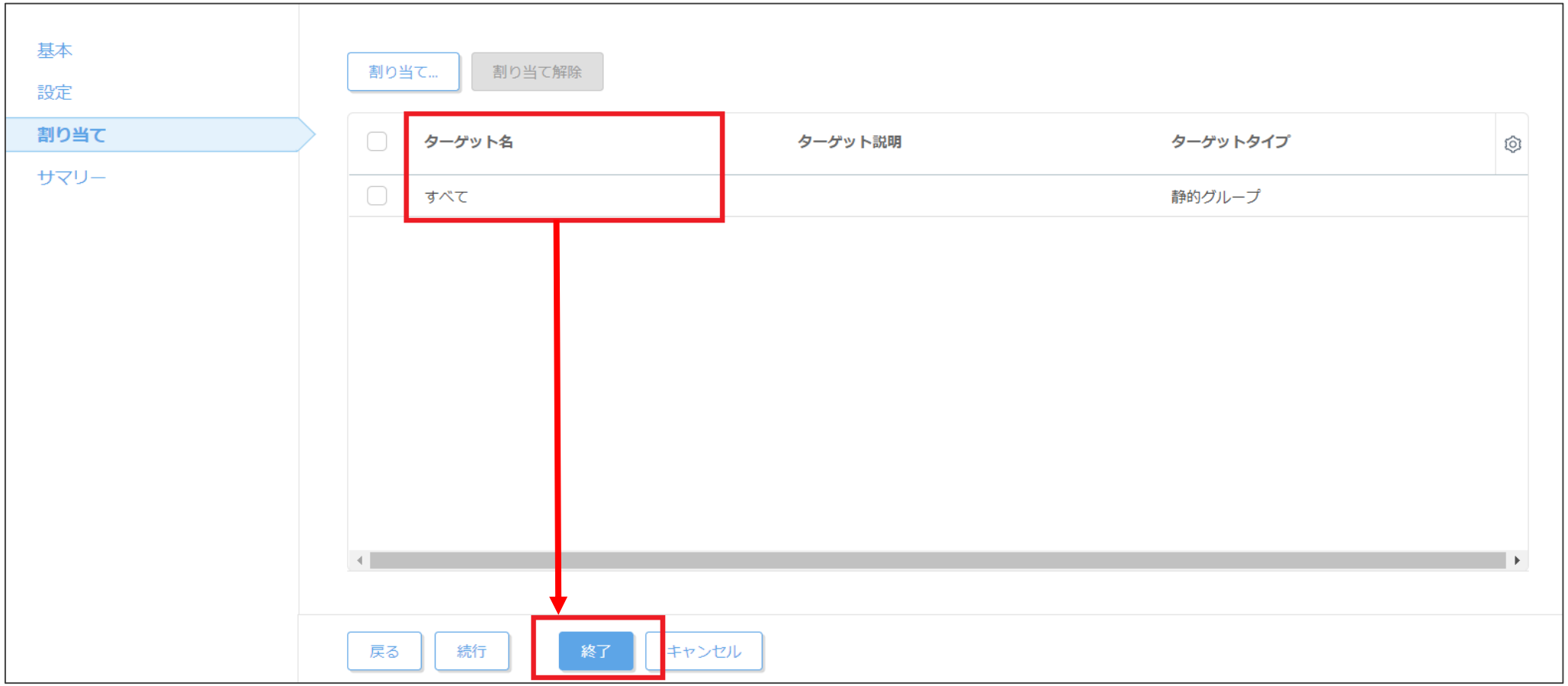
画像6



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑨ EMエージェントのアップデート先変更のポリシー作成

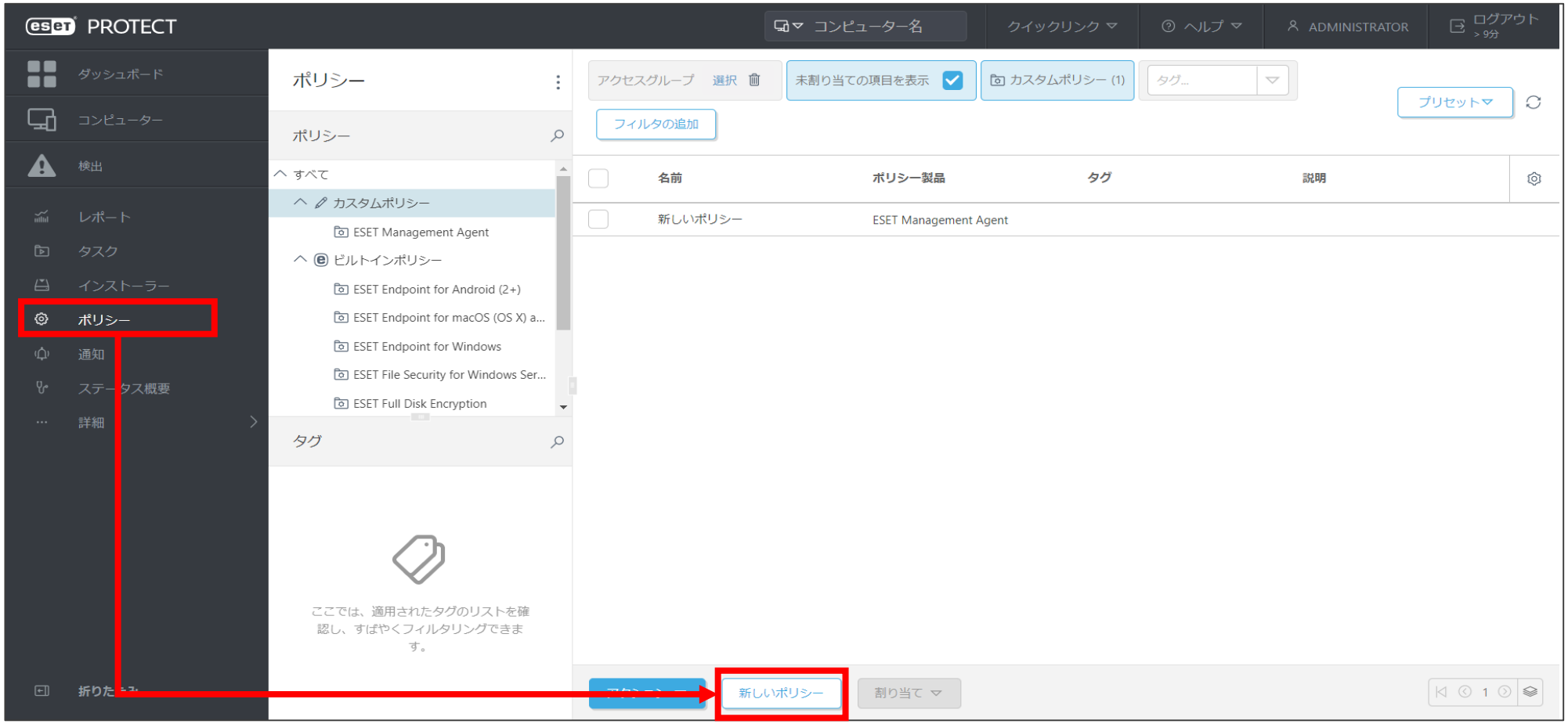
(7)「すべて」のグループがターゲット名に表示されていることを確認し、「終了」をクリックします。



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑩ クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

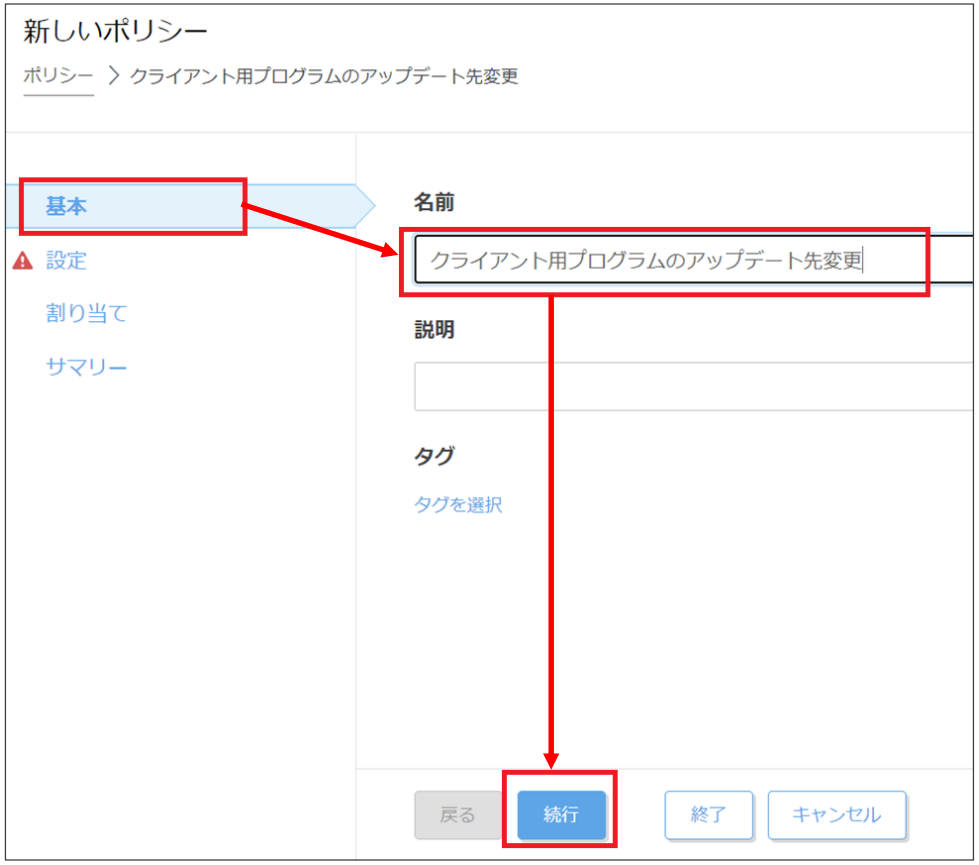
(1)画面左側の「ポリシー」をクリックし、「新しいポリシー」をクリックします。



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑩ クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

(2)「基本」ではポリシーの名前を任意に入力し、「続行」をクリックします。
※「説明」と「タグ」の設定は任意です。

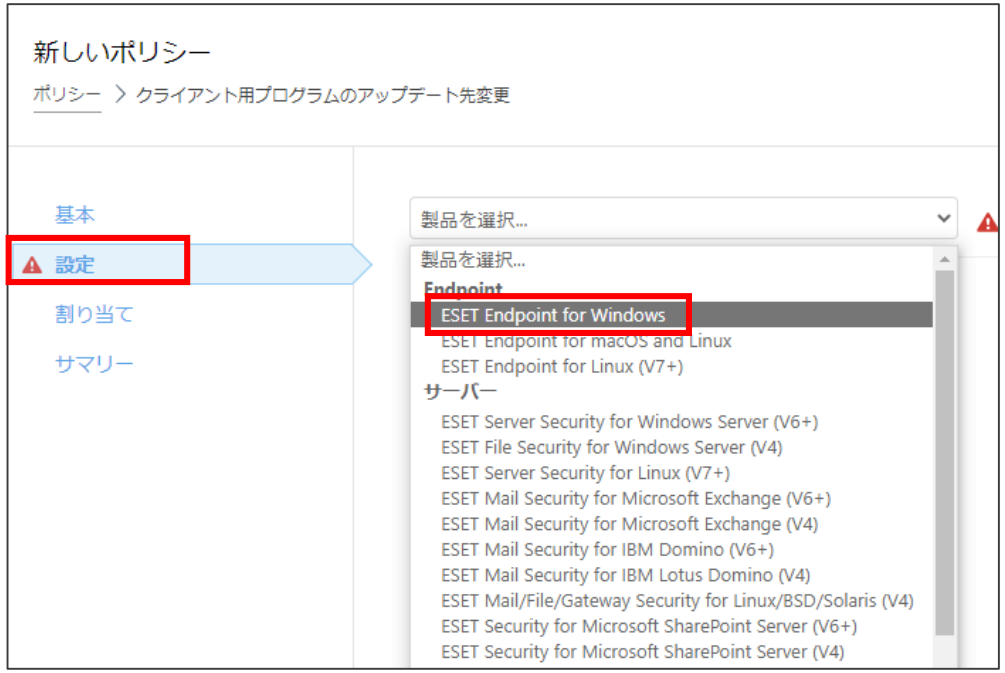


2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑩ クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

(3)「設定」の「製品を選択...」欄にて以下の表を参考にポリシーの作成を行いたいセキュリティ製品を選択します。
※本手順ではWindowsクライアント用プログラムである[ESET Endpoint for Windows]を選択します。

設定変更したいセキュリティ製品	製品を選択
ESET Endpoint Security V7.3、V8.X、V9.X	ESET Endpoint for Windows
ESET Endpoint for アンチウイルス V7.3、V8.X、V9.X	
ESET File Security for Microsoft Windows Server V7.1、V7.2、V7.3 ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.X	ESET Server Security for Windows Server (V6+)
ESET Endpoint Security for OS X V6.8以降	ESET Endpoint for macOS and Linux
ESET Endpoint アンチウイルス for OS X V6.8以降	
ESET File Security for Linux V7.2 ESET Server Security for Linux V8.1	ESET Server Security for Linux (V7+)
ESET Endpoint アンチウイルス for Linux V8.X	ESET Endpoint for Linux (V7+)

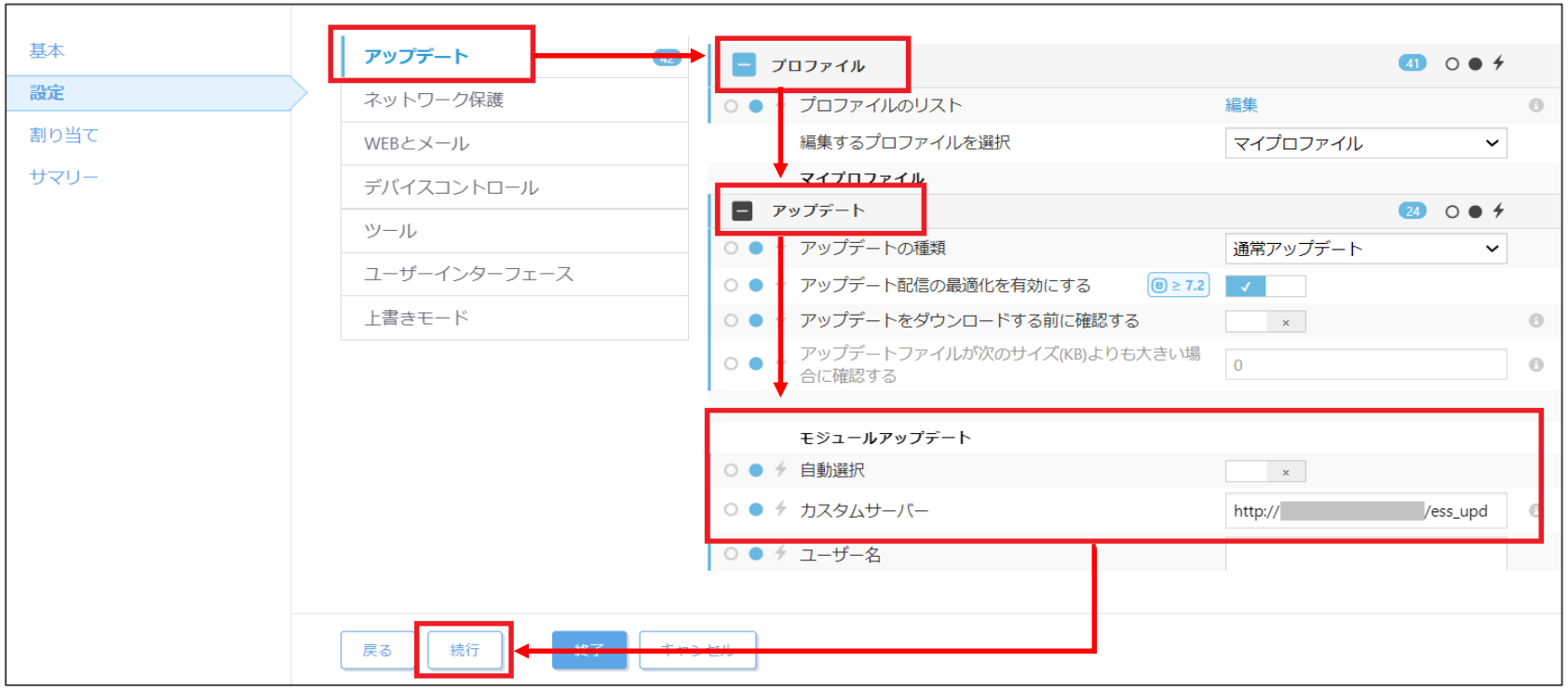


2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑩ クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

(4)「アップデート」→「プロファイル」→「アップデート」をクリックし、「モジュールアップデート」下の「自動選択」の項目を無効にし、カスタムサーバーに「クライアント用プログラムの検出エンジン」を公開しているURLを入力して、「続行」をクリックします。

※入力するURL：http://”ミラーサーバーのIPアドレス”:“ミラーサーバーの動作ポート”/ess_upd



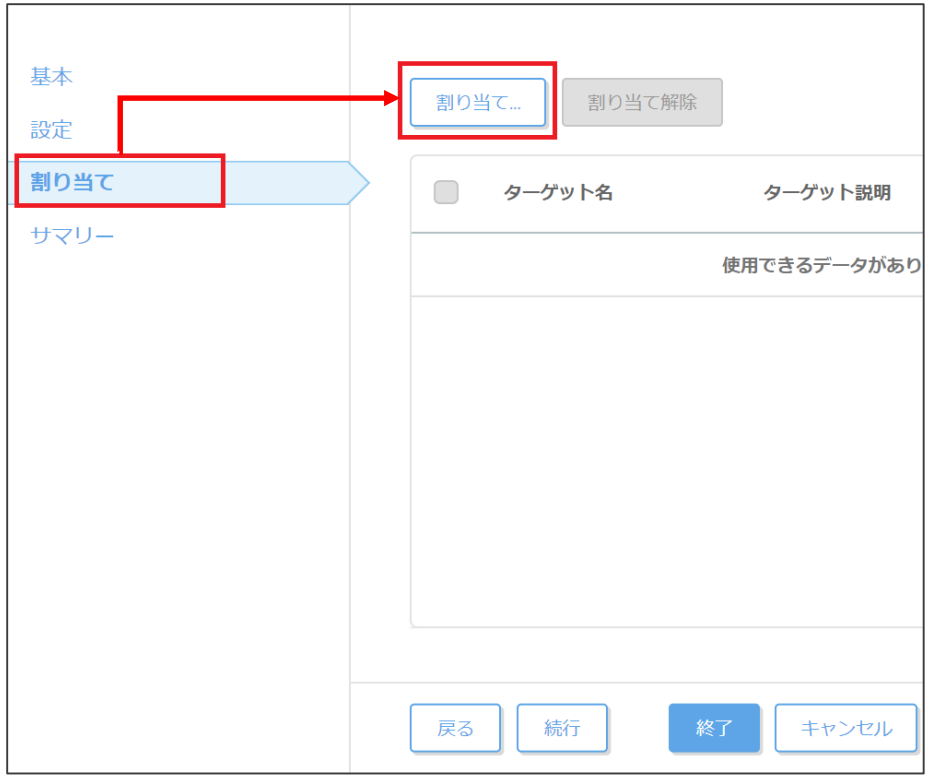
2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑩　クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

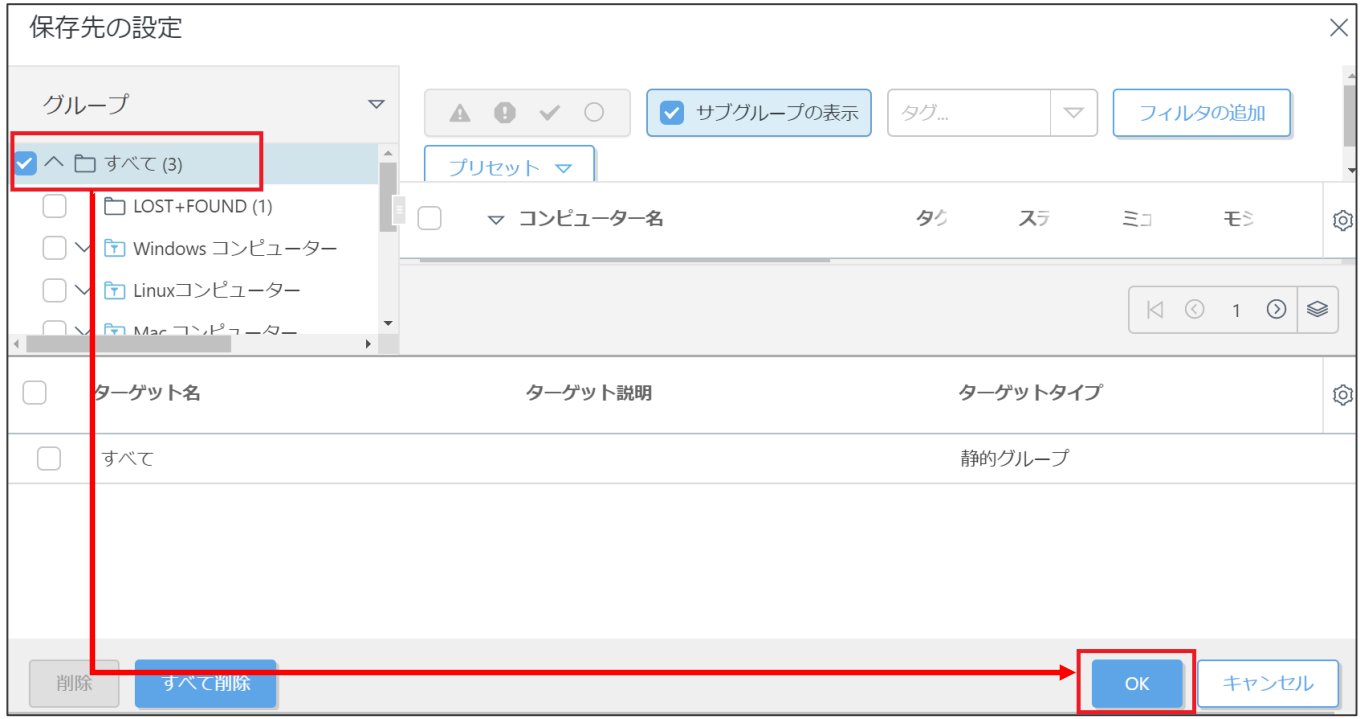
(5)「割り当て」で、「割り当て...」をクリックします。

(6)「すべて」のグループにチェックを入れ、「OK」をクリックします。

画像5



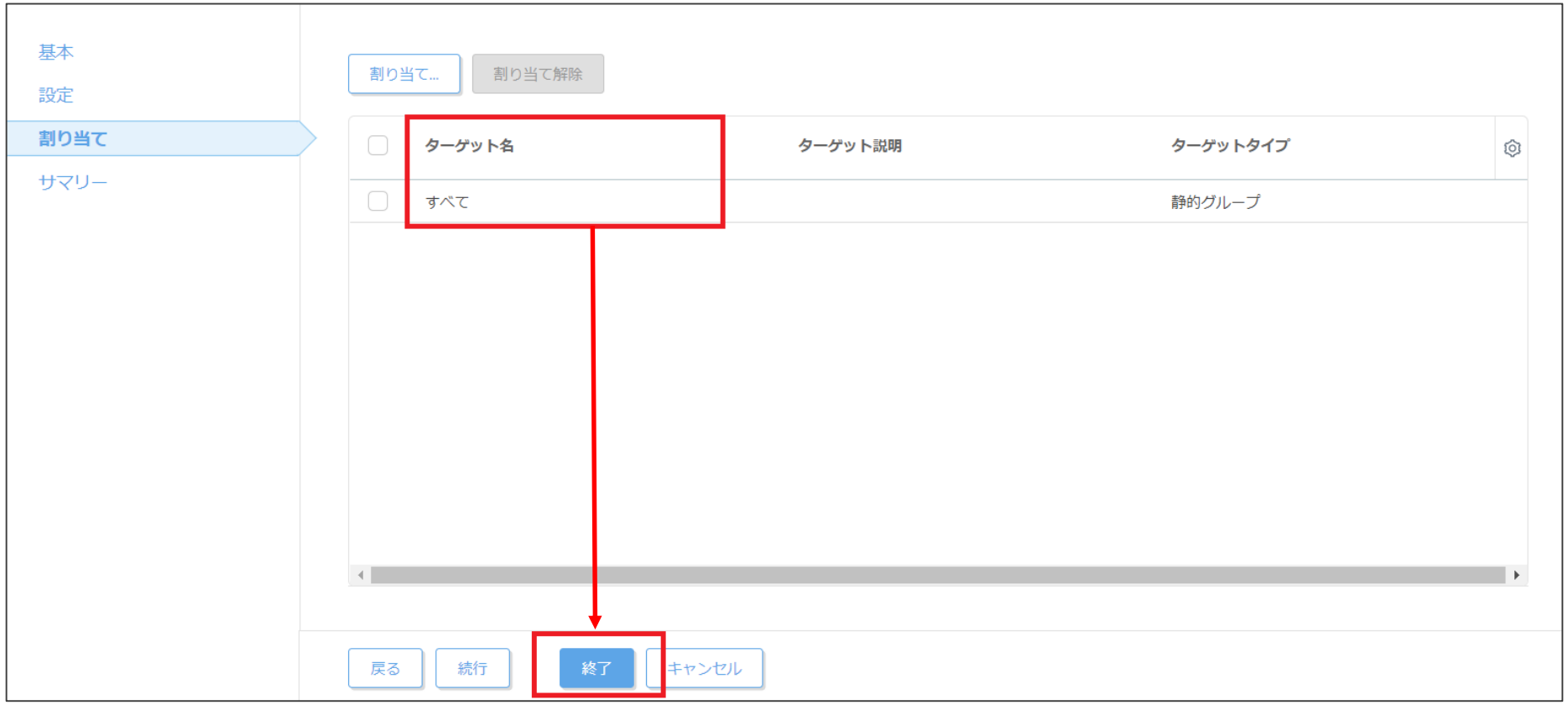
画像6



2. 構築（サーバーのセットアップ）

⑩　クライアント用プログラムのアップデート先変更のポリシー作成

(7)「すべて」のグループがターゲット名に表示されていることを確認し、「終了」をクリックします。



以上で、構築は終了となります。

3. 展開（フロー）

各クライアント端末に展開するフローは以下となります。

事前準備

インストーラーの準備

① EMエージェントのインストーラー作成

② クライアント用プログラムのインストーラー作成

③ 自動アクティベーションのタスク作成

インストーラーの実行

④ EMエージェントのインストール

⑤ クライアント用プログラムのインストール

確認作業

3. 展開（事前準備）

展開作業を始める前にユーザーズサイトより、インストーラーを取得し、外部デバイスなどを利用して、サーバーにコピーしてください。
【ユーザーズサイト】　https://canon-its.jp/product/eset/users/index.html

- EMエージェントのインストーラー

  「プログラム/マニュアル」

  - 「オンプレミス型セキュリティ管理ツール（ ESET PROTECT）」
  - 「ESET Management エージェント」
  - 「※3 旧バージョンプログラムについて」
  - 「プログラム（オンプレミス型セキュリティ管理ツール）」
  - 「Windows Serverでご利用の場合」
  - 「ESET PROTECT V8.1」
  - 「Windows向け ESET Management エージェント V8.1」
  - 「プログラム」

- EEES/EEAのインストーラー

  「プログラム/マニュアル」

  - 「クライアント用プログラム」
  - 「Windows向け」
  - 「※3 旧バージョンプログラムについて」
  - 「プログラム（Windowsでご利用の場合）」
  - 「Windowsでご利用の場合」
  - 「ESET Endpoint Security V8.1 / ESET Endpoint アンチウイルス V8.1」
  - 「プログラム」

3. 展開（インストーラーの準備）

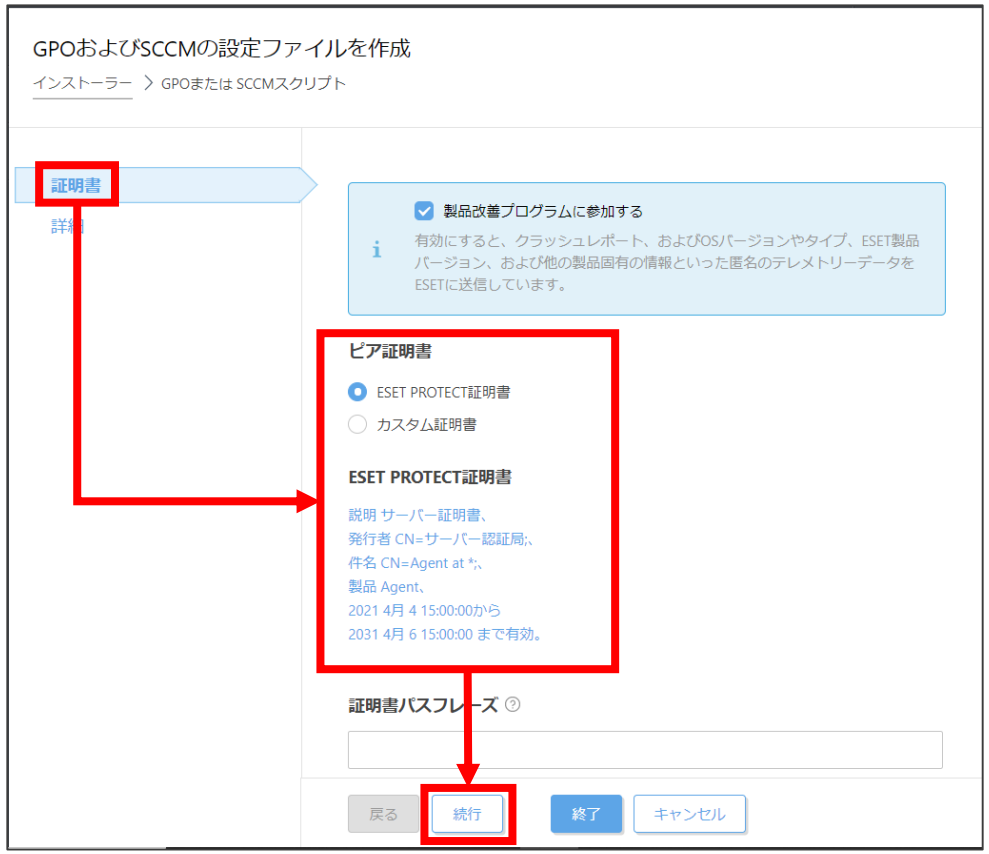
① EMエージェントのインストーラー作成

(1)EPにログインし、画面左側の「インストーラー」へ進み、「インストーラー作成」から「GPOまたはSCCMスクリプト」をクリックします。

3. 展開（インストーラーの準備）

① EMエージェントのインストーラー作成

(2)「証明書」では「ピア証明書」でESET PROTECT証明書を選択し、「ESET PROTECT証明書」に証明書が登録されていることを確認して、「続行」をクリックします。



3. 展開（インストーラーの準備）

① EMエージェントのインストーラー作成

(3)「詳細」では、以下の表を参考に設定し、「終了」をクリックし、「install_config.ini」のファイルがダウンロードされることを確認します。

項目	設定内容
名前	任意(例：EMエージェントインストーラー)
説明	任意
タグ	任意
親グループ(任意)	所属する静的グループ ※設定しない場合は「LOST＋FOUND」 に所属します
設定テンプレート	本手順では「設定しない」 ※設定は後からポリシーで変更することも可能です ※作成済みのポリシーを組み込むことも可能です
サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス)	ESET PROTECTサーバーのホスト名またはIPアドレス ※ホスト名を設定する場合は、各端末から 名前解決が可能である必要があります
ポート	2222

3. 展開（インストーラーの準備）

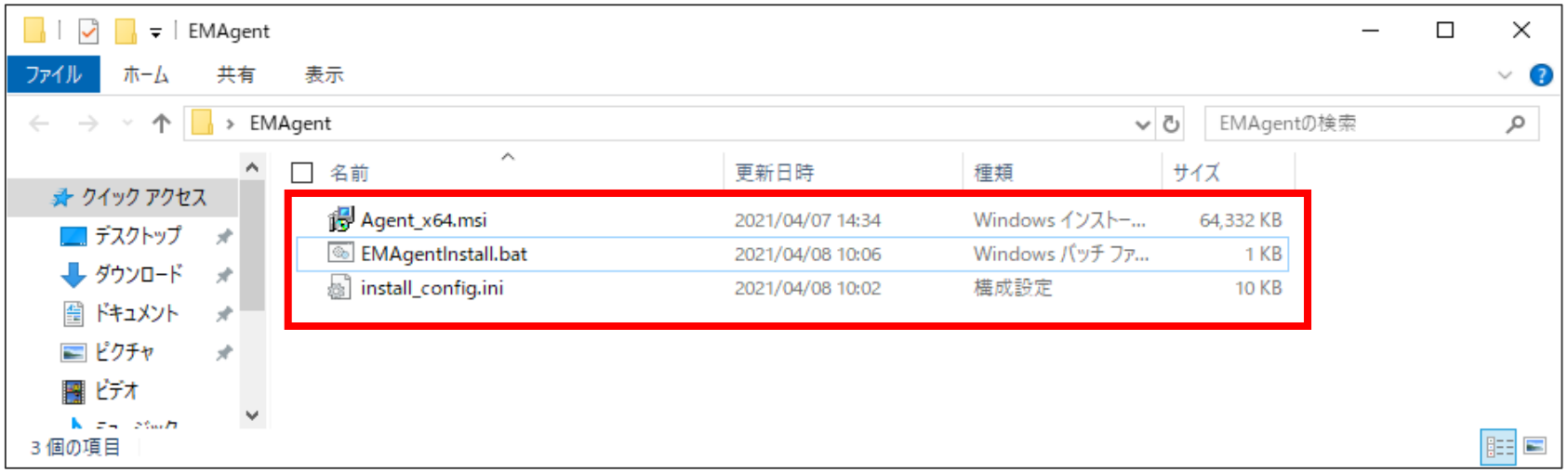
① EMエージェントのインストーラー作成

(4)メモ帳などを開き、以下のコマンドを入力して、バッチファイルとしてbat形式で任意の名前を付けて保存します。
(ファイル名例：EMAgentInstall.bat)
※32bit用の場合はコマンド内の「Agent_x64.msi」の箇所が「Agent_x86.msi」になります。

```
msiexec /i Agent_x64.msi /qb!
```

(5)手順4で作成したバッチファイル、手順3でダウンロードした「install_config.ini」ファイル、事前準備で用意したEMエージェントのインストーラー(Agent_x64.msi)を1つのフォルダーに保存します。

※「install_config.ini」ファイルのファイル名は変更しないでください。



3. 展開（インストーラーの準備）

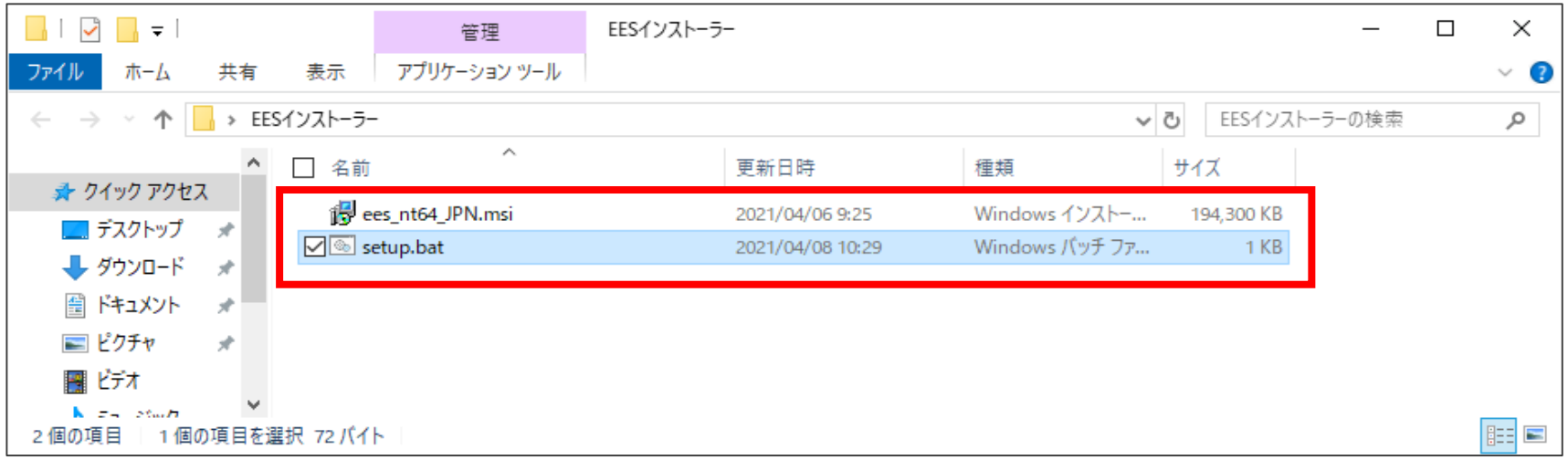
② クライアント用プログラムのインストーラー作成

(1)メモ帳などを開き、以下のコマンドを入力して、バッチファイルとしてbat形式で任意の名前を付けて保存します。
(ファイル名例：setup.bat)

※「ees_nt64_JPN.msi」の箇所にはクライアント用プログラムのインストーラー名が入ります。
利用するインストーラー名に合わせて変更してください。

```
msiexec /i ees_nt64_JPN.msi /qb! reboot="force" INSTALLED_BY_ERA=1
```

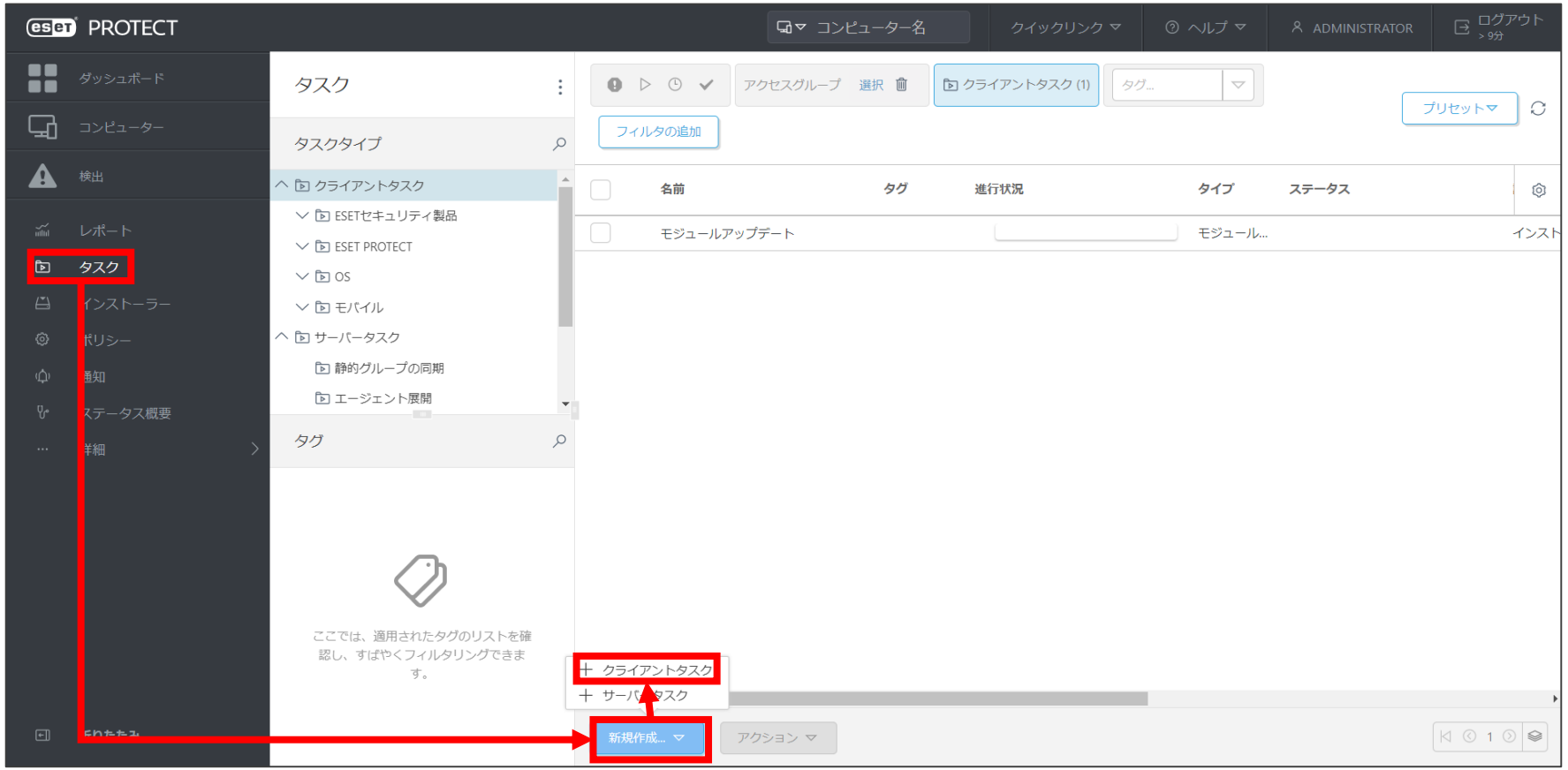
(2)手順1で作成したバッチファイルと事前準備で用意したクライアント用プログラムのインストーラーを1つのフォルダーに保存します。



3. 展開（インストーラーの準備）

③　自動アクティベーションのタスク作成

(1)EPにログインし、画面左側の「タスク」をクリックし、「新規作成」→「クライアントタスク」をクリックします。

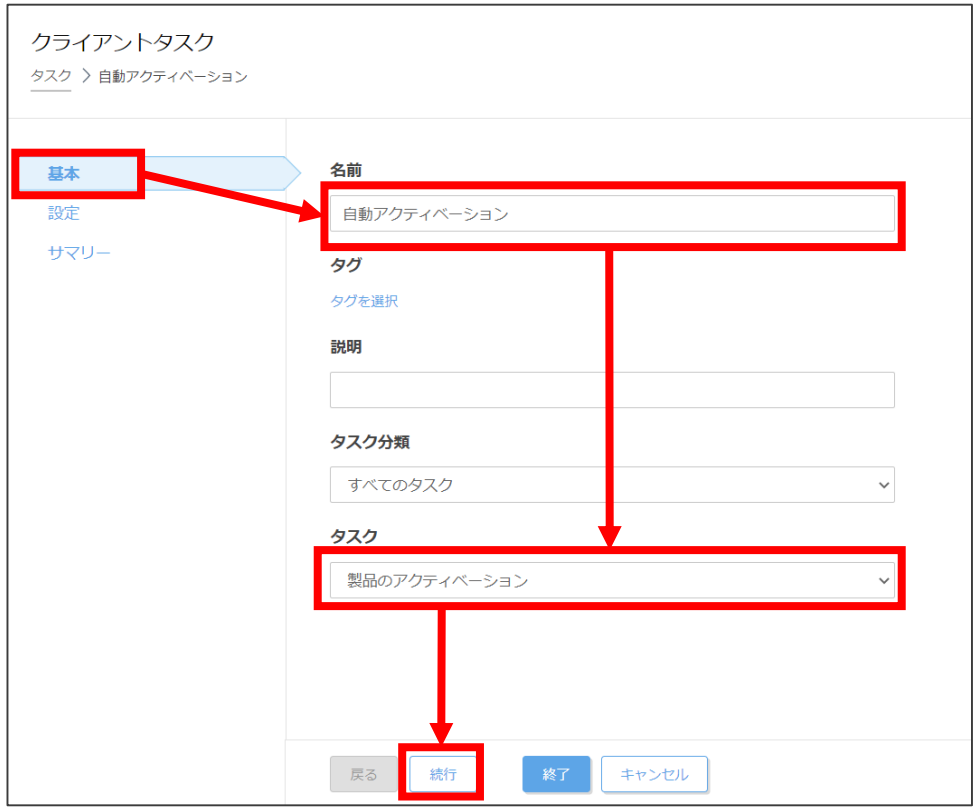


3. 展開（インストーラーの準備）

③ 自動アクティベーションのタスク作成

(2)「基本」ではタスクの名前を任意に入力し、「タスク」を「製品のアクティベーション」に設定をして、「続行」をクリックします。

※「説明」と「タグ」の設定は任意です。また、タスク分類は「すべてのタスク」で構いません。

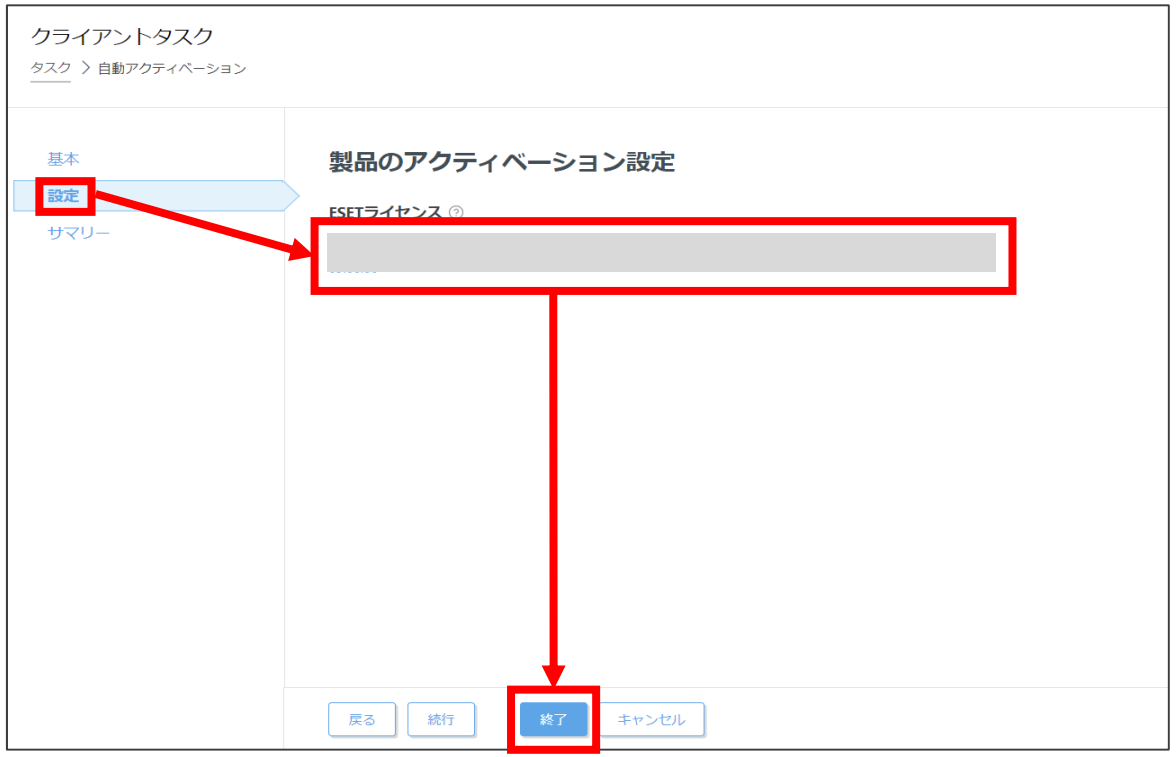


3. 展開（インストーラーの準備）

③　自動アクティベーションのタスク作成

(3)「設定」ではアクティベーションに使用するライセンスを設定し、「終了」をクリックします。
※使用するライセンスが複数ある場合は、タスクを複数作成してください。
(4)画像4が表示されましたら、「トリガーの作成」をクリックします。

画像3



画像4

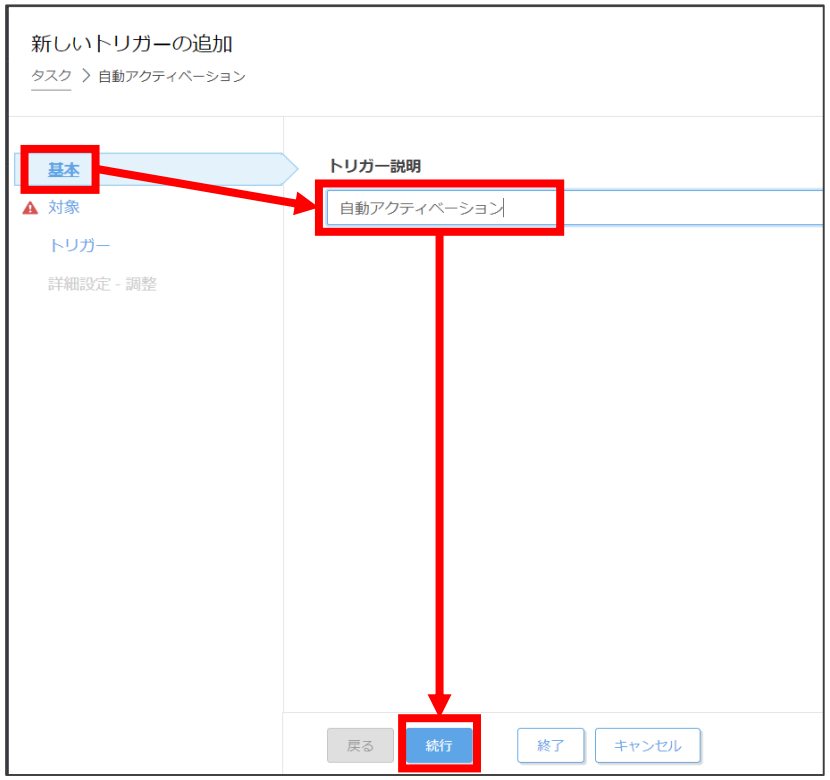
3. 展開（インストーラーの準備）

③　自動アクティベーションのタスク作成

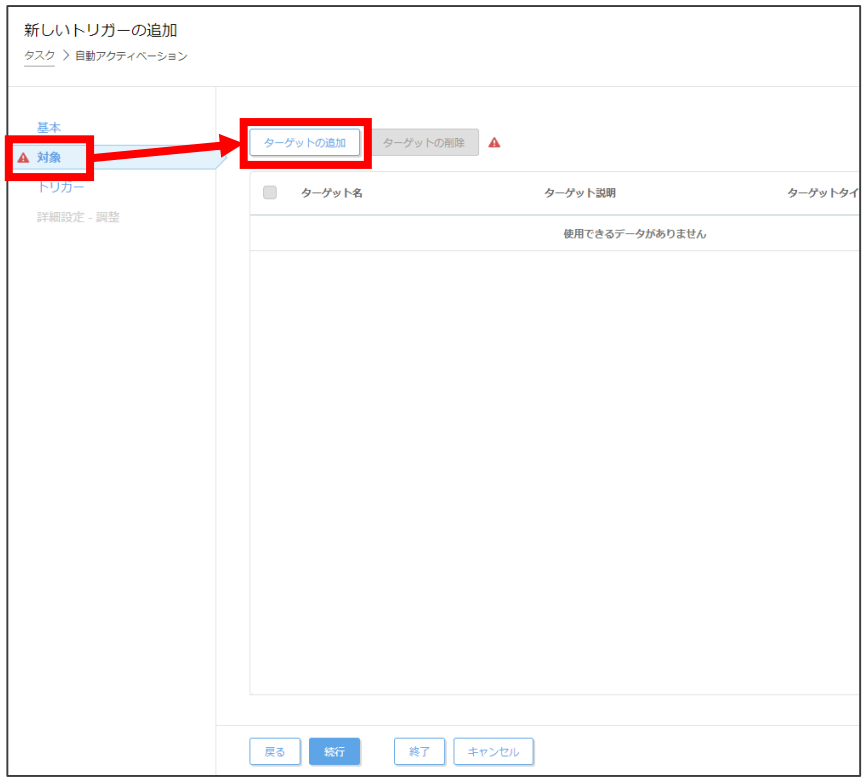
(5)「基本」では、トリガーの説明を任意に入力し、「続行」をクリックします。

(6)「対象」で、「ターゲットの追加」をクリックします。

画像5



画像6



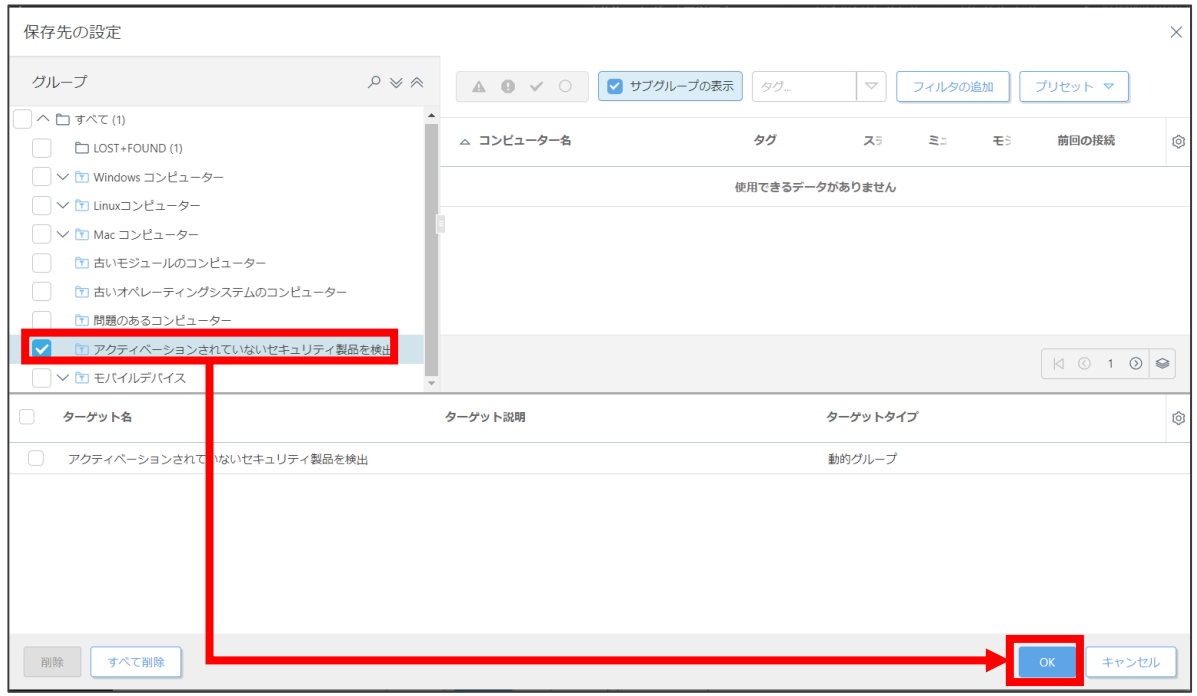
3. 展開（インストーラーの準備）

③　自動アクティベーションのタスク作成

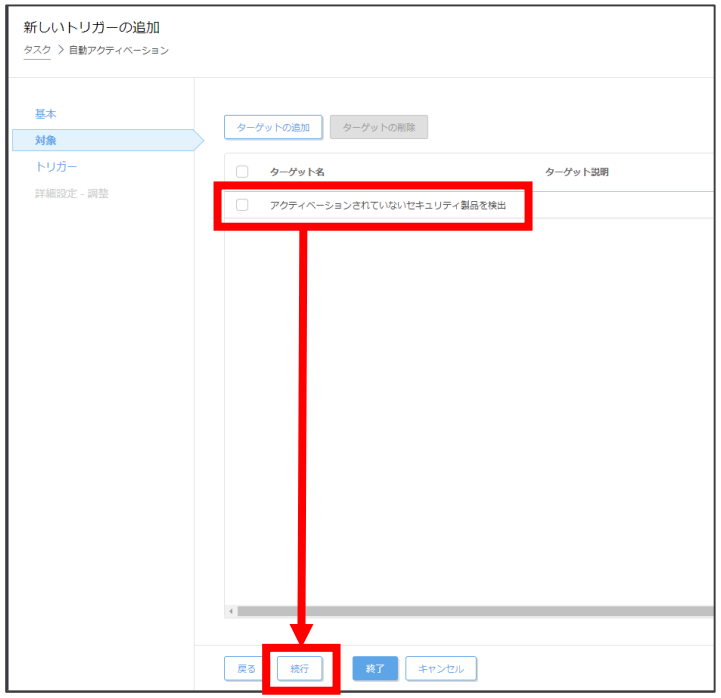
(7)「アクティベーションされていないセキュリティ製品を検出」のグループにチェックを入れ、「OK」をクリックします。

(8)「アクティベーションされていないセキュリティ製品を検出」のグループがターゲット名に表示されていることを確認し、「続行」をクリックします。

画像7



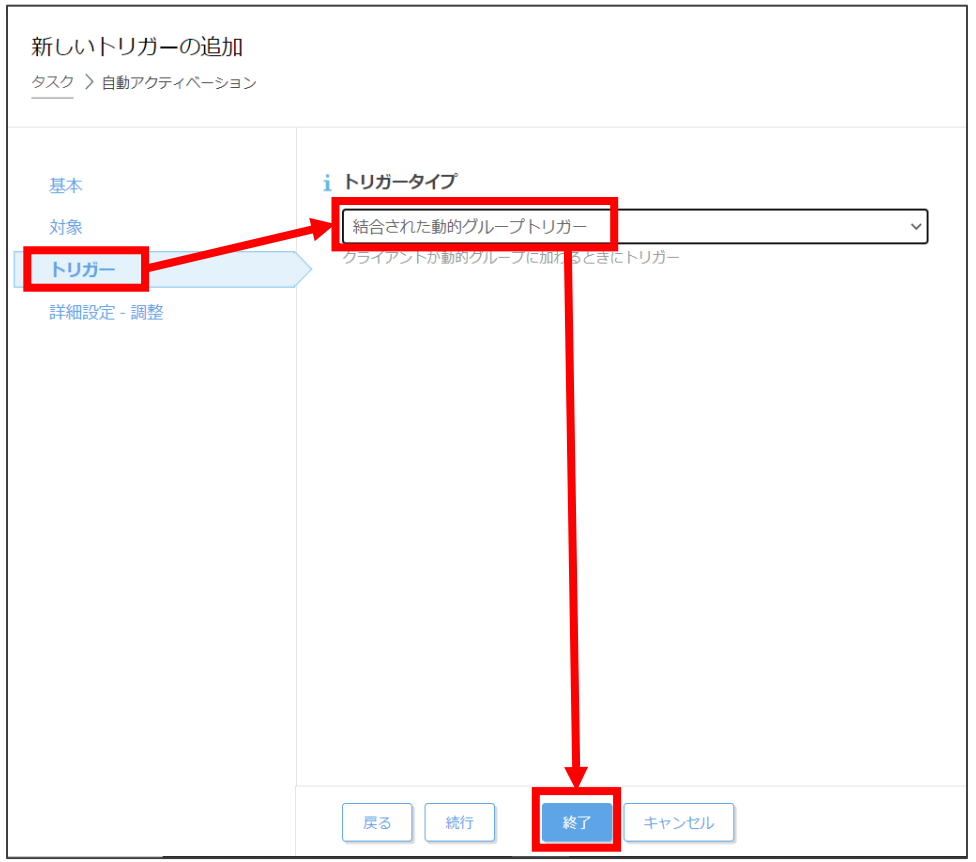
画像8



3. 展開（インストーラーの準備）

③　自動アクティベーションのタスク作成

(9)「トリガー」で、トリガータイプに「結合された動的グループトリガー」を選択し、「終了」をクリックします。

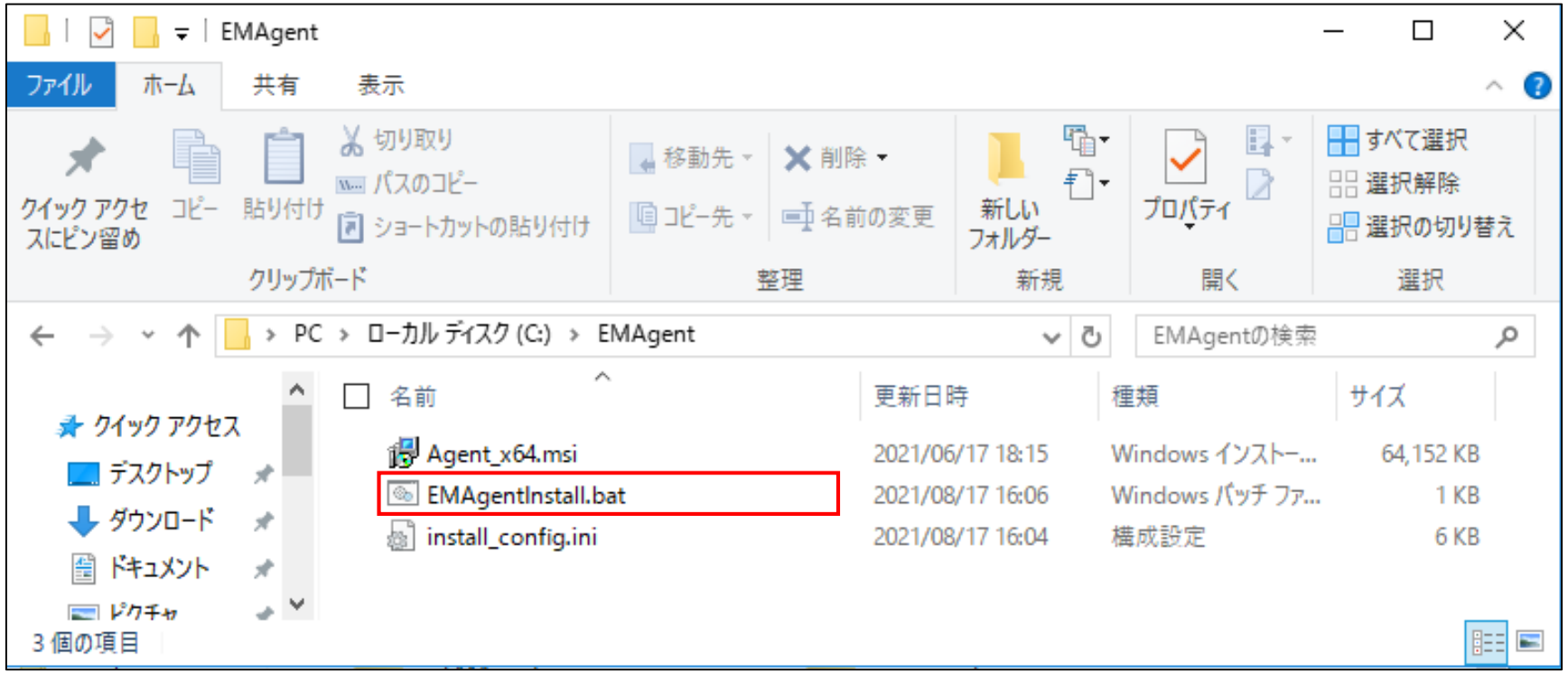


以上で、インストーラーの準備は終了となります。

3. 展開（インストーラーの実行）

④ EMエージェントのインストール

(1)「EMエージェントのインストーラー作成」の作業で作成したEMエージェントのインストーラーを各端末のCドライブにコピーし、コピーしたフォルダーを開き、バッチファイル(EMAgentInstall.bat)をダブルクリックします。
※インストール中に「ユーザーアカウント制御」の画面が出てきましたら、「はい」を選択してください。

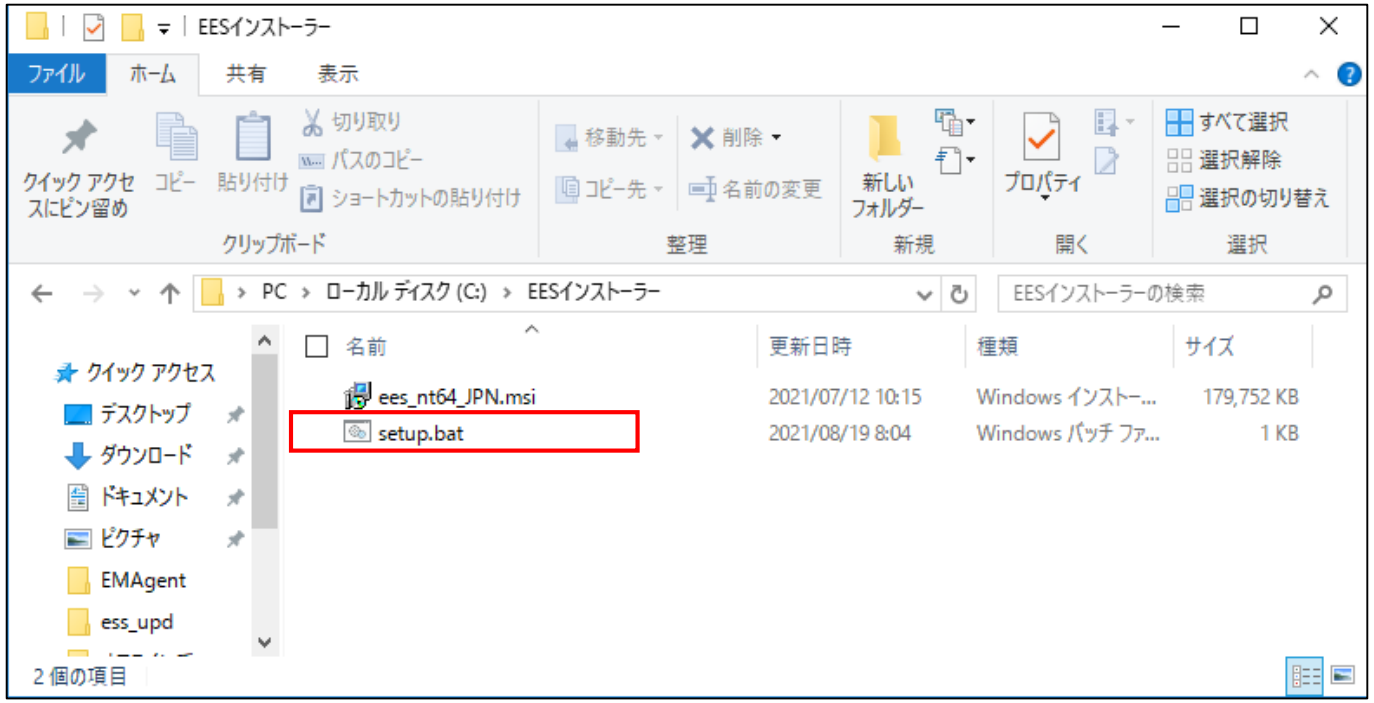


3. 展開（インストーラーの実行）

⑤ クライアント用プログラムのインストール

(1)「クライアント用プログラムのインストーラー作成」の作業で作成したクライアント用プログラムのインストーラーを各端末のCドライブにコピーし、コピーしたフォルダーを開き、バッチファイル(setup.bat)をダブルクリックします。

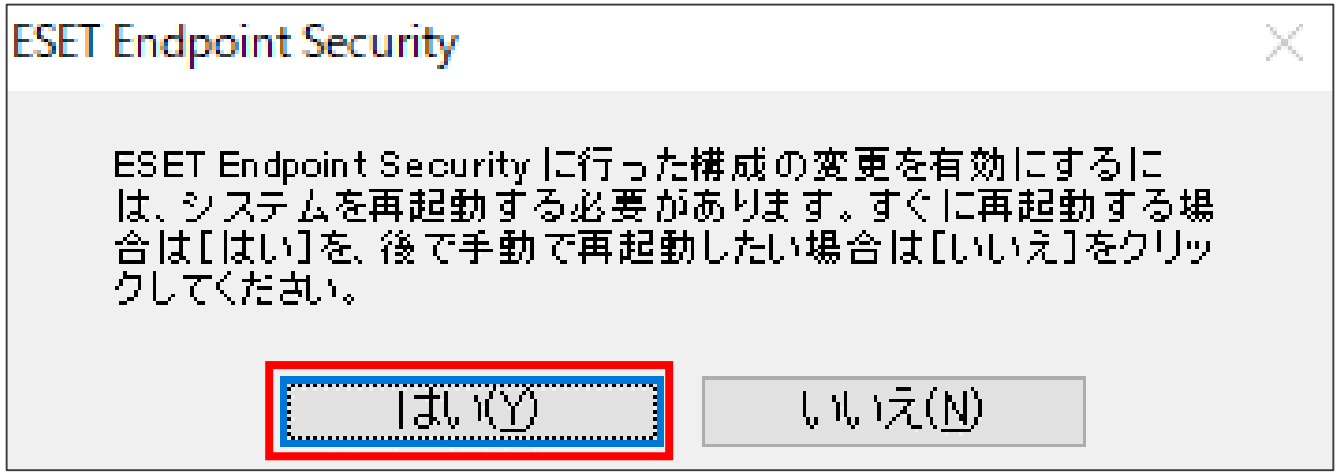
※インストール中に「ユーザーアカウント制御」の画面が出てきましたら、「はい」を選択してください。



3. 展開（インストーラーの実行）

⑤　クライアント用プログラムのインストール

(2)インストールが完了すると、再起動をおこなうかどうかの確認画面が表示されますので、「はい」をクリックして再起動をします。

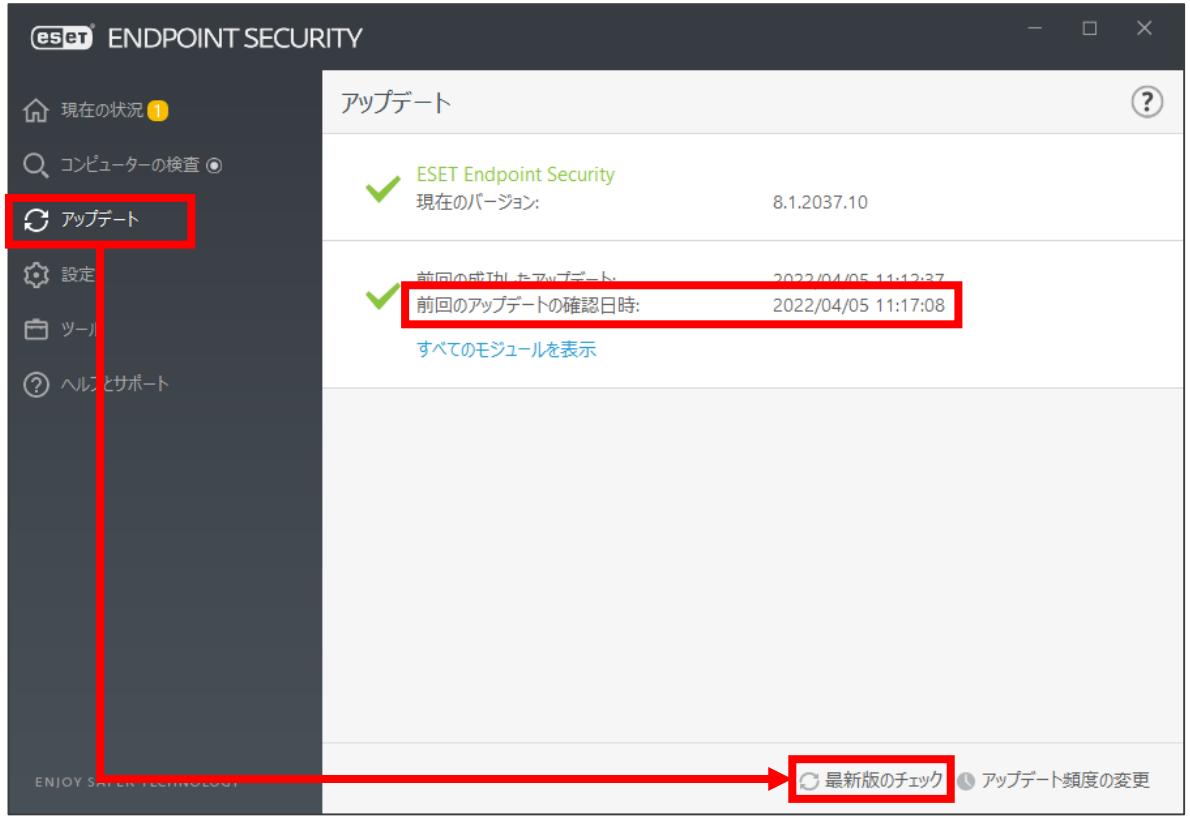


以上で、インストーラーの実行は終了となります。

3. 展開（確認作業）

各端末での確認

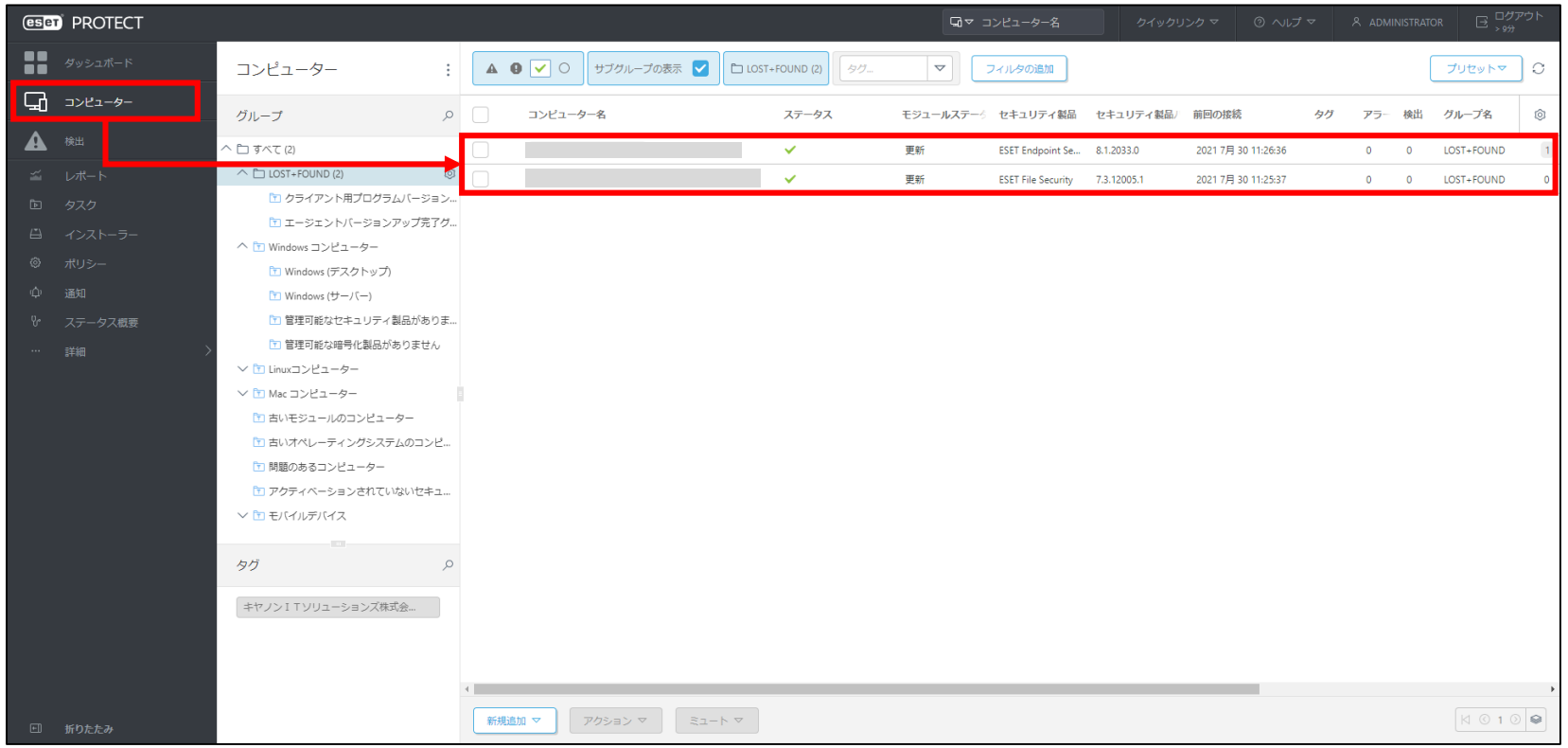
- 「インストーラーの実行」の作業を行った端末にて、クライアント用プログラムのメイン画面を開き、画面左側の「アップデート」をクリックし、「最新版のチェック」をクリックしてアップデートできることを確認します。
  ※「前回のアップデートの確認日時」が更新されていれば、アップデートは成功しております。



3. 展開（確認作業）

EPでの確認

- EPにログインし、画面左側の「コンピュータ」をクリックし、クライアントの一覧画面に「インストーラーの実行」の作業を行った端末が表示されていることを確認します。



以上で、展開は終了となります。